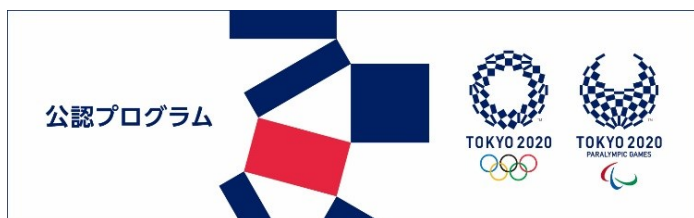


東京 2020 参画プログラム認証事業一覧

2017 年 7 月

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 障がい者チャレンジスポーツ教室

■組織・団体名 : 立川市

■実施期間(開始) : 2016/6/14

■実施期間(終了) : 2017/3/25

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 立川市泉市民体育館

■参加者/入場者数 : 568 人

■事業概要 :

(1) 障害者が参加できるスポーツ教室

障害者が継続的にスポーツに取り組むためのきっかけづくりとなるよう、各種スポーツ教室を開催する。

種目: バドミントン、ポッチャ、ダンス 各種目9回

(2) 障害者が参加できるスポーツ大会

障害者が楽しんで参加し、交流を深め、スポーツに取り組むきっかけづくりのためのスポーツ大会として障害者アクアフェスティバル(水泳大会)を開催する。

(3) 障害者スポーツ(パラリンピック競技)教室

パラリンピックについて、競技内容や選手についての認知度を高め、実際に参加し、体験を通してパラリンピックの理解を深めることを目的とし、シッティングバレーの体験教室を実施する。

■本アクションの成果 :

主に障害者を対象とした教室、大会を実施し、市民体育館という市民にとって身近な場所において、障害者の方が継続してスポーツを楽しめる環境づくりにつなげることができた。また、健常者と障害者がともに参加する教室や、障害者スポーツの体験会を通して、相互理解を深めることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック・パラリンピック機運醸成イベント (仮称)パラリンピック競技体験 DAY

■組織・団体名 : 東京都中野区役所

■実施期間(開始) : 2016/10/8

■実施期間(終了) : 2016/10/8

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 中野体育館

■参加者/入場者数 : 129 人

■事業概要 :

(1)東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会関連 PR 動画の放映

障がい者スポーツ普及啓発動画『Be The HERO』及び東京 2020 大会エンブレムコンセプトムービー及び会場計画PR映像を大型映像装置にて放映し、参加者全員で観覧することにより、障がい者スポーツへの知識の向上、オリンピック・パラリンピックへの機運の醸成を図る。

(2)リオデジャネイロパラリンピック車いすテニス競技出場選手による各種イベント

リオデジャネイロパラリンピック選手である齋田悟司氏を招き、リオデジャネイロパラリンピックについての講演会、車いすテニス体験会。またパラリンピアンによるデモンストレーションも合わせて実施する。

(3)パラリンピック競技スポーツ体験会

各ブースを設けて様々なパラリンピック競技の簡単な体験会を行う。障がい者と健常者、大人から子どもまでみんなでふれあいながら楽しんでもらいパラリンピック競技への興味を持ってもらう。

■本アクションの成果 :

リオデジャネイロパラリンピック代表選手である齋田選手を招聘し実演会等を実施することで、障害者スポーツの認知度向上に寄与、及び、面白さ、素晴らしさを伝えるとともに、幅広い年齢の方が地域でスポーツに親しむことができた。また、様々な障害者スポーツを通じて、参加者の交流及び東京 2020 大会への機運醸成、障害者スポーツへの興味・関心を高めるきっかけとなった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 市民スポーツフェスティバル

■組織・団体名 : 武蔵野市

■実施期間(開始) : 2016/10/10

■実施期間(終了) : 2016/10/10

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 武蔵野総合体育館

■参加者/入場者数 : 1618 人

■事業概要 :

武蔵野陸上競技場のトラック・フィールドと武蔵野総合体育館のアリーナ等を使用し、1 日をかけて体カテストやその他 20 種目のスポーツを自由に体験できる場を市民に提供する。

■本アクションの成果 :

市民に様々なスポーツを体験する場を提供し、スポーツの楽しさを共有してもらった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : TOKYO どこでも競技場@渋谷

■組織・団体名 : 日本放送協会(NHK)

■実施期間(開始) : 2016/10/10

■実施期間(終了) : 2016/10/10

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 渋谷街頭(道玄坂、109前、文化村通り)

■参加者/入場者数 : 46000 人

■事業概要 :

(1)テレビの生放送連動イベント

NHK 総合テレビ「東京 2020 12 時間スペシャル→2020」(午前 8 時 15 分～午後 8 時 45 分)のうち、午後 2 時から放送予定の生中継で、トランポリン、車いす陸上、車いすラグビー、陸上走り幅跳びなど、国内トップアスリートたちの驚きの身体能力と技を紹介。

(2)観覧・展示型イベント

東京大会から追加競技となったスケートボード競技の魅力を伝えるためのコンテストを開催。また、地元・渋谷区が競技会場となる 5 種目を写真パネルで展示。さらに、1964 年の東京オリンピック開催後に渋谷区で生まれた「オリンピック渋谷音頭」を紹介。過去と未来をつなぎ、来街者が歴史の流れを感じる機会を提供。

(3)参加体験型イベント

誰でも自由に参加し自己記録を計れる 50m 走のコースを設置。身体を動かす楽しさを感じてもらい市民スポーツの促進に寄与する。

(4)スタンプラリー

代々木公園けやき並木で開催される組織委員会主催の追加競技 PR イベントとも連動。双方にスタンプ台を設置し、両会場を巡回した方に大会公認のピンバッジをプレゼント。

■本アクションの成果 :

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国内トップクラスのアスリートたちの技術や身体能力を東京・渋谷の路上で披露し、テレビ番組の生中継とも連動して広く伝えるイベントとして開催した。NHK総合テレビでの約90分の生中継も行い、4年後の東京大会に向けて、渋谷の街頭を埋め尽くした大観衆をはじめ、テレビを通して観覧した誰もが感動する番組・イベントとなった。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : シルバースポーツ大会

■組織・団体名 : 武蔵野市

■実施期間(開始) : 2016/10/16

■実施期間(終了) : 2016/10/16

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 武蔵野陸上競技場(雨天時は武蔵野総合体育館)

■参加者/入場者数 : 813 人

■事業概要 :

本事業は、高齢者のスポーツ活動普及、健康増進、交流を目的として、市と武蔵野市老人クラブ連合会の共催で行っており、市内を4つの地域に分けて6つの競技2つのアトラクションを行っている。昭和51年から実施しており、今回で第41回目、市内在住の60歳以上の方が対象で、例年800人以上の方が参加している。

■本アクションの成果 :

高齢者の健康増進・スポーツに対する意欲を高め、この大会に毎回出ようという目標になっている。また、多世代交流も行い、高齢になってもスポーツができるという希望を若い世代に与えることができた

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : スポーツ文化ワールドフォーラム レガシーセッション

■組織・団体名 : 文部科学省(本省)

■実施期間(開始) : 2016/10/21

■実施期間(終了) : 2016/10/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : グランドハイアット

■参加者/入場者数 : 600 人

■事業概要 :

スポーツ文化ワールドフォーラムのスポーツセッションの一部として、小池東京都知事、組織委員会武藤事務総長、ブラジルのスポーツ大臣からの基調講演をいただきつつ、東京2020競技大会におけるレガシーについて室伏スポーツ局長をモデレーターに、アスリート、IOC、IPC委員を交え様々な視点から、レガシーとは何か、パネルディスカッションを行うシンポジウムの開催。

■本アクションの成果 :

国内外のスポーツ関係者約600名に対し、

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 祝第 33 回国分寺まつり史跡武蔵国分寺跡秋のスポーツイベント

■組織・団体名 : 国分寺市

■実施期間(開始) : 2016/11/6

■実施期間(終了) : 2016/11/6

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 史跡武蔵国分寺跡(国分寺市西元町2-1他)

■参加者/入場者数 : 5200 人

■事業概要 :

スポーツ関係の種目を7種目行う、参加者に体験してもらう。

1. ボッチャ、2. 体力測定、3. スラックライン、4. ターゲットバードゴルフ、5. グラウンドゴルフ、6. キックターゲット、7. フリースタイルフットボール
国分寺まつり会場に来場する訪問者がイベント会場に来やすいようにウォークラリーのようなキーワードさがしを行い、来場者を誘導する。

■本アクションの成果 :

スタンプラリーを取り入れて各ブースを回れるようにし、障害者スポーツのボッチャやニュー
スポーツのターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフなどを体験する市民が多かった。親子
連れで来場し、親子で体験する場面も見受けられ、昨年よりも参加者数が増えた。ボッチャ
などに触れたことにより、障害者スポーツへの関心も高まったものと思われる。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : パラスポフェスタ 2016

■組織・団体名 : 東京ガス株式会社

■実施期間(開始) : 2016/11/7

■実施期間(終了) : 2016/11/15

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 新宿パークタワー

■参加者/入場者数 : 1100 人

■事業概要 :

事前展示をパークタワー地下 1 階で 11 月 7 日から行います。イベント・トークステージは 11 月 15 日です。

(1)常設展示

東京ガスの障がい者スポーツ支援の取組み等関連パネル

障がい者スポーツ競技用具展示(競技用車いす)

出展者展示:写真家清水一二氏による報道写真展

(2)体験イベント

障がい者スポーツ競技実演&体験

車いすバスケットボール／ ブラインドサッカー／ ボッチャ／ 競技用義足

(3)トークステージ

パラリンピック出場選手、アスリートによるトークセッション

熱き戦いが繰り広げられたリオ 2016 パラリンピック大会に出場して感じたこと。そこから、環境、人、まち、くらし、競技がどう変わるとより良い社会になるのか。

■本アクションの成果 :

①障がい者スポーツの体験や実演を通し、障がい者スポーツへの興味喚起と理解促進ができた。②講演会や展示会を通じた障がい者スポーツの認知拡大・理解促進と、東京 2020 大会に向けたムーブメントの創出ができた。③グループ社員からボランティア(有償)を募り運営を担当させたことで、障がいに対する意識づけをすることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ブロック別クラブネットワークアクション2016鹿児島

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2016/11/12

■実施期間(終了) : 2016/11/13

■開催場所都道府県 : 鹿児島県

■会場名 : 鹿児島県青少年会館

■参加者/入場者数 : 265 人

■事業概要 :

本事業は、全国 9 ブロック共通プログラムと、各ブロック独自のプログラムから成る。

(共通プログラム) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定したことを機に、今後、障がい者スポーツの発展が期待される中、地域において障がい者がスポーツに親しめる環境の整備を求める機運が高まっている。地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブがこのような社会の要請に対応することは、より一層地域社会への貢献が認知され、存在意義を高めることとなる。

※各ブロック独自のプログラムについても、講演を主とした、事業目的の達成に資する内容で実施する。

■本アクションの成果 :

・本アクションの実施により、子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの設立準備に必要な情報や具体的な取り組み内容がクラブ関係者に提供されるとともに、クラブ関係者間の情報共有・ネットワーク強化ならびに各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携・協力体制が促進された。

・また、地域コミュニティの核としての役割が期待される総合型クラブが、今後、障がい者がスポーツに親しめる環境を整備し、地域に貢献していくことを目標に、全国 9 ブロックの共通プログラムとして、障がい者スポーツに関する基礎的情報と、実際に受入を行っている総合型クラブの活動事例の共有を行った。

・以上のような取り組みを通じて、障がい者を含む子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成に取り組むことで、あらゆる人々がスポーツ活動に参加できる環境整備に寄与するとともに、レガシーコンセプトの「誰もがスポーツを『する・観る・支える』社会」の実現に資するものである。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ブロック別クラブネットワークアクション2016石川

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2016/11/12

■実施期間(終了) : 2016/11/13

■開催場所都道府県 : 石川県

■会場名 : いしかわ総合スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 265 人

■事業概要 :

本事業は、全国 9 ブロック共通プログラムと、各ブロック独自のプログラムから成る。

(共通プログラム) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定したことを機に、今後、障がい者スポーツの発展が期待される中、地域において障がい者がスポーツに親しめる環境の整備を求める機運が高まっている。地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブがこのような社会の要請に対応することは、より一層地域社会への貢献が認知され、存在意義を高めることとなる。

※各ブロック独自のプログラムについても、講演を主とした、事業目的の達成に資する内容で実施する。

■本アクションの成果 :

・本アクションの実施により、子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの設立準備に必要な情報や具体的な取り組み内容がクラブ関係者に提供されるとともに、クラブ関係者間の情報共有・ネットワーク強化ならびに各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携・協力体制が促進された。

・また、地域コミュニティの核としての役割が期待される総合型クラブが、今後、障がい者がスポーツに親しめる環境を整備し、地域に貢献していくことを目標に、全国 9 ブロックの共通プログラムとして、障がい者スポーツに関する基礎的情報と、実際に受入を行っている総合型クラブの活動事例の共有を行った。

・以上のような取り組みを通じて、障がい者を含む子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成に取り組むことで、あらゆる人々がスポーツ活動に参加できる環境整備に寄与するとともに、レガシーコンセプトの「誰もがスポーツを『する・観る・支える』社会」の実現に資するものである。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ブロック別クラブネットワークアクション2016徳島

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2016/11/12

■実施期間(終了) : 2016/11/13

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 鳴門渦潮高等学校

■参加者/入場者数 : 265 人

■事業概要 :

本事業は、全国 9 ブロック共通プログラムと、各ブロック独自のプログラムから成る。

(共通プログラム) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定したことを機に、今後、障がい者スポーツの発展が期待される中、地域において障がい者がスポーツに親しめる環境の整備を求める機運が高まっている。地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブがこのような社会の要請に対応することは、より一層地域社会への貢献が認知され、存在意義を高めることとなる。

※各ブロック独自のプログラムについても、講演を主とした、事業目的の達成に資する内容で実施する。

■本アクションの成果 :

・本アクションの実施により、子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの設立準備に必要な情報や具体的な取り組み内容がクラブ関係者に提供されるとともに、クラブ関係者間の情報共有・ネットワーク強化ならびに各都道府県総合型クラブ連絡協議会間の連携・協力体制が促進された。

・また、地域コミュニティの核としての役割が期待される総合型クラブが、今後、障がい者がスポーツに親しめる環境を整備し、地域に貢献していくことを目標に、全国 9 ブロックの共通プログラムとして、障がい者スポーツに関する基礎的情報と、実際に受入を行っている総合型クラブの活動事例の共有を行った。

・以上のような取り組みを通じて、障がい者を含む子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成に取り組むことで、あらゆる人々がスポーツ活動に参加できる環境整備に寄与するとともに、レガシーコンセプトの「誰もがスポーツを『する・観る・支える』社会」の実現に資するものである。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 2016 愛媛大学スポーツシンポジウム

■組織・団体名 : 愛媛県

■実施期間(開始) : 2016/11/16

■実施期間(終了) : 2016/11/16

■開催場所都道府県 : 愛媛県

■会場名 : 愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール

■参加者/入場者数 : 178 人

■事業概要 :

(1)基調講演

マレーシア国立マラヤ大学スポーツセンター副センター長(マレーシアオリンピック委員会委員)による『スポーツツーリズムを通じた交流とレガシー創出を通じた地域活性化』をテーマにした講演

(2)実践報告

『スポーツを通じた国際交流』として、学生が参加した「2016 台北国際ドラゴンボートレース」の実践報告

『国際的スポーツイベントを通じた地域活性化』として、オリンピック等による 2016 リオ五輪での実体験の紹介

(3)パネルディスカッション

オリンピックや学生がパネリストとなり、スポーツ文化の醸成とこれを通じた地域活性化についての討議

■本アクションの成果 :

愛媛県では 2017 年にえひめ国体、全国障害者スポーツ大会の開催を控え、県民がスポーツに関わることのできる絶好の機会となっている中、愛媛県ゆかりのオリンピックからスポーツの持つ魅力を紹介。さらに、2020 年やその先を見据えて、各出演者から「する」「観る」「支える」などスポーツへの様々な関わり方を提案し、スポーツを通じた地域活性化に向けてのヒントを探ることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : パラリンピック機運醸成事業「ボッチャ&フライングディスク体験会」

■組織・団体名 : 東京都中野区役所

■実施期間(開始) : 2016/11/19

■実施期間(終了) : 2016/11/19

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 上高田運動広場

■参加者/入場者数 : 62 人

■事業概要 :

(1)「ボッチャ」体験

パラリンピックの正式種目であり、健常者や障害者、大人と子どもの垣根なく楽しむことのできるスポーツであるボッチャの体験会を実施することで、障害の有無にかかわらず参加者が触れ合いながら楽しんでもらい、パラリンピック競技の認知度の向上、東京 2020 大会の機運醸成を図ることを目的とする。

(2)「フライングディスク」体験

国際パラリンピック委員会(IPC)が2014年9月に世界フライングディスク連盟を公認団体とすることを決定し、パラリンピック正式種目への第1歩を踏み出した「フライングディスク」の体験を通じて、ユニバーサルスポーツへの興味・関心の向上を図るとともに、運動をするきっかけづくりとする。

(3)リオデジャネイロパラリンピック走り高跳び日本代表選手による各種イベント

リオデジャネイロパラリンピック選手である鈴木徹氏を招き、リオデジャネイロパラリンピックについてのトークイベント、走り幅跳びのデモンストレーションも合わせて実施する。また、現役のパラリンピアンがボッチャ、フライングディスクの体験会と一緒に参加し、直接触れ合うことで、東京 2020 大会への機運醸成を図る。

■本アクションの成果 :

リオパラリンピック代表の鈴木徹選手を招聘し、参加者と一緒にボッチャやフライングディスクの体験に参加して頂くことで、パラリンピアンと住民の交流をはかる事ができた。また、鈴木選手に走り幅跳びの実演会を実施してもらうことで、パラリンピック競技の凄さや面白さを伝えることができたとともに、障害者スポーツの認知度向上、東京 2020 大会の機運醸成のきっかけとなった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ENEOS子供フェスティバル

■組織・団体名 : JXTG エネルギー株式会社

■実施期間(開始) : 2016/11/19

■実施期間(終了) : 2016/11/19

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : JXエネルギー川崎製造所内

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

様々なスポーツにチャレンジし、現状認識と今後のスポーツによる健康づくりを考える機会を提供する。

また、オリンピック種目に関連した内容とすることで、チャレンジしながらオリンピック意識を醸成させる。

(5m走、シュートスピード計測、ストラックアウト、足形計測、ヒーローインタビューコーナー)

また、釣った魚は持ち帰りすることで、生き物の大切さを学ぶ。

■本アクションの成果 :

・小学生の子供から保護者の方までスポーツ体験を通じて、日頃からの運動の必要性を促すことが出来た。

・40 年以上続くイベントにスポーツ体験を新たに追加したこと、東京2020公認プログラムであることもあり、参加者・運営者にとっても刺激となり大いに盛り上がる事ができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 特別講演会「リオから東京へ」(講師:森 喜朗会長)

■組織・団体名 : 立川商工会議所

■実施期間(開始) : 2016/11/22

■実施期間(終了) : 2016/11/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : パレスホテル立川4階「ローズルーム」

■参加者/入場者数 : 350 人

■事業概要 :

○「リオから東京へ」を演題に、森喜朗会長に2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に関して、幅広い視座に基づくご講話をいただく。

※主たる参加者は立川商工会議所会員企業の経営者、従業員であるが、ホームページ等で広く周知を行っている。

※従って、本講演会に参加した企業等から顧客・市民へと、一般個人に広く拡散していく波及効果が期待できる。

※本講演会に引き続き「懇親パーティー」が開催されるが、今回の申請対象はあくまで講演会のみである。

■本アクションの成果 :

○森会長の幅広い視座に基づくご講話を通じて、2020年大会の機運盛り上げを図るとともに、スポーツ参画人口の拡大やスポーツを通じた健康づくりの推進、障がい者スポーツのファン拡大、心のバリアフリーの推進、共助社会の構築など、大会のレガシー形成に係る理解を深めることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 受動喫煙防止県民向けイベント

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2016/11/23

■実施期間(終了) : 2016/11/23

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : みなとみらいウィーンズサークル

■参加者/入場者数 : 2000 人

■事業概要 :

たばこによる健康への悪影響や、たばこの受動喫煙による神奈川県民の健康への悪影響を未然に防止することを目的として定めた「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、大道芸や音楽の演奏を交えながら、県民や県外からの来訪者などに普及啓発を行う。

■本アクションの成果 :

神奈川県では、たばこによる健康への悪影響やたばこの受動喫煙による健康への悪影響を未然に防止するため、様々な周知活動を行ってきたが、今般、神奈川県の施設が東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となったことから、オリンピック・パラリンピックが掲げるたばこの煙のないオリンピック・パラリンピックの実現というコンセプトと合わせてイベントを実施することにより、2,000 人を超える来場者に対し、たばこによる健康への悪影響やたばこの受動喫煙による健康への悪影響、オリンピック会場におけるスモークフリーの取組みを効果的に周知することが出来た。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ～東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース／マウンテンバイク)伊豆開催に向けて～ ボランティア講演会

■組織・団体名 : 伊豆市

■実施期間(開始) : 2016/11/26

■実施期間(終了) : 2016/11/26

■開催場所都道府県 : 静岡県

■会場名 : 伊豆市民文化ホール

■参加者/入場者数 : 180 人

■事業概要 :

1998 長野オリンピック・パラリンピック競技大会において、市民ボランティアとして活躍した丸田藤子(まるたふじこ)氏を講師に招き、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース／マウンテンバイク)伊豆開催に向けて、当時の経験談やボランティア精神をお話いただく。対象者は、伊豆市及び伊豆市周辺の住民及びボランティア団体関係者などで、入場は無料とする。

■本アクションの成果 :

長野 1998 大会でボランティアを経験された丸田氏の講話により、当市周辺住民がボランティアとしてのやりがいや心構えなどを知ることができた。また、長野 1998 大会での体験談を丸田氏が生きいきと語ったことにより、ボランティアへの興味・関心を高めることに繋がったであろう。併せて、オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの重要性とその楽しさも伝わったため、東京 2020 大会におけるボランティア機運の醸成を図ることができたと考える。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 千葉にオリンピック・パラリンピックがやってくる！ フェンシング・車いすフェンシング体験イベント

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2016/11/27

■実施期間(終了) : 2016/11/27

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : ららぽーと柏の葉

■参加者/入場者数 : 395 人

■事業概要 :

(1)オリンピック・パラリンピアンによるトークショー

フェンシングのオリンピック、車いすフェンシングのパラリンピアンを招聘し、競技の魅力を語ってもらったり、デモンストレーションの実演を参加者に見せたりすることで、競技に対する興味・関心を高める。

(2)競技体験

安全な練習用の剣を用いて、フェンシングの体験を行う。また、車いすフェンシング用に固定された車いすに搭乗し、車いすフェンシングの特性に触れる。

■本アクションの成果 :

本アクションの実施を通して、開催競技の普及振興という目的に向けて、競技団体との協働や、ボランティア派遣のための大学間の連携体制の構築など、多くの団体にまたがる運営体制をつくりあげることができた。競技を行う上では接点がないオリンピック競技とパラリンピック競技の競技団体が競技の枠を超えて力を合わせる様子は、県民に対してスポーツの素晴らしさや偉大さを伝えた大きな機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 障害者スポーツ研修会・ボッチャ体験教室

■組織・団体名 : 立川市

■実施期間(開始) : 2016/11/27

■実施期間(終了) : 2016/11/27

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 立川市泉市民体育館

■参加者/入場者数 : 59 人

■事業概要 :

立川市スポーツ推進委員と立川市の企画、運営により、障害者スポーツ指導員としてのスキルアップのためのボッチャ競技の研修を行う。また、この研修に障害者を招きボッチャ体験教室をあわせて実施する。

研修会参加者:立川市スポーツ推進委員

体験教室参加者:障害者 20 名程度

講師:立川市内のボッチャ競技経験者 2 名

■本アクションの成果 :

主に障害者を対象としボッチャ体験会を行い、またこの運営を通して障害者スポーツ指導の研修として実施した。

ボッチャ競技を知らない障害者の方が楽しんで参加することができ、ボッチャ競技の楽しさを伝えることができた。また、スタッフは、様々な障害種別の参加者と接することで、配慮の仕方などを学ぶ機会となり、指導者としてのスキルアップを図ることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 毎日新聞 オリンピック・パラリンピック報道写真展 ～2020、その感動と興奮が東京へ～

■組織・団体名 : (株)毎日新聞社

■実施期間(開始) : 2016/11/28

■実施期間(終了) : 2017/1/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 千代田区立千代田図書館

■参加者/入場者数 : 25000 人

■事業概要 :

■オリンピック・パラリンピック報道写真の展示・・・1964 年東京オリンピック・パラリンピックや本年開催となったリオオリンピック・パラリンピックの報道写真をパネル展示。報道写真を通じて、オリンピック・パラリンピックの魅力を感じていただき、2020 年に向けての機運を醸成していく。

■紙面データ等資料の展示・・・リオオリンピック・パラリンピックの報道紙面や 1964 年当時の新聞紙面データを出力し、パネル等で展示。ほかに、資料となりえるものを展示する。

■本アクションの成果 :

本写真展では、リオオリンピック・パラリンピックの象徴的な写真に加え、1964年東京オリンピック・パラリンピックの貯蔵写真も展示。リオの感動と興奮を振り返るとともに、64年当時の写真を掲出することで、「東京でオリンピック・パラリンピックが開催される」という期待感を創出し、東京2020への機運醸成に寄与できたと考える。また、図書館と共催する利点を活かし、オリンピック・パラリンピックに関する書籍を多数展示。オリンピック・パラリンピックへの更なる理解や行動喚起につなげることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : スポーツボランティア研修会

■組織・団体名 : 日本生命保険相互会社

■実施期間(開始) : 2016/11/30

■実施期間(終了) : 2016/11/30

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 日本生命丸の内ビル

■参加者/入場者数 : 94 人

■事業概要 :

東京 2020 大会やその先を見据えたボランティア人材の輩出というレガシーを残すべく、日本スポーツボランティアネットワーク協力のもと、スポーツボランティア研修会を実施。スポーツボランティアスキルの習得を通じて、参加者の東京 2020 大会への興味関心を高め、機運醸成に繋げる。

■本アクションの成果 :

東京 2020 大会やその先を見据えたボランティア人材を輩出。

スポーツボランティアスキルの習得を通じて、参加者の東京 2020 大会への興味関心を高め、機運を醸成。

■写真 :



今年度、ACTION CSR-Vの推奨取組の一つに「スポーツボランティア」を掲げています。

推奨取組①	地域・社会の課題に目を向けた取組
推奨取組②	スポーツボランティア



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 2016 年日中成人スポーツ交流(受入)

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2016/12/2

■実施期間(終了) : 2016/12/6

■開催場所都道府県 : 奈良県

■会場名 : 奈良ロイヤルホテル

■参加者/入場者数 : 152 人

■事業概要 :

日中両国の団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式にて実施。

期間中は、競技ごとに団員がわかれ、各会場において合同練習や試合を通してスポーツ交流を行う。

また、受入県内の歴史的・文化的建造物などを探訪するプログラムを実施し、スポーツのみならず日本文化への理解を促進する。

(受入対象)(1)中国の成人男女(30 歳～65 歳) 56 名 (2)本部役員 5 名

(期間)平成 28 年 12 月 2 日(金)～6 日(火) 5 日間

(競技)(構成人数) テニス(男女 14 人)、バレーボール(男子 14 人)、卓球(男女 14 人)、バドミントン(男女 14 人)、本部役員(5 人)

(開催地)奈良県

(受入関係者)(1)事務局(県体協職員) 2 名 (2)通訳(全日程) 6 名 (3)通訳(競技/本部等) 7 名 (4)競技運営スタッフ 約 100 名 (5)

日本選手団 約 55 名

■本アクションの成果 :

・本アクションの実施により、日中の 30 歳～65 歳のスポーツ愛好者が互いの国を訪問しあい、スポーツを中心とした交流によって友好と親善をさらに深め、日中両国の親善と友好をさらに深めると共に、両国のスポーツ振興が推進された。

・特に、奈良県で初開催するとともに、中国寧夏回族自治区銀川市から初めて派遣者を選出した本アクションは、派遣者にムスリムを含み、受入関係者は、中国文化のみならず多民族の文化にふれるため、異文化理解の促進に寄与した。

・また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、北京 2022 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会開催を控える両国の交流により、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック精神が国内外により広く普及することが期待される。

・以上のような取組みを通じて、レガシーコンセプトの「誰もがスポーツを「する・観る・支える」社会の実現」の実現に資するものである。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 知的障がい者フットサル大会

■組織・団体名 : 荒川区

■実施期間(開始) : 2016/12/3

■実施期間(終了) : 2016/12/3

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 荒川総合スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 200 人

■事業概要 :

日時:平成 28 年 12 月 3 日(土)午前 10 時～午後 4 時(予定)

会場:荒川総合スポーツセンター 大小体育室

対象:障がい者が所属する区内のフットサルチーム、招聘する他自治体の障がい者が所属するフットサルチーム

運営主体:荒川区

■本アクションの成果 :

普段フットサルの練習を重ねている子どもたちの成果発表の場を設けたことで、子どもたちが思いきりプレーを楽しむことができた。また、親子間・チーム間での交流の場ともすることができた。

プレーする人、支える人、応援する人が一体となってフットサルを楽しむ大会とすることができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : さべかい・ともいきシンポジウム～障害者スポーツとそのあくなき挑戦者～

■組織・団体名 : 香川県

■実施期間(開始) : 2016/12/3

■実施期間(終了) : 2016/12/3

■開催場所都道府県 : 香川県

■会場名 : サンポートホール高松

■参加者/入場者数 : 30 人

■事業概要 :

○講演とトークイベント

(講演)

演題:「障害者スポーツを通して考える共生社会」

講師: 葭原 滋男さん (パラリンピック金メダリスト)

障害に負けない挑戦者としての気持ちや、スポーツの楽しさを伝えてもらうことで、障害者スポーツへの関心を高めてもらうとともに、障害のある人たちは、スポーツを通じた社会参加を期待できる講演。

(アスリートトーク)

テーマ:「スポーツの力～東京2020パラリンピックに向けて」(仮)

スピーカー: 葭原 滋男さん・田中 司さん (香川県在住若手アスリート)

同じ視覚に障害がある金メダリストと、やり投げなどの日本記録保持者で東京大会への出場が期待される県内在住の若手アスリートのトークイベント。

■本アクションの成果 :

参加者に、競技スポーツとしての障害者スポーツの魅力をより知ってもらえた。

自分たちの身近にも、パラリンピックへの出場とそこでの活躍を目指して奮闘している選手がいることを知ってもらえ、関心の高まりが感じられるとともに、若手選手から東京大会への出場の決意表明も飛び出すなどもあり、応援したいという機運の醸成ができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 千葉にオリンピック・パラリンピックがやってくる！ テコンドー体験イベント

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2016/12/4

■実施期間(終了) : 2016/12/4

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : イオンモール幕張新都心

■参加者/入場者数 : 409 人

■事業概要 :

(1)アスリートによるトークショー

テコンドー、パラテコンドーの東京 2020 大会に向けた有力選手を招聘し、競技の魅力を語ってもらったり、デモンストレーションの実演を参加者に見せたりすることで、参加者の競技に対する興味・関心を高める。またパラテコンドーについては、オリンピック競技との具体的な違いについてトークショーの中で説明を行う。

(2)競技体験

ミット打ちや板割りなどの方法を用いて、テコンドーの基本動作の体験を行い、競技の特性に触れる。

■本アクションの成果 :

本アクションの実施を通して、開催競技の普及振興という目的に向けて、競技団体との協働や、ボランティア派遣のための大学間の連携体制の構築など、多くの団体にまたがる運営体制をつくりあげることができた。オリンピック競技・パラリンピック競技の枠を超え、県民全体で盛り上げる大切さについて、参加者に働きかけることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : リオ 2016 パラリンピック銅メダリスト国枝慎吾氏 × 丸山弘道コーチ講演会

■組織・団体名 : 日本生命保険相互会社

■実施期間(開始) : 2016/12/8

■実施期間(終了) : 2016/12/10

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 日本生命丸の内ビル

■参加者/入場者数 : 630 人

■事業概要 :

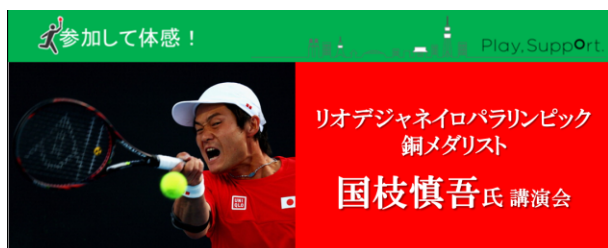
東京 2020 大会やその先を見据え、障がい者スポーツのファン拡大、ダイバーシティの理解促進を目的として、リオ 2016 パラリンピック銅メダリスト国枝慎吾氏とコーチの丸山氏を招き講演を実施。講演を通じて、参加者の東京 2020 大会への興味関心を高め、機運醸成に繋げる。

■本アクションの成果 :

参加者の障がい者スポーツ・ダイバーシティの理解促進に寄与。

講演を通じて、参加者の東京 2020 大会への興味関心を高め、東京 2020 大会に向けた機運を醸成。

■写真 :



車いすテニスで世界ランキング1位にも輝いた国枝選手の講演会開催が決定しました！大阪・東京で12月に開催致します。みなさまのご参加をお待ちしております！

概要

<大阪 講演>

【日時】12月8日(木) 18:00～(※)
【会場】本店東館ホール1・2
【入場料】無料
【交通費】自己負担

<東京 講演>

【日時】12月10日(土) 14:00～(※)
【会場】丸の内ビル ABCホール
【入場料】無料
【交通費】自己負担
【備考】東京講演は土曜開催のため、ご家族(小学生以上)の参加も可能です。



(※) 終了時刻については、現在調整中のため、決定次第、別途ご連絡致します

参加した方々の声

選手を目の前にすると、「障がい者スポーツ」というよりは「スポーツ」の一分野であるということがよく理解できた。

講演の一時半で国枝選手のすごいファンになった。参加して本当に良かったと感じ、障がい者スポーツの応援にいきたくなった。

国枝選手と丸山コーチが、自立しつつ、お互いを尊重して高め合っている様子はとても素晴らしいと思った。応援する気持ちに加えて、支え合う気持ちを持って、自分にも何かできないか探して、行動していきたいと思う。

スポーツの世界での"Play,Support."とは「コーチが選手を支える」ということだと思っていたが、丸山コーチが「自分も国枝選手にいつも支えてもらっている」とおっしゃっていたことが印象的だった。

"Play,Support."と会社として掲げていることが誇らしく、我々一人一人もさやかでも何かできることがあると感じた。

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : パラリンピック競技体験会

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2016/12/10

■実施期間(終了) : 2016/12/17

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : ①神奈川県立盲学校②神奈川県総合リハビリテーションセンター

■参加者/入場者数 : 200 人

■事業概要 :

パラリンピック競技の体験会を競技団体の選手によるデモンストレーション(試合形式等)や競技説明・競技体験(基本的な動作⇒ミニゲーム形式等)を通じて実施する。

<実施競技(予定)>

①柔道、ゴールボール、5人制サッカーなど(視覚障害者向け)

②車椅子バスケットボール、バドミントン、卓球など(肢体不自由、知的障害者向け)

■本アクションの成果 :

パラリンピック競技体験会を通じて、パラリンピック競技の普及だけでなく、障害者が競技スポーツに触れる機会を提供することで、東京パラリンピックを契機にアスリートが活躍する社会の実現につながるとともに、障害者が新たにスポーツにチャレンジするきっかけとなる取組みとなった。また、障害者が競技スポーツに触れる機会を提供することで、身近な地域で、誰もがスポーツを「する・観る・支える」ことのできる環境を整えるための取組みにもつながった。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : NHK ハートフォーラム パラリンピアン大集合！2020 東京を盛り上げよう

■組織・団体名 : 日本放送協会(NHK)

■実施期間(開始) : 2016/12/11

■実施期間(終了) : 2016/12/11

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 國學院大學渋谷キャンパス

■参加者/入場者数 : 275 人

■事業概要 :

○リオ・パラリンピックで活躍した選手が大集合

シンポジウムの参加選手は(陸上)山本篤(陸上走り幅跳び 銀メダル)(ウィルチェアーラグビー)池崎大輔(団体銅メダル)ほか3～4選手(ボッチャ)杉村英孝、廣瀬隆喜(団体銀メダル)(自転車 視覚障害)鹿沼由理恵ほか

大会を振り返りながら、「パラリンピックに出場し、活躍し、盛り上げるにはどうしたらいいか」を語りあう。

さらに、地元の小中高大学生が、「わたしたちのパラリンピック『応援』プラン」を発表。選手たちとともに、2020大会を盛り上げるために必要な応援やボランティア、まちづくりなどの可能性を考える。

会場では、選手たちが直接指導する競技体験教室やVR体験、義足体験なども実施。

選手や参加者をサポートするボランティアも積極的に導入し、子どもから大人、特別支援学校児童・生徒、体育関係者や地域住民など幅広い層が参加し、楽しみながらパラリンピックや障害について理解を深めるイベントにする。

○放送番組を通じた連動展開

NHK E テレで放送している「ハートネット TV」でこの模様を放送予定(年始予定)。放送番組を通じ、全国の視聴者のみなさんに、パラリンピック、障害者スポーツに対する関心を更に高めてもらう。

■本アクションの成果 :

参加者の 95%以上が「大変満足」「満足」と評価。特にトークイベントのために来場した今までパラリンピックに関心のなかった層が、そのまま体験教室にも参加するなど、多くの人にパラリンピック競技の魅力をアピールできた。「選手に届く声で応援する」「2020 よりも先の未来を目指す」など2020 年に向けて「できること」がたくさん集まった。また運営の多くは、地元中高生、大学生、30 代～40 代の社会人など、ボランティアが担った。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 第2回 ドリームカップ 車いす選抜ジュニアチーム戦

■組織・団体名 : 日本生命保険相互会社

■実施期間(開始) : 2016/12/17

■実施期間(終了) : 2016/12/18

■開催場所都道府県 : 静岡県

■会場名 : ヤマハリゾートつま恋

■参加者/入場者数 : 90 人

■事業概要 :

2015 年第 1 回開催時より当大会に特別協賛。次世代パラアスリートの育成のみならず、当大会にボランティアスタッフとして参加する当社職員、選手、父母、スタッフ等全ての関係者が、健常者と障害者の枠を超え相互理解を深める機会を提供。アスリートらとの交流を通じて東京 2020 大会に向けた機運を醸成。

■本アクションの成果 :

パラリンピアンらアスリートとの交流を通じて次世代アスリートを鼓舞。参加者・大会関係者のダイバーシティの理解促進に寄与。当大会を通じて東京 2020 大会への興味関心を高め、東京 2020 大会に向けた機運を醸成。

■写真 :

表彰式の様子



今後の予定

次回は**車椅子バスケットボール(女子)**です!
詳細は

2月11日(土) @大阪市中央体育館

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : Sports for All サッカー

■組織・団体名 : 武蔵野市

■実施期間(開始) : 2016/12/25

■実施期間(終了) : 2016/12/25

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 武蔵野陸上競技場

■参加者/入場者数 : 539 人

■事業概要 :

武蔵野市では、誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、オリンピック・パラリンピック等国际大会に向けたイベント名を「Sports for All」とした。今回のサッカーでは、親子連れから小中学生まで楽しめるよう各種体験ブースを設置するほか、日本代表レベルの選手や武蔵野市出身の選手を招いて、デモンストレーションの披露やクリニックを開催する。

■本アクションの成果 :

各種サッカー体験プログラムやゲストとの触れ合いを通じて、スポーツの魅力や楽しさを体感してもらった。また、ブラインドサッカーの体験を通じて障害者スポーツへの理解と興味・関心を高めることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 三井不動産アイスリンク for TOKYO 2020 in 東京ミッドタウン

■組織・団体名 : 三井不動産株式会社

■実施期間(開始) : 2017/1/5

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京ミッドタウン

■参加者/入場者数 : 33815 人

■事業概要 :

(営業時間) 11:00 ~ 22:00(最終受付時間 21:00)、17 時よりナ이트スケート(イルミネーションライトアップ)

(サイズ(予定)) 20m x 42m

(滑走料) 大人(高校生以上) 1,500 円、小人(中学生以下) 1,000 円

(その他) 最大収容人数約 200 名 屋根付き、暖房完備、ロッカー完備(有料)、ヘルメットは無料、荒天時は中止。

開催期間中、「三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020(アイススケートアカデミーを実施予定)」

■本アクションの成果 :

親子や友人、恋人、外国人など多様な人たちがつながりや交流するきっかけを提供し、多様性と調和が生まれた。また、気軽にスポーツに親しみ体験できる場所の提供だけでなく、アイススケートアカデミー(東京 2020 公認教育プログラム)を実施し、本イベントをきっかけに生まれた交流・つながりなどを未来へ承継。毎週土曜の午前中 9:00~10:30 は無料開放を実施し、周辺地域のコミュニティ活性化にも寄与した。(無料開放の来場人数:2,547 名)

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 第 15 回日韓青少年冬季スポーツ交流(受入)

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2017/1/8

■実施期間(終了) : 2017/1/14

■開催場所都道府県 : 岩手県

■会場名 : 岩手県営スケート場

■参加者/入場者数 : 474 人

■事業概要 :

日韓両国の団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式にて実施。

期間中は、競技ごとに団員がわかれ、各会場において合同練習や試合を通してスポーツ交流を行う。

また、受入県内の歴史的・文化的建造物などを探訪するプログラムを実施し、スポーツのみならず日本文化への理解を促進する。

受入対象 (1)選手(中等部) 130 名 (2)指導者 22 名 (3)本部役員 7 名

競技(構成人数) スキー(男女 54 人)、スケート(男女 58 人)、アイスホッケー(男子 27 人)、カーリング(男女 13 人)、本部役員(7 人)

開催地 秋田県(スキー)、岩手県(スケート、アイスホッケー、カーリング)

受入関係者 (1)秋田県 選手 56 名 スタッフ 44 名 (2)岩手県 選手 103 名 スタッフ 47 名 合計 250 名

■本アクションの成果 :

本アクションの実施により、日韓の中学生が互いの国を訪問しあい、スポーツを中心とした交流によって友好と親善をさらに深め、日韓関係をより高度な次元に高めるとともに、両国のスポーツ振興が推進された。

・開催地である秋田県および岩手県において、国内総合スポーツ大会を通じて整備された施設や組織、育成されたスタッフやボランティアの他、運営ノウハウが有効活用され、地域スポーツの更なる発展に寄与した。

・また、平昌 2018 冬季大会、東京 2020 大会開催を控える両国の交流により、スポーツの価値とオリンピック・パラリンピック精神が国内外により広く普及することが期待される。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 平成 28 年度幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会

■組織・団体名 : 公益財団法人 日本体育協会

■実施期間(開始) : 2017/1/8

■実施期間(終了) : 2017/2/19

■開催場所都道府県 : 三重県

■会場名 : 皇學館大学他3ヶ所

■参加者/入場者数 : 411 人

■事業概要 :

本事業は、全国 12 会場で開催する。

プログラムは理論編(講義)、実技編(運動遊び、指導法・指導技術)等 合計 3 時間 15 分(予定)で構成される。

【理論編(講義)】(60 分)

- (1) 幼児期における身体活動・運動の意義
- (2) 幼児の指導法・指導技術
- (3) 幼児指導に関する実践事例

【実技編(運動遊び、指導法・指導技術)】(120 分)

- (1) 運動遊びの紹介
- (2) 運動遊びの展開例
- (3) 幼児指導のポイント

【総合討論】(15 分)

■本アクションの成果 :

・本講習会を通じてスポーツ指導者等を中心に「幼児期からの ACP」を普及・啓発したことにより、子どもが運動やスポーツに親しむ環境整備が促進され、子どもの身体活動量の低下や運動離れといった社会的な課題の解決の一助となる。

・また、上記の取組みによって、将来的なスポーツ参画人口の拡大が期待されるとともに、運動やスポーツを日常的に継続して実施する人が増え、生涯にわたって健康を維持する人が増えることも期待されるため、レガシーコンセプトの「誰もがスポーツを『する・観る・支える』社会」の実現に資するものである。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : Sports Camp Guide YAMANASHI, JAPAN (WEBサイト)

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2017/1/10

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 山梨県庁

■参加者/入場者数 : 2200 人

■事業概要 :

2020 東京オリンピック・パラリンピックを中心とした事前合宿などスポーツ合宿を本県で実施してもらうことを目的として、次の内容は発信するサイトを4カ国語(日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語)で構築し、運営する。

本県のスポーツ施設の紹介

本県で合宿をするメリット(ロケーション、自然、気候、充実した宿泊・医療・商業施設、食、アスリートからのお勧め、合宿等実績、サポート体制)

宿泊施設、医療施設、観光情報

デジタルパンフレット、動画映像の提供

ニュースリリースによる最新情報、フェイスブックを活用した情報発信

■本アクションの成果 :

サイト開設後、全世界 35 か国からのアクセスがあり、実際にWEBサイトからの問い合わせも複数寄せられ、海外からの視察団の来県等につながるなど事前合宿誘致推進活動に大きく寄与している。海外視察団からは事前合宿きっかけとした幅広い分野での地域間交流の希望も寄せられるなど、今後の交流促進に向けて成果が出ており、事業認証期間まで積極的に情報発信に努めていく。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 中央区新年こども羽根つき大会

■組織・団体名 : 中央区

■実施期間(開始) : 2017/1/14

■実施期間(終了) : 2017/1/14

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 中央区立総合スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 448 人

■事業概要 :

中央区新年こども羽根つき大会は、昭和 32 年 1 月に第 1 回大会が開催されてから今年で 61 回目を迎える、全国でも珍しい小学生等によるスポーツ競技会形式の大会で、日本古来の遊びに各種スポーツのルールを取り入れて本格的な競技として、本区で発展させてきたものである。昨年の大会では区立小学校全 16 校参加のもと、各学校を代表する男女各 2 チーム(1 チームは 1 年生から 6 年生の各学年から 1 人ずつ 6 人で構成)計 64 チーム、384 人が参加し、トーナメント方式による熱戦が繰り広げられている。客席を埋め尽くす父母等の応援団からは大きな声援や拍手が送られ、本大会は毎年盛大な盛り上がりを見せている。

■本アクションの成果 :

区立小学校各代表の児童だけでなく、保護者や地域の方々が自己ベストを尽くし、スポーツと日本の伝統文化の素晴らしさを自ら体感するとともに、地域や年齢を超えて交流が図られた。また、本区のプレスリリース等を通じて幅広くPRすることができた。さらに、参画プログラムのマークや大会エンブレムののぼり旗を活用することで、大会開催気運の醸成も図られた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : レスリング・マット運動体験教室

■組織・団体名 : 東京都板橋区役所

■実施期間(開始) : 2017/1/14

■実施期間(終了) : 2017/1/14

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 板橋区立小豆沢体育館

■参加者/入場者数 : 33 人

■事業概要 :

レスリング体験をはじめ、レスリング競技特有のマット運動による柔軟性・瞬発力を高めながら体を動かすことで、体を動かす楽しさを知ってもらい、またレスリング競技の普及啓発を図る。

■本アクションの成果 :

トップアスリートと触れ合いながら、レスリング競技特有のマット運動により柔軟性、瞬発力を高めながら体を動かすことの楽しさを知ってもらうとともに、レスリング体験を行うことで、小学生年代へレスリング競技の普及啓発を図ることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 大学連携協定締結記念イベント〜リオから東京、そして、大阪へバトンタッチ〜

■組織・団体名 : 大阪市役所

■実施期間(開始) : 2017/1/21

■実施期間(終了) : 2017/1/21

■開催場所都道府県 : 大阪府

■会場名 : 大阪経済大学

■参加者/入場者数 : 324 人

■事業概要 :

(1)基調講演「リオから東京、そして大阪へバトンタッチ」(講演者:朝原宣治)

(2)基調講演「東京オリンピック・パラリンピックの持続可能性と地域貢献」(講演者:堀和憲)

(3)パネルディスカッション「オリンピック・ムーブメントによる地域貢献」

(大阪市・東京オリンピック・パラリンピック組織委員会・大阪観光局・大阪大学・大阪市立大学)

■本アクションの成果 :

オリンピックの基調講演やパネルディスカッション等を通じて、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた施策に関する理解度の向上を図り、スポーツ参画人口の拡大や地域活性化に寄与する取組みができた。今後についても、より戦略的なプログラムを実践できるよう検討し、レガシーの創出につなげる。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ジュニアサッカー教室

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/1/28

■実施期間(終了) : 2017/1/28

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京区小石川運動場

■参加者/入場者数 : 76 人

■事業概要 :

日時:平成 29 年 1 月 28 日(土)午後 2 時 30 分～午後 4 時 15 分まで

場所:文京区小石川運動場(文京区後楽 1-8-23)

対象:区内在住在学の小学 4・5 年生

定員:60 名

参加費:1 人 100 円

内容:小学 4・5 年生を対象にサッカー教室を実施する。

講師:手倉森誠氏

■本アクションの成果 :

オリンピックの正式種目であるサッカーを通じて東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図ることができた。また、本事業は子どもたちに対し、一流のスポーツ指導者による指導を受ける機会を提供するもので、サッカー経験者の児童にとってはスキルアップの機会となり、初心者にとっては、サッカーを始めとしたスポーツに取り組むきっかけとなった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 第 30 回羽村市ふれあい綱引き大会

■組織・団体名 : 羽村市

■実施期間(開始) : 2017/1/29

■実施期間(終了) : 2017/1/29

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 羽村市スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 263 人

■事業概要 :

日本綱引連盟競技規則及び、本大会規則『綱引き競技規則の要点』による競技会

○部門は次のとおり

(1) 羽村市教育委員会関係

- ・ 町内会・自治会男子の部(中学生以上)
- ・ 一般男子の部(中学生以上)
- ・ 女子の部(中学生以上)
- ・ 混合の部(中学生以上)
- ・ 小学生の部(小学校4年生以上の男女)

(2) 東京都綱引連盟関係

- ・ 男子の部
- ・ 女子の部

○表彰は、各部門1位から3位まで

■本アクションの成果 :

市民のスポーツへの関心を深めるとともに、市民相互のコミュニケーションづくり、体力づくりを推進することができた。特に、運動不足になりがちな冬季に開催することで、自分の体力等に見合った運動やスポーツを日常的に継続して実施する人が増えること(スポーツ実施率向上)につなげることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 平成 28 年度スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート推進戦略」におけるアスリート・キャリア・トーク・ジャパン 2017 の開催

■組織・団体名 : 独立行政法人日本スポーツ振興センター

■実施期間(開始) : 2017/2/2

■実施期間(終了) : 2017/2/2

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : イイノホール&カンファレンスセンター

■参加者/入場者数 : 289 人

■事業概要 :

本事業における「コンベンション」は、社会に対してアスリートのキャリア形成の課題に関する議論が広く発信されるとともに、課題解決につながる情報、資源、機会が一元的に集約され、アスリートやアントラージュの課題解決に向けた行動を喚起・促進する場となる。

アスリートをサポートする人(コーチ、保護者など)、組織(文部科学省、スポーツ庁、競技団体、スポーツ統括団体、企業、教育関係機関など)が一堂に会し、日本のアスリートキャリア形成の課題や現状、その他各種情報などについて理解を深めるとともに、今後のアクションについて議論する。

■本アクションの成果 :

オリパラアスリートやコーチはもとより、スポーツ界、教育界、経済産業界等、多くの関係者が参加。東京 2020 大会に向けて、社会に対してアスリートのキャリア形成の課題に関する議論を広く発信するとともに、課題解決につながる情報、資源、機会を一元的に集約し、アスリートやアントラージュの課題解決に向けた行動を喚起・促進することができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 障がい者スポーツフェスティバル

■組織・団体名 : 荒川区

■実施期間(開始) : 2017/2/5

■実施期間(終了) : 2017/2/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 荒川総合スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 2220 人

■事業概要 :

- (1)「知る・見る・体験する」を柱にした各競技の紹介(車いすバスケットボール・ボッチャ・ブラインドサッカー)(デモンストレーションゲーム有)
- (2)ユニバーサルスポーツ体験会
- (3)パネルディスカッション「世界への挑戦! スポーツは、こんなに楽しい～」
- (4)障がい者団体による出店(飲食物・物販等)
- (5)関連展示(義肢装具等展示、区立障がい者施設利用者の作品展等)

■本アクションの成果 :

障がい者スポーツの体験や、障がい者スポーツに関するパネルディスカッションを通して、障がい者スポーツの難しさ、楽しさを感じてもらうことができた。また、様々な種目を用意した中で、障がい者が自分の体力にあったスポーツを楽しみ、体を動かすきっかけづくりとすることができた。イベント全体を通して、健常者と障がい者が交流し、互いを理解しあう場となった。

■写真 :



■分野：スポーツ・健康

■アクション名：スポーツの輪 つなげ！ 世界と栃木 ～「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン」シンポジウム～

■組織・団体名：栃木県

■実施期間(開始)：2017/2/8

■実施期間(終了)：2017/2/8

■開催場所都道府県：栃木県

■会場名：栃木県総合文化センター

■参加者/入場者数：300人

■事業概要：

第1部 パネルディスカッション

オリンピック及びパラリンピアンと、本県スポーツ関係者によるパネルディスカッションを行う。キャンプ地誘致やホストタウンが栃木県にもたらす効果について、栃木県の取組実績に触れながら討論する。来場者が、自身の生活において、東京 2020 大会の開催をどのように活かしていけるか考える機会を提供する。

第2部 メダリストによるトークショー

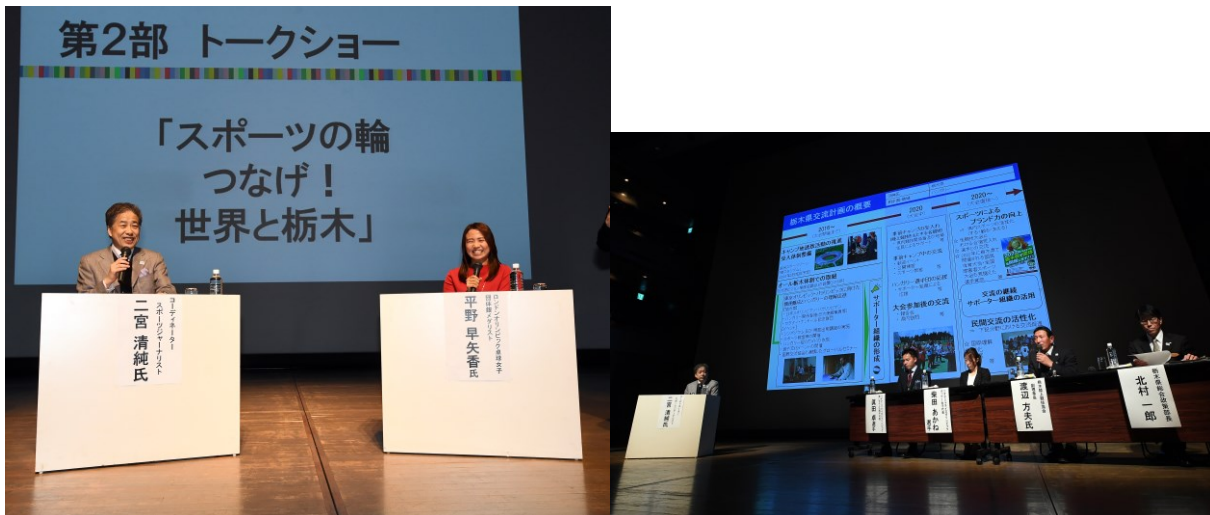
本県出身のオリンピック(又はパラリンピック)メダリストと有識者によるトークショーを実施する。メダル獲得時の心境や、大会期間中の様子、東京 2020 大会に向けた想い等、メダリストの生の声を引き出すことで、東京 2020 大会に対する来場者の興味・関心・親近感を高める。

※ 第1部、第2部終了後には、それぞれ来場者と出演者の質疑応答の時間を設ける。

■本アクションの成果：

栃木県における、東京オリンピック・パラリンピックに関する取組のキックオフイベントとして開催し、幅広い年代の県民が多数参加した。栃木県の取組事例の紹介やオリンピック・パラリンピアン経験談等を通して、ホストタウン相手国(ハンガリー)等と国際的なつながりを持つことや、関連する取組に主体的に関っていけることを、県民に周知することができた。

■写真：



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 2017 国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会 地域親善交流会

■組織・団体名 : 大阪市役所

■実施期間(開始) : 2017/2/8

■実施期間(終了) : 2017/2/8

■開催場所都道府県 : 大阪府

■会場名 : 大阪市中央体育館ほか

■参加者/入場者数 : 1689 人

■事業概要 :

2017国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会の開催に併せて、大会参加国であるイギリス、オーストラリア、オランダ、日本の代表選手が、大阪市内の8区(都島・西・港・城東・鶴見・東住吉・平野・西成)の小中学校等を訪問し、車椅子バスケットボールのデモンストレーションを実施し、児童・生徒・地域住民が実際に車椅子を使用して車椅子バスケットボール体験をすることで、障がい者スポーツを通じて障がいや障がいのある方への理解を深める。

■本アクションの成果 :

2017 国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会の参加国であるイギリス、オーストラリア、オランダ、日本の代表選手が市内8会場にて、児童・生徒を中心に車椅子バスケットボールの体験を通じて交流を行った。交流を通じて、障がい者スポーツへの理解を深めてもらい、東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ向けて機運醸成を行った。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック競技大会出場選手による体操教室

■組織・団体名 : 東京都東村山市

■実施期間(開始) : 2017/2/12

■実施期間(終了) : 2017/2/12

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 市民スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 115 人

■事業概要 :

市内在住の小学生 3・4 年生 120 名(各学年 60 名)を対象に東村山市民スポーツセンターにて、体操教室(鉄棒、跳び箱、マット運動及びミニトランポリンの指導)を実施。

講師として、第 28 回オリンピック競技大会(2004/アテネ)の体操競技団体が金メダル、平行棒で銀メダル、第 29 回オリンピック競技大会(2008/北京)の体操競技団体が銀メダルを獲得した富田洋之氏と第 31 回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)体操・トランポリン日本代表の伊藤正樹氏、棟朝銀河氏を招聘。体操の基礎レベルの習得を目指すとともに、教室後も引き続き運動を継続できるよう、保護者等の観覧者へ各種運動に対するアドバイスを記載したリーフレットを配布。

■本アクションの成果 :

当日の参加者だけでなく、市報や市ホームページ、市内公共施設の掲示板等で本事業の広報活動を行うことにより、多くの市民に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図ることが出来た。また、参加者アンケートの結果、回答者の約 83% が 5 段階評価で最高の 5 を選択していたことから、参加者の満足とを得るとともに、地域スポーツの更なる推進の一助となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 小学生空手体験教室

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/2/12

■実施期間(終了) : 2017/2/12

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京江戸川橋体育館

■参加者/入場者数 : 43 人

■事業概要 :

日時:平成 29 年 2 月 12 日(日)午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分まで

場所:文京江戸川橋体育館(文京区小日向 1-7-4)

対象:区内在住在学の小学生

定員:40 名

参加費:1 人 200 円

内容:小学生を対象に初心者向けの空手体験教室、空手の模範演技を行う。

■本アクションの成果 :

東京 2020 オリンピック競技大会の追加種目に決定した空手を体験する事で、追加種目を身近に感じる事が出来た。また、競技内容のレクチャーを受けることにより空手への理解を深め、東京 2020 大会の気運醸成に寄与した。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 香川県競技スポーツ強化本部 第2回指導者研修会

■組織・団体名 : 香川県

■実施期間(開始) : 2017/2/14

■実施期間(終了) : 2017/2/14

■開催場所都道府県 : 香川県

■会場名 : 香川県社会福祉総合センター

■参加者/入場者数 : 130 人

■事業概要 :

今年度2回目の指導者研修会である。講師には、慶応大学総合政策学部専任講師 水鳥寿思 氏を招聘し、各競技団体関係者に指導のノウハウ、強化の考え方等のお話を伺う講演会を開催する。特に、アテネオリンピック以来、3 大会ぶりに金メダル獲得を果たした体操ニッポン復活の秘話、苦難の道のりなど、裏話を含めて、拝聴できることを期待している。

講演会は、90 分間を予定、10 分間の質疑応答の時間を取っている。若くして体操ニッポンを率いる素晴らしい指導者のノウハウを拝聴できることを県教育委員会保健体育課としては、またとない機会ととらえている。

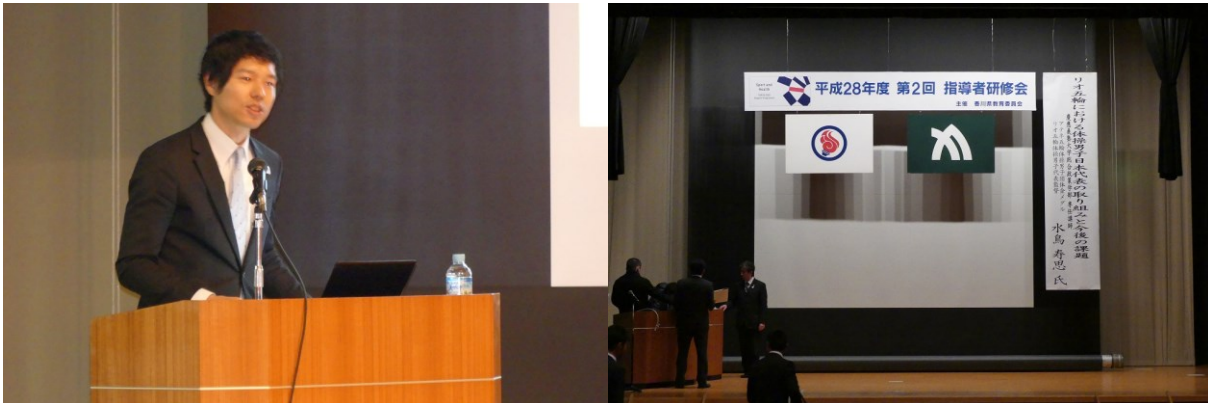
■本アクションの成果 :

選手でも金メダル、監督でも金メダルを獲得した水鳥寿思氏を講師に招聘し、講演会を実施

した。リオ五輪の反省、東京五輪に向けての課題の確認等、興味深い内容であった。

「コツの言語化」の話は、他のスポーツにも共通するところがあり、コーチ同志、選手同志の情報の共有、また、この蓄積が将来の各スポーツ界の財産になることを実感した。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 文の京スポーツ振興講演会 ジャイアンツと東京ドーム

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/2/15

■実施期間(終了) : 2017/2/15

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京区内

■参加者/入場者数 : 75 人

■事業概要 :

日時 平成 29 年 2 月 15 日(水)午後 2 時～3 時 30 分

場所 文京シビックセンター26 階 スカイホール

定員 90 名

対象 どなたでも

内容 文京区とゆかりの深いジャイアンツと東京ドームをテーマに、長年民間テレビ局の現場でスポーツ番組を担当してきた講師が、テレビの前でのスポーツ観戦をより楽しむコツを伝授する。併せてスポーツ観戦全般についての楽しみ方を提案する。

■本アクションの成果 :

東京 2020 オリンピック競技大会の追加種目に決定した野球にスポットを当て、テレビ番組の制作サイドから「観るスポーツ」をこれまで以上に充実させるための講演を行った。

このことにより、参加者はスポーツ競技やオリンピック競技への理解と興味を深めた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 障害者スポーツ振興事業 パリンピアンが語る～みんなでつくる東京 2020 パリンピック～

■組織・団体名 : 東京都豊島区役所

■実施期間(開始) : 2017/2/16

■実施期間(終了) : 2017/2/16

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 豊島区役所本庁舎としまセンタースクエア

■参加者/入場者数 : 57 人

■事業概要 :

豊島区ゆかりの障害者アスリートを講師として、実際のパリンピックの様子やそれまでの道のり、またパリンピック競技をめぐる現状、2020 年東京大会への課題等について講演会を開催する。

対象者: 豊島区在住、在勤等一般区民(定員 200 名)

広報・周知方法: 区ホームページ、広報としまでの周知の他、チラシを作成し区内障害者団体、障害者福祉サービス事業所等に配布。

その他: 参加者に対する情報保障として手話通訳等を配置する。

■本アクションの成果 :

実際にパリンピックに出場した障害者アスリートの方の講演や競技紹介の動画を通して、障害者スポーツの魅力を広く知らせることができた。また、障害者スポーツを盛り上げていくことに加え、日頃から障害のある方への配慮や声掛けなど、地域に心のバリアフリーを広めていくことの大切さについても語られ、2020 年の東京大会の成功に向けて、誰もがともに暮らし、いきいきと輝ける共生社会の実現の重要性を伝えることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 人権教育講座「思いやりとチャレンジ～ゴールボールとの出会いからパラリンピック出場まで～」

■組織・団体名 : 埼玉県朝霞市役所

■実施期間(開始) : 2017/2/16

■実施期間(終了) : 2017/2/16

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 北朝霞公民館(埼玉県朝霞市朝志ヶ丘1-4-1)

■参加者/入場者数 : 29 人

■事業概要 :

アテネ大会・北京大会に出場したパラリンピアンである加藤三重子氏を招き、ご本人の体験やゴールボールとの出会い、障がいを乗り越えパラリンピックに出場を果たしたことなどについての講演会を開催する。

■本アクションの成果 :

講師は、ゴールボールとの出会いをきっかけに、障害を理由にあきらめていたことを実現できた喜びとパラリンピック出場を通じて感じたことを中心に、障害者アスリートの日常や環境、社会、東京 2020 大会への期待を語った。講師の前向きな生き方や考え方から、年齢、性別、障害の有無、国籍にとらわれることなく、すべての人のためのパラリンピックにしたいという機運が醸成された。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックに向けた「SAITAMA PRIDE ! 競技体験キャラバン(サッカー)」

■組織・団体名 : 埼玉県庁

■実施期間(開始) : 2017/2/16

■実施期間(終了) : 2017/2/16

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : さいたま市立木崎小学校

■参加者/入場者数 : 150 人

■事業概要 :

県内小学生を対象とした競技体験キャラバンを実施する

・サッカー(2017 年 2 月 16 日(木)@さいたま市)

○競技体験

・選手、コーチなどによるデモンストレーション

・各競技体験

○トークショー

・ゲストによるトークショー

・生徒からの質問コーナー

○SAITAMA PRIDE アンバサダー認定式

・オリンピック・パラリンピックが埼玉県で開催されることを 2020 年までに出来るだけ多くの人に伝えることを約束してもらい、アンバサダーとして認定する。

■本アクションの成果 :

県内開催競技のサッカー競技体験を通じて、スポーツへの親しみや楽しさ、アスリートのプレーの素晴らしさ、ものごとにチャレンジするやりがいなどを感じてもらった契機となった。また、3 年後に自分たちの街で世界的スポーツの祭典が開催されることを強く意識してもらい、地域への誇りを持ってもらうきっかけになった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックに向けた「SAITAMA PRIDE ! 競技体験キャラバン(バスケットボール)」

■組織・団体名 : 埼玉県庁

■実施期間(開始) : 2017/2/19

■実施期間(終了) : 2017/2/19

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 春日部ウイングハット

■参加者/入場者数 : 90 人

■事業概要 :

県内小学生を対象とした競技体験キャラバンを実施する。

・バスケットボール

○競技体験

・選手、コーチなどによるデモンストレーション

・各競技体験

○トークショー

・ゲストによるトークショー

・生徒からの質問コーナー

○SAITAMA PRIDE アンバサダー認定式

・オリンピック・パラリンピックが埼玉県で開催されることを 2020 年までに出来るだけ多くの人に伝えることを約束してもらい、アンバサダーとして認定する。

■本アクションの成果 :

県内開催競技のバスケット競技体験を通じて、スポーツへの親しみや楽しさ、プロの技術の高さ・スピード、ものごとにチャレンジするやりがいなどを感じてもらう契機となった。また、3 年後に自分たちの街で世界的スポーツの祭典が開催されることを強く意識してもらい、地域への誇りを持ってもらうきっかけになった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックに向けた「SAITAMA PRIDE ! 競技体験キャラバン」(ゴルフ)

■組織・団体名 : 埼玉県庁

■実施期間(開始) : 2017/2/21

■実施期間(終了) : 2017/2/21

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 川越市立霞ヶ関西小学校

■参加者/入場者数 : 100 人

■事業概要 :

○競技体験(スナッグゴルフ)

・選手、コーチなどによるデモンストレーション

・競技体験(ティーショット、アプローチ、パットなど)

○トークショー

・ゲストによるトークショー

・生徒からの質問コーナー

○SAITAMA PRIDE アンバサダー認定式

・オリンピック・パラリンピックが埼玉県で開催されることを 2020 年までに出来るだけ多くの人に伝えることを約束してもらい、アンバサダーとして認定する。

■本アクションの成果 :

県内開催競技のゴルフ競技体験を通じて、スポーツへの親しみや楽しさ、プロの技術の高さ、ものごとにチャレンジするやりがいなどを感じてもらい契機となった。また、3 年後に自分たちの街で世界的スポーツの祭典が開催されることを強く意識してもらい、地域への誇りを持ってもらうきっかけになった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : Fujitsu Inclusive Sports Festival 2017

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/26

■実施期間(終了) : 2017/2/13

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 富士通スタジアム川崎

■参加者/入場者数 : 200 人

■事業概要 :

日時:2 月 26 日(日) 12:00~16:00

場所:富士通スタジアム川崎「かわQ ホール」

主催:富士通 株式会社

共催:富士通スタジアム川崎

後援:川崎市

実施内容:

- (1)ゴールドボール:目隠しをして鈴入りボールの音を頼りにプレーする競技。耳をすませてプレーにチャレンジしよう。
- (2)ポッチャ:正確な投球と頭脳が必要な戦略ゲーム
- (3)車いす体験教育:車いす体験、及び介助体験を通した心のバリアフリー活動推進

■本アクションの成果 :

川崎市民にむけ富士通強化運動部による健康促進運動会を実施、地域社会貢献の一助と

なった。パラリンピックスポーツを体験して頂き多様性、パラスポーツへの興味め、障害を持った方々への理解を深めて頂いた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 品川区制 70 周年 パラリンピック啓発講演会

■組織・団体名 : 東京都品川区

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/4

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 戸越体育館

■参加者/入場者数 : 180 人

■事業概要 :

パラリンピアンによるパラリンピック啓発を目的とした講演会および、パラリンピック競技の体験会を実施する。

(今年度は車椅子バスケットボール)

■本アクションの成果 :

パラリンピック競技の啓発を行い、障害者スポーツの一層の振興を図った。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 第1回障害者スポーツフェスタこうとう

■組織・団体名 : 江東区

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/4

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 江東区スポーツ会館(江東区北砂 1-2-9)

■参加者/入場者数 : 631 人

■事業概要 :

(1) ボッチャ交流大会

パラリンピックの正式種目であり、東京 2020 パラリンピック競技大会では江東区内で開催されるボッチャ競技の交流大会を開催し、競技の普及振興のみならず、障害者にとっての運動機会の提供や障害の有無を超えた参加者同士のふれ合いの機会とする。

(2) 障害者スポーツ体験

普段体験できない障害者スポーツにふれ合い、障害者や障害者スポーツへの理解促進のため、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、フライングディスク、ボッチャ(テーブルボッチャを含む)の体験コーナーを設置する。

(3) パラリンピアントークショー

リオ 2016 パラリンピック競技大会ボッチャ日本代表で団体銀メダリストの廣瀬隆喜氏と代表コーチの村上光輝氏を迎えてトークショーを開催し、これまでの活動を通じた経験をもとに、東京パラリンピック大会へ向けたメッセージを参加者へ発信する。

(4) 種目紹介等場内展示

当日体験できる種目以外の種目についても幅広く紹介するため、東京 2020 パラリンピック競技大会各実施競技のルールや概要を解説したパネルを展示する。また、「アートで表現するパラスポーツ」をテーマとしたデザイン作品の展示を行う。

■本アクションの成果 :

今回が第 1 回目の事業であったが、想定を上回る参加者があった。特に中心イベントとなったボッチャ交流大会は、過半数の参加者が障害者の方であり障害のある方もない方もともにスポーツに親しむという事業目的を体現するものとなった。他の競技体験でも多くの方が参加し、障害者自身の可能性を高め、障害者と障害者スポーツの理解促進が図られた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : Sports for All パラリンピック競技体験

■組織・団体名 : 武蔵野市

■実施期間(開始) : 2017/3/5

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 武蔵野総合体育館

■参加者/入場者数 : 60 人

■事業概要 :

武蔵野市では、誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、オリンピック・パラリンピック等国际大会に向けたイベント名を「Sports for All」とした。今回は、駅伝・マラソンに参加する人たちに、車椅子バスケットボール用車椅子等の試乗体験・ボッチャの体験・パネル展示等を実施し、パラリンピックスポーツの周知し、体験する機会を提供することで、障害者のスポーツに対する市民の理解を深める。

■本アクションの成果 :

各種体験プログラム、及びパネル展示を通じて、パラリンピック競技の魅力や楽しさを体感してもらうことができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : パラリンピック成功を応援するトークショー

■組織・団体名 : 江東区

■実施期間(開始) : 2017/3/8

■実施期間(終了) : 2017/3/8

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 豊洲シビックセンターホール(豊洲 2-2-18)

■参加者/入場者数 : 230 人

■事業概要 :

東京2020パラリンピック競技大会に向けて、パラリンピックの認知度の向上及び障害者スポーツの普及・啓発を図るため、「パラリンピアンをヒーローに！」をテーマにトークショー及びパネルディスカッションを開催する。

■本アクションの成果 :

本事業を通じて、区民にパラリンピアン・パラリンピックの魅力・思いに触れる機会を提供することができ、パラリンピックの認知度の向上及び障害者スポーツの関心を高めることができた。

また、今後もパラリンピックの啓発イベントを期待する来場者の声も上がり、パラリンピックの気運醸成にも貢献することができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 伊豆市げんきプロジェクト事業(伊豆ペロドロームでウォーキング)

■組織・団体名 : 伊豆市

■実施期間(開始) : 2017/3/11

■実施期間(終了) : 2017/3/11

■開催場所都道府県 : 静岡県

■会場名 : 伊豆ペロドローム

■参加者/入場者数 : 300 人

■事業概要 :

《伊豆ペロドローム・走路》

- 1)「運動(1)」伊豆ペロドロームでウォーキング
- 2)「運動(2)」自転車体験走行
- 3)「運動(3)」伊豆ペロドロームでノルディックウォーキング

《伊豆ペロドローム・アリーナ》

- 4)「禁煙」禁煙相談コーナー
- 5)プラス 10 分体操コーナー
- 6)簡易骨密度測定

《伊豆ペロドローム・観客席外周》

- 7)「減塩」減塩みそ汁の試飲、食育のコーナー

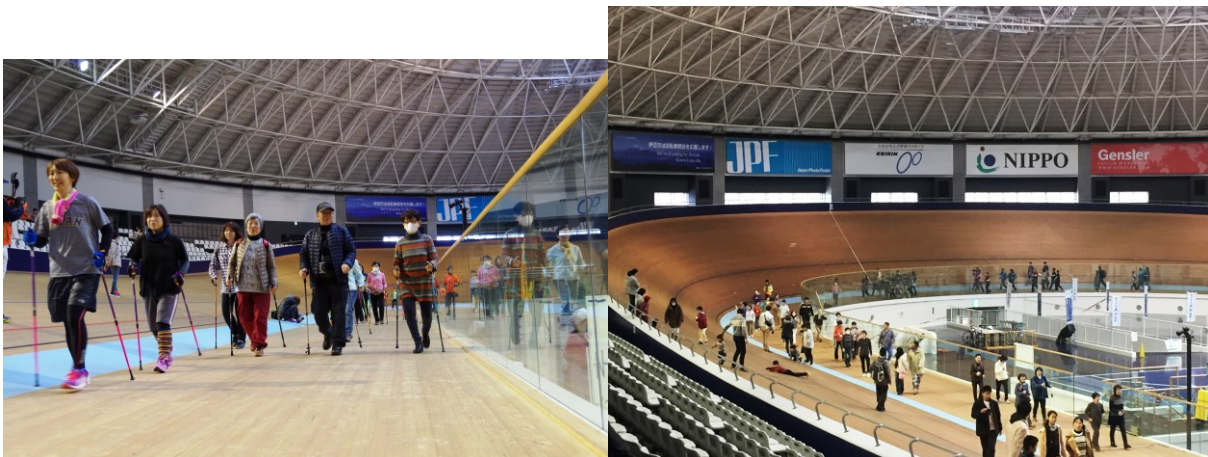
《スペシャルイベント》

競技種目解説、自転車競技デモンストレーション(予定)

■本アクションの成果 :

日頃足を踏み入れることのない伊豆ペロドロームのコースを歩いたことで、伊豆ペロドローム+東京 2020 大会への愛着が生まれ、大会観戦意欲が高まった。1 歳過ぎのお子さんから高齢者まで、また車椅子の少年や外国人の参加もあり、思い思いにウォーキングを楽しむ姿とあふれる笑顔が、本プロジェクトの目指す「げんき」そのものだった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : アスリートから学ぶ Let's Enjoy スポーツ

■組織・団体名 : 台東区役所

■実施期間(開始) : 2017/3/12

■実施期間(終了) : 2017/3/12

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 台東リバーサイドスポーツセンター体育館

■参加者/入場者数 : 680 人

■事業概要 :

トップアスリートの本物の迫力を間近で観てもらい、スポーツの素晴らしさを感じてもらうとともに、オリンピック・パラリンピック種目の競技を体験する。

■本アクションの成果 :

本事業では、オリンピック・パラリンピック各3種目のトップアスリートを招聘し、障害者を含む区民の方に、トップアスリートの本物の迫力を間近で観てスポーツの素晴らしさを感じてもらうとともに、複数のオリンピック・パラリンピック競技を体験できる機会を提供した。また、別事業においてスポーツボランティア登録をした方への活動の場も提供し、区民のスポーツに対する気運を醸成し、スポーツ参画人口の増加に寄与した。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックに関する講演会

■組織・団体名 : 中央区

■実施期間(開始) : 2017/3/16

■実施期間(終了) : 2017/3/16

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 中央区役所 8 階大会議室

■参加者/入場者数 : 70 人

■事業概要 :

これまでオリンピック、パラリンピアンを始めとして、1998 年長野大会の従事者やスポーツ科学に詳しい大学教授を招き、オリンピック・パラリンピックの経験、スポーツの素晴らしさ、健康づくりのメソッド等、さまざまな内容の講演を実施してきた。今回は星奈津美選手を講師に招き、リオデジャネイロ 2016 年大会の体験談等を語っていただき、聴講した方々に東京 2020 大会への期待を高めてもらう。

【これまでの実績】

○平成 27 年度第 1 回 平成 27 年 7 月 24 日

「1998 年長野冬季五輪での市民参加の状況」(講師:銀座NAGANO所長 熊谷 晃氏)

「世界のアスリートを迎える中央区民のための健康メソッドとスポーツ環境」(講師:早稲田大学スポーツ科学学術院教授
(教育学博士)中村 好男氏)

○平成 27 年度第 2 回 平成 27 年 2 月 1 日

「パラリンピックの見どころとパラリンピアンが体験した選手村」(講師:競泳選手 パラリンピアン木村 敬一氏)

○平成 28 年度第 1 回 平成 28 年 8 月 1 日

「オリンピックが体験したことそしてリオ 2016 大会について」(講師:元バレーボール全日本女子代表 オリンピアン 大山 加奈氏)

■本アクションの成果 :

講師である星奈津美さんがリオ2016大会の選手村や競技前の選手の心境などについて、ご自信の体験を踏まえて講演いただいた。講演会後に銅メダルや星さんと記念撮影の時間を設けていただき、参加者からは行列ができるほど好評となった。また、講演会のアンケート結果からは「競技会場で観戦したくなった」「東京2020大会でより応援したくなった。」など気運醸成を高める感想が多かった。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : パラリンピック銀メダリスト 上原大祐氏講演会

■組織・団体名 : 日本電気株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/17

■実施期間(終了) : 2017/3/17

■開催場所都道府県 : 福島県

■会場名 : 郡山ユラックス熱海

■参加者/入場者数 : 37 人

■事業概要 :

バンクーバーパラリンピック アイススレッジホッケー銀メダリストであり、NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 障がい攻略エキスパートでもある上原大祐氏。

この講演を通し、パラリンピックやバリアフリーの知識向上、またそれらを起点としたビジネス拡大や、街づくり構想へのマインドの醸成を図る。

■本アクションの成果 :

郡山市役所職員様、地元企業社員様を対象に講演会を実施し、障がい者にとっての困りごとや誰もが助け合える共生社会の重要性を講演。当日の参加者からは「これまでの選手生活の話から、パラリンピアンや障がい者が日常の生活において、どのような所に不便さを感じているのか」を知る非常により機会となった等のコメントを頂きました。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 未来のスポーツリーダー養成事業

■組織・団体名 : 横浜市

■実施期間(開始) : 2017/3/19

■実施期間(終了) : 2017/3/19

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 横浜市スポーツ医科学センター等

■参加者/入場者数 : 81 人

■事業概要 :

(1)主な対象

横浜市内在住・在学の小学生～高校生

(2)主催団体等

主催:(公財)横浜市体育協会 (横浜市スポーツ医科学センター)

共催:横浜市市民局

(3)人数

各回 80 名 (年2回程度開催)

(4)講師

スポーツ医科学センター専門職員及び外部講師(オリンピック・プロスポーツ選手等)

(5)内容

スポーツ傷害予防、トレーニング論、スポーツ栄養学、スポーツ科学論等トップアスリートに必要な知識についての講座及び実技などを秋季と冬季の2回実施

■本アクションの成果 :

子どもたちがオリンピックより直接指導を受けることにより、今まで遠く感じていたオリンピックを身近に感じてもらうことが出来た。一線で活躍しているスタッフから、怪我予防の身体づくりの指導を受けたり、選手本人から、テクニックよりも基礎練習が一番大事とアドバイスをもらう事により、今自身に必要なものが何かを掴んで貰えたと思う。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ぶんきょうウォーキングガイドブック・コースマップ発行イベント

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/3/20

■実施期間(終了) : 2017/3/20

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京シビックセンター及び文京区内

■参加者/入場者数 : 67 人

■事業概要 :

ウォーキング初心者向けのコースマップ作成とスターターブック発行を記念したウォーキング事業の実施。

日時 平成 29 年 3 月 20 日(祝・月)午後1時～午後3時半

場所 文京シビックセンター及び文京シビックセンター周辺

内容

(1)発行イベント

ガイドブック説明、ウォーキング説明、一般社団法人日本ウォーキング協会の指導によるウォーキング教室

(2)ウォーキング体験

自由歩行によるウォーキング体験(文京シビックセンター周辺)

■本アクションの成果 :

これまでスポーツを行っていなかった方に、ウォーキングを行ってもらうことで運動する

ことの楽しさを伝えることができた。コースマップの配付により、継続的なウォーキングの

実施が期待される。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 親子自転車教室

■組織・団体名 : 静岡県

■実施期間(開始) : 2017/3/26

■実施期間(終了) : 2017/3/26

■開催場所都道府県 : 静岡県

■会場名 : 伊豆ベロドローム

■参加者/入場者数 : 66 人

■事業概要 :

東京 2020 大会自転車競技(トラック)の会場である伊豆ベロドロームで開催する親子向け自転車教室

(1) 子ども向け自転車教室(一本橋やスラロームなどを使って楽しく自転車の安全な乗り方を学ぶ)

(2) 保護者向けトラック体験会(競技用トラックの走行体験)

■本アクションの成果 :

子供向けの自転車教室では、経験豊富な講師が、様々な障害物を使い楽しく自転車の乗り

方について教え、子どもたちは夢中になって障害物をクリアするなど非常に楽しそうだった。

また、保護者はトラックを走行し、競技用自転車の走行の難しさを体感したようだった。普段

できない体験をすることで、自転車の楽しさを感じ、自転車競技への関心を持ってもらう良い

機会になった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 元気で輪っしょい! 桜ウォーク2017

■組織・団体名 : 東京都北区

■実施期間(開始) : 2017/4/2

■実施期間(終了) : 2017/4/2

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 北区役所～板橋(橋梁)※石神井川沿い遊歩道

■参加者/入場者数 : 2631 人

■事業概要 :

平成14年度から毎年度春に実施しており、本年度で16回目を迎える。毎年2～3000人が参加するウォーキングイベントである。

○日 時 平成29年4月2日(日) 9時～13時30分(スタート受付:9時～10時) ※小雨決行、当日自由参加

○コース (全長約6.5km 体力に合わせて、途中の橋で折り返しも可。)

北区役所中庭(スタート)→紅葉橋→石神井川沿北側遊歩道→音無こぶし緑地→板橋<橋梁>(折り返し)→石神井川沿南側遊歩道→音無さくら緑地→松橋→北区役所(ゴール)

○方 法

- ・スタート受付時間内に受付をした参加者が自由にウォーキングを楽しむ。
- ・参加者には記念バッジを進呈。秋のウォーキング大会「北・水辺ウォーク」と合わせて4回参加ごとに特別賞(区内共通商品券)と完歩証を贈呈。
- ・区職員と、区内自主グループ(ボランティア)の「北区健康づくりグループ」が運営誘導を行う。

■本アクションの成果 :

前年度を大きく上回る2631名の参加者がウォーキングを楽しんだ。老若男女、また車いすやベビーカーなど幅広い方々が参加した。ボランティアによる誘導のもと、各自が自分のペースで無理のない範囲で参加することができた。東京2020大会へのさらなる気運醸成のため、リオパラリンピック銅メダリストの多川知希選手にご来場いただき、参加者とふれあってもらうことができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : スポーツ庁「スポーツによる地域活性化事例集」

■組織・団体名 : 日本生命保険相互会社

■実施期間(開始) : 2017/4/19

■実施期間(終了) : 2017/4/19

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : スポーツ庁

■参加者/入場者数 : 0 人

■事業概要 :

地域活性化、スポーツ振興、次世代育成 を目的として、スポーツ庁「スポーツによる地域活性化事例集」の企画に協賛し、全国の中学校、高校、大学に寄贈。全国の読者の東京 2020 大会やスポーツへの興味関心を高め、オリンピック・パラリンピックへの機運醸成とともに、将来のスポーツを支える人材の育成に繋げる。

■本アクションの成果 :

地域活性化、スポーツ振興、次世代育成に寄与。全国の読者の東京 2020 大会への興味関心を高め、機運醸成に寄与。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 文の京スポーツ振興講演会 みんなで考える東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/4/19

■実施期間(終了) : 2017/4/19

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : シビックセンター26 階スカイホール

■参加者/入場者数 : 75 人

■事業概要 :

アトランタからリオまでオリンピックを取材し、番組制作を総括してきた、フジテレビジョンスポーツ局調整担当局長が、「観るスポーツ」としてのオリンピックの魅力や、すべての人が主体的に東京 2020 大会を考きかけとなるヒントについて講演します。

■本アクションの成果 :

過去のオリンピック競技大会の実例により、東京 2020 大会への関わり方についてのヒントや、テレビ番組作成側から見たオリンピック・パラリンピックの魅力について、知識を得ることができた。

このことにより参加者は、オリンピック・パラリンピックへの興味を深め、気運醸成につなげることができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 夢の実現へ ～2018 年冬 最高の舞台へ挑むアイスホッケー選手たち～

■組織・団体名 : 学校法人 昭和大学

■実施期間(開始) : 2017/4/26

■実施期間(終了) : 2017/4/26

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 品川区立第二延山小学校

■参加者/入場者数 : 600 人

■事業概要 :

アイスホッケーの紹介と女子日本代表選手とコーチから、競技を通じて学んだことや世界大会での経験、周囲の人に支えられて活動していることなどを語ることで、子供たちに夢や目標に向かってがんばることのすばらしさや支えてくれる人への感謝の気持ちを持つことの大切さを伝える。

■本アクションの成果 :

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、本学アスリート職員が品川区立第二延山小学校の全校児童を対象に講演を行った。

アイスホッケーの紹介、ソチオリンピックでの経験から自身の弱点を知り、それを克服して見事平昌オリンピック出場を決めた体験談を語り、夢や目標に向かって頑張ることの大切さを伝えた。児童だけでなく、本学アスリート職員にとっても有意義な時間となった。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : アメリカ桜祭り公演「TAIKO & DANCE 2017」凱旋公演

■組織・団体名 : 玉川大学

■実施期間(開始) : 2017/4/28

■実施期間(終了) : 2017/4/30

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 玉川大学 University Concert Hall

■参加者/入場者数 : 1358 人

■事業概要 :

4 月 2 日から 15 日までニューヨーク、ワシントンなどで、開催されるアメリカ桜祭りの公演の帰国報告公演である。

■本アクションの成果 :

2017 年 4 月 28 日(金)・30 日(日)、ワシントン桜祭り公演での演目を上演した。アメリカ東海岸を中心にボストン(MIT)、ニューヨーク(ストニーブルック大学)、ワシントン(National Cherry blossom Festival)フィラデルフィア(スワースモア大学など)で計 10 公演。来年度にも日本から招聘される唯一の大学としてワシントン桜祭りに参加する。老若男女を問わず幅広い観客層に受け入れられ、14 年間継続参加を果たしている。影響を受けて組まれた現地の太鼓演奏団体も存在する。学内始め、地域の観客、一般の観客層にも大学の活動、並びに学生の集中的に取り組む様子を知らせることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 三菱電機 Going Up キャンペーン

■組織・団体名 : 三菱電機株式会社

■実施期間(開始) : 2017/4/29

■実施期間(終了) : 2017/4/30

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 日比谷公園 1-6

■参加者/入場者数 : 100000 人

■事業概要 :

車椅子バスケットボールをはじめとする障がい者スポーツなど様々なスポーツを通じて共生社会への理解を深めるプロジェクト

(1)講師による車椅子バスケットボール等の競技デモンストレーション

(2)車椅子バスケットボール等の競技体験会

(3)障がい者スポーツや三菱電機の取り組みに関するパネル展示

■本アクションの成果 :

事前準備通りに実施し、両日ともに混乱もなく無事終了。

体験会、ブースともに老若男女問わず多くの方に車いすバスケットボールや、ボッチャ、ゴールボールに触れて頂く事ができた。

特に子供含む若年層が多く参加者頂いた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 富士大学スポーツ振興アカデミー 設立記念 キックオフミーティング「大学スポーツの未来」

■組織・団体名 : 富士大学

■実施期間(開始) : 2017/5/3

■実施期間(終了) : 2017/5/3

■開催場所都道府県 : 岩手県

■会場名 : 富士大学内 681 教室

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

富士大学では、今年の4月に「スポーツ振興アカデミー」を設置し、本学スポーツ資源(人材、研究成果、施設、設備等)を活用してスポーツを通じて豊かな社会を送る社会の創造に貢献することを目指した様々な取組を実施する。そのキックオフを宣言しスポーツ振興を啓発する目的のための事業である。

■本アクションの成果 :

- ①大学を拠点としたスポーツ振興の在り方を県民や市民、スポーツ関係者の方々と共有する機会となった。
- ②学生がスポーツイベントボランティアや障がい者スポーツ指導の視点を持つ機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 三菱電機 Going Up キャンペーン

■組織・団体名 : 三菱電機株式会社

■実施期間(開始) : 2017/5/5

■実施期間(終了) : 2017/5/6

■開催場所都道府県 : 香川県

■会場名 : サンポート 2-1

■参加者/入場者数 : 75000 人

■事業概要 :

(1)障がい者スポーツ デモンストレーション

車椅子バスケットボール等、講師によるデモンストレーション

(2)障がい者スポーツ 体験会

車椅子バスケットボール等の体験会

(3)ブース展示

障がい者スポーツを通じた障がい者理解促進ブース展開

■本アクションの成果 :

事前準備通りに実施し、両日ともに混乱もなく無事終了。

体験会、ブースともに老若男女問わず多くの方に車いすバスケットボールや、ボッチャ、ゴールボールに触れて頂く事ができた。

特に子供含む若年層が多く参加者頂いた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 黒目川健康ウォークラリー

■組織・団体名 : 埼玉県朝霞市役所

■実施期間(開始) : 2017/5/13

■実施期間(終了) : 2017/5/13

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : ウォークラリー:黒目川周辺 講演会:朝霞市産業文化センター

■参加者/入場者数 : 124 人

■事業概要 :

整備の完了した黒目川の遊歩道を活用して、ウォークラリーを開催し、誰もがスポーツを行い、楽しむきっかけづくりを図る。また、その第1回目の開催にあたり、手倉森誠氏を招き、東京 2020 大会にむけた機運の醸成と市民の健康づくりに関連した講演会を開催する。

■本アクションの成果 :

講演会は、現サッカー日本代表コーチの講演ということで、市内のサッカーチームに所属する子どもたちの姿も多く見られた。リオ大会の話を中心に、サッカーの指導方法や自身の健康管理についても触れ、東京 2020 大会が身近な地域で開催されることを契機に、スポーツに親しみ、大会の魅力を体感することへの機運が高まる内容であった。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 富山県民歩こう運動推進事業(元気とやまウォークラリーin 富山)

■組織・団体名 : 富山県

■実施期間(開始) : 2017/5/14

■実施期間(終了) : 2017/5/14

■開催場所都道府県 : 富山県

■会場名 : 空港スポーツ緑地公園

■参加者/入場者数 : 400 人

■事業概要 :

歩くことは誰もが気軽に始めることができ、身体に無理な負担がかからない理想的な運動であり、生活習慣病の予防はもとより体力の向上さらにはストレスの解消など様々な効用があるといわれている。「歩くこと」を通じた健康づくりを広め、運動習慣の定着のきっかけをつくる。

■本アクションの成果 :

石井知事も参加し、約400名の参加者の皆さんがさわやかな汗を流した。ゲストにシンクロナイズドスイミング元日本代表の青木愛さんを招き、オリンピックにかける思い、体を動かすことの必要性を聞き、一緒に 3km コースを歩くことを通して、運動の楽しさやすばらしさを味わうとともに、オリンピックに対する興味・関心を深めるよい機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 富山県スポーツフェスタ

■組織・団体名 : 富山県

■実施期間(開始) : 2017/5/14

■実施期間(終了) : 2017/5/14

■開催場所都道府県 : 富山県

■会場名 : 富山県総合体育センター

■参加者/入場者数 : 2000 人

■事業概要 :

富山県民体育大会、富山県民スポーツ・レクリエーション祭、富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会、総合型スポーツクラブのクラブ祭等で構成される総合的なスポーツ大会である。総合開会式では、県知事の挨拶、県内の全てのスポーツ団体の入場行進や前年度に優秀な成績を挙げた選手の紹介等を行う。

■本アクションの成果 :

当日は、県内のスポーツ団体の代表者をはじめ、来賓、観客を合わせ約2,000名の参加を得て、盛大に開催することができた。137団体の入場行進、大会長石井知事の挨拶、優秀選手・団体紹介、4世代による選手宣誓などを行い、県民のスポーツへの参加意欲・健康増進等を広めるよい機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 新選組 チャンバラ合戦

■組織・団体名 : 東京都日野市

■実施期間(開始) : 2017/5/14

■実施期間(終了) : 2017/5/14

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 日野第一小学校

■参加者/入場者数 : 131 人

■事業概要 :

スポンジ製の刀で相手の腕についた玉を落とす簡単なルールのチャンバラ合戦。ラストサムライである新選組になぞらえた合戦競技で頂点を目指すアスリート体験とともに侍の疑似体験することによって市の歴史と関連が深い「新選組」に関心を持っていただき、「新選組のふるさと日野」の認知度向上、後世への継承を目指す。

■本アクションの成果 :

スポンジ製の刀で相手の腕についた玉を落とすチャンバラ合戦を実施。簡単なルールのため、小さな子どもから大人まで、また障害のある方も一緒に131 名の方が合戦を楽しんだ。

このイベントを通して思いきり体を動かす楽しさや、勝つためにチームで作戦を立て協力するというチームプレーの大切さ、ルールを守る大切さを体験することができた。

また、市の歴史と関連が深い「新選組」の隊士として合戦に参加することにより市の歴史に興味を持ってもらえる良いきっかけとなった。

参加者だけでなく観客も楽しめ、大いに盛り上がるイベントだった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 三菱電機 Going Up キャンペーン

■組織・団体名 : 三菱電機株式会社

■実施期間(開始) : 2017/5/20

■実施期間(終了) : 2017/5/21

■開催場所都道府県 : 静岡県

■会場名 : 駿河区小鹿三丁目 18 番 1 号

■参加者/入場者数 : 20000 人

■事業概要 :

(1)障がい者スポーツ デモンストレーション

・車椅子バスケットボール等、講師によるデモンストレーション

(2)障がい者スポーツ 体験会

・車椅子バスケットボール等の体験会

(3)ブース展示

・障がい者スポーツを通じた障がい者理解促進ブース展開

■本アクションの成果 :

事前準備通りに実施し、両日ともに混乱もなく無事終了。

老若男女問わず多くの方に車いすバスケットボールとボッチャに触れて頂く事ができた。

特に子供含む若年層が多く参加者頂いた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : Sports for All ラグビー

■組織・団体名 : 武蔵野市

■実施期間(開始) : 2017/5/21

■実施期間(終了) : 2017/5/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 武蔵野陸上競技場

■参加者/入場者数 : 443 人

■事業概要 :

武蔵野市では、誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けたイベント名を「Sports for All」とした。今回は、ラグビーの持つ魅力や楽しさを体験プログラムや試合観戦を通じて感じてもらう。

■本アクションの成果 :

各種体験プログラム、ゲストによるトークショー、本格的な試合観戦を通じて、ラグビーの魅力や楽しさを体感してもらった。また、ウィルチェアーラグビーの体験を通じて障害者スポーツへの理解と興味・関心を高めることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング

■組織・団体名 : 法政大学

■実施期間(開始) : 2017/5/22

■実施期間(終了) : 2017/5/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 法政大学市ヶ谷キャンパス

■参加者/入場者数 : 22 人

■事業概要 :

障がい者と健常者の間の「見えない壁」を取り払い、視覚障がい者との共生に関心をもってもらうことを目的とし本学のボランティアセンター学生スタッフがブラインドサッカー体験会を企画した。

■本アクションの成果 :

本プログラムを通して、障害者と健常者の間の「見えない壁」を取り払い、視覚障害者との共生に関心をもってもらうこと、仲間が主体的に自分らしさ、多様性を発揮しつつ、相互に関わりながら一丸となって共通のゴールを達成しようとするチームビルディングを学ぶことが出来た。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 第3回プラぞり大会～仙台大学開学50周年記念大会～

■組織・団体名 : 仙台大学

■実施期間(開始) : 2017/5/27

■実施期間(終了) : 2017/5/27

■開催場所都道府県 : 宮城県

■会場名 : 柴田町 太陽の村

■参加者/入場者数 : 56人

■事業概要 :

(1)プラぞり大会

プラスチック製のそりで、斜面を利用し、ソリ競技の疑似体験レースを実施。

(2)競技紹介と体験

映像を用いたソリ競技の紹介や実際のソリに乗る体験ブースの設置。

■本アクションの成果 :

当日は降雨の為、室内でのソリ競技疑似体験とプラズマカーレースの2つを代替開催。競技紹介では、映像や実際に使う道具を用いながら説明し、競技の魅力を発信した。ローラースケルトン体験では実際のスケルトンと同じ体勢、目線での滑走を体験させることで、スピード感を感じて楽しんでもらった。プラズマカーは平昌五輪と同様のコースを作成し、子供たちが試行錯誤して速い乗り方やライン取りを考えながらレースを楽しんでいた。ソリ競技の魅力や楽しさを体感しつつ、親子で楽しんでもらえた良い企画となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 障がい者スポーツ支援イベント “バリアを超えていこう!” HEALTH ANGELS (切断者スポーツクラブ)

■組織・団体名 : 上智大学

■実施期間(開始) : 2017/5/28

■実施期間(終了) : 2017/5/28

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 上智大学 四谷キャンパス

■参加者/入場者数 : 1000 人

■事業概要 :

義足のアスリートとして活躍しているHEALTH ANGELS! 胸を張って活躍しているメンバーの活動を紹介することで、障がい者スポーツへの理解を深め、東京 2020 大会、そしてその後も続く共生社会創造を考えるきっかけを作る。義足展示 & 装着体験などを通じて、観て、知って、体験できるイベントになる。

■本アクションの成果 :

華やかな衣装を身に纏い、カラフルな自慢の義足で堂々で行われたファッションショーは、スタート

直後は出演者も観客も驚くばかりであったが、自然と笑顔を躍動感に魅了される場と変わった。「知らない、分からない」から、まずは「観て、知って、体験する」への流れを生み、心のバリアフリーの意識を大きく醸成する場となった。特に卒業生の子供たちからの強い関心が得られたことも特筆すべき成果と言える。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : あいちスポーツコミッション講演会

■組織・団体名 : 愛知県

■実施期間(開始) : 2017/5/31

■実施期間(終了) : 2017/5/31

■開催場所都道府県 : 愛知県

■会場名 : 愛知芸術文化センター 12 階 アートスペースA

■参加者/入場者数 : 124 人

■事業概要 :

東京 2020 大会を始めとするスポーツ大会を活用した地域活性化を図る取組に対する機運を醸成するため、至学館大学レスリング部監督の栄和人氏を講師に招いた講演会を開催する。

■本アクションの成果 :

多くの人に対し、東京 2020 大会を始めとするスポーツ大会を活用した地域活性化を図る取組に対する理解を深めることができた。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 三菱電機 Going Up キャンペーン

■組織・団体名 : 三菱電機株式会社

■実施期間(開始) : 2017/6/2

■実施期間(終了) : 2017/6/3

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 西区みなとみらい 1-1-1

■参加者/入場者数 : 750000 人

■事業概要 :

(1)障がい者スポーツ デモンストレーション

・車椅子バスケットボール等、講師によるデモンストレーション

(2)障がい者スポーツ 体験会

・車椅子バスケットボール等の体験会

(3)ブース展示

・障がい者スポーツを通じた障がい者理解促進ブース展開

■本アクションの成果 :

事前準備通りに実施し、両日ともに混乱もなく無事終了。

老若男女問わず多くの方に車いすバスケットボールとボッチャに触れて頂く事ができた。

特に子供含む若年層が多く参加者頂いた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 新宿区 パラスポーツフェスタ in 新宿コズミックセンター

■組織・団体名 : 新宿区

■実施期間(開始) : 2017/6/3

■実施期間(終了) : 2017/6/4

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 新宿コズミックセンター2F 大体育室 (新宿区大久保 3-1-2)

■参加者/入場者数 : 340 人

■事業概要 :

子どもたちがパラスポーツを身近に感じられる機会を創出するため、子どもたちを対象としたパラリンピックの競技種目等(車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、ボッチャ、体操(マット運動))の体験イベントを実施する。

■本アクションの成果 :

本アクションを通じて、子どもたちやその保護者がパラスポーツの魅力・面白さ・奥深さを発見することができた。

また、パラリンピックへの関心度を向上させることができた。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : ユニバーサルスポーツ・「ボッチャ」体験教室

■組織・団体名 : 法政大学

■実施期間(開始) : 2017/6/5

■実施期間(終了) : 2017/6/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 法政大学市ヶ谷キャンパス

■参加者/入場者数 : 15 人

■事業概要 :

本学学生にパラリンピックの正式種目であるボッチャの純粋なスポーツとしての楽しさを感じてもらい、そこからボッチャに対する関心を深め、最終的にはボッチャを取り巻く様々な障がい存在を知るということを目的とし、本学のボランティアセンター学生スタッフが企画した。

■本アクションの成果 :

今回は7人対8人のチーム戦を行いました。皆チーム内で次はどこに投げるのか、また誰が投げるのか等、コミュニケーションをとりながら真剣に、そして純粋にスポーツとしてボッチャを楽しんでいました。これはボッチャというスポーツを理解する上で、なによりも意義のある点であったと思います。

■写真 :

■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 富山県民歩こう運動推進事業(第 24 回富山県民歩こう運動推進大会)

■組織・団体名 : 富山県

■実施期間(開始) : 2017/7/2

■実施期間(終了) : 2017/7/2

■開催場所都道府県 : 富山県

■会場名 : 富岩運河環水公園

■参加者/入場者数 : 750 人

■事業概要 :

歩くことは誰もが気軽に始めることができ、身体に無理な負担がかからない理想的な運動であり、生活習慣病の予防はもとより体力の向上さらにはストレスの解消など様々な効用があるといわれている。「歩くこと」を通じた健康づくりの普及啓発及び運動習慣の定着のきっかけづくりのため、大会を開催するもの。

■本アクションの成果 :

石井知事も参加し、約 750 名の参加者の皆さんがさわやかな汗を流した。ゲストに体操競技元日本代表の池谷幸雄さんを招き、オリンピックにかける思いや体を動かすことの大切さを聞くとともに、一緒に 5km コースを歩くことを通して運動の楽しさや素晴らしさを味わい、さらには、オリンピックに対する興味・関心を深めるよい機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 池谷幸雄親子体操教室

■組織・団体名 : 富山県

■実施期間(開始) : 2017/7/2

■実施期間(終了) : 2017/7/2

■開催場所都道府県 : 富山県

■会場名 : 新湊アイシン軽金属スポーツセンター

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

県民がオリンピックや日本代表選手と直接交流することにより、東京 2020 大会に向けての機運の醸成を図るとともに、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツに親しむ県民の増加を図り、併せてスポーツ実施率の向上と健康寿命の延伸を図る。

■本アクションの成果 :

約 250 組の親子約 500 人が参加し、オリンピックの池谷幸雄氏から指導を受け、楽しく、真剣に体を動かしていた。参加者は、子どもにとって体を動かして遊ぶことの重要性を実技を通して改めて気づく機会になった。また、オリンピックで獲得したメダルを自由に触れられるコーナーを設定したことで、オリンピックに対する興味・関心を深めるよい機会となった。

■写真 :



■分野 : スポーツ・健康

■アクション名 : 身近な地域スポーツ促進事業

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2017/10/18

■実施期間(終了) : 2017/2/9

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 榎形町外学習センターあやめホール

■参加者/入場者数 : 284 人

■事業概要 :

(1)山梨県地域スポーツ推進協議会の運営

事例や課題等の情報共有、すべての市町村において、身近なスポーツ活動の取り組みを推進する。

開催予定 年 3 回(5 月、11 月、3 月)

生涯スポーツ・体力づくり全国会議に派遣

(2)オリンピック・パラリンピアンを活用した講演会等の実施

講演会等を開催することで、オリンピックと市民スポーツの関わりについての理解を深め、指導者の指導意欲を向上につなげる。

(3)スポーツ JanJan(パンフレット)の発行

各市町村を持ち運びができるようA6サイズで作成・配布し活用する。

■本アクションの成果 :

オリンピック・パラリンピアンをお迎えして講演会を開催したことで、オリンピックと市民スポーツの関わりについての理解を深めるとともに、スポーツへの参加促進や指導者の指導意欲の向上につながる講演会となった。

■写真 :

■分野 : 街づくり

■アクション名 : オリンピック・パラリンピック施設周辺道路電線共同溝整備工事その 2

■組織・団体名 : 東京都品川区

■実施期間(開始) : 2016/8/10

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 幹線一級 7 号

■参加者/入場者数 : 100000 人

■事業概要 :

電線共同溝整備工事延長 長さ(L)=625m

オリンピック・パラリンピック競技大会開催の前年(平成 31 年度)までに、競技施設周辺道路の無電柱化事業として、平成 28 年度は電線共同溝本体工事を行う。

■本アクションの成果 :

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会において、大井ホッケー競技場として使用される大井ふ頭中央海浜公園から大井競馬場前駅付近の区道が無電柱化や歩道部のバリアフリー化を実施し、防災機能と景観性の向上を実現した。また、レガシーコンセプト「ユニバーサル社会の実現・ユニバーサルデザインに配慮した街づくり」「安全・安心な都市の実現」の実現に寄与した。

■写真 :



■分野：街づくり

■アクション名：オリンピック・パラリンピック施設周辺道路電線共同溝整備工事その1

■組織・団体名：東京都品川区

■実施期間(開始)：2016/8/10

■実施期間(終了)：2017/3/31

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：幹線一級7号

■参加者/入場者数：100000人

■事業概要：

電線共同溝整備工事延長 長さ(L)=349m

オリンピック・パラリンピック競技大会開催の前年(平成31年度)までに、競技施設周辺道路の無電柱化事業として、平成28年度は電線共同溝本体工事を行う。

■本アクションの成果：

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、大井ホッケー競技場として使用される大井ふ頭中央海浜公園から大井競馬場前駅付近の区道が無電柱化や歩道部のバリアフリー化を実施し、防災機能と景観性の向上を実現した。また、レガシーコンセプト「ユニバーサル社会の実現・ユニバーサルデザインに配慮した街づくり」「安全・安心な都市の実現」の実現に寄与した。

■写真：



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 防災体験学習施設「そなエリア東京」親子見学会

■組織・団体名 : 東京商工会議所

■実施期間(開始) : 2016/10/1

■実施期間(終了) : 2016/10/1

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 有明3-8-3

■参加者/入場者数 : 38 人

■事業概要 :

(1)防災体験学習「東京直下 72 時間ツアー」

地震発生後 72 時間の生存力をはかる防災体験学習ツアー

大地震発生直後を生き抜く知恵を学ぶ

(2)防災ブック「東京防災」のポイント解説

東京都の防災ブックのポイントや家庭の防災対策などを解説

東商「声かけ・サポート運動」の説明

ポスター、のぼり掲出等による 2020 年大会の機運盛上げ

(3)防災学習ゾーン」見学

防災学習ゾーン見学

災害への備えの学習、国の緊急災害現地対策本部オペレーションルーム見学

■本アクションの成果 :

「声かけ・サポート」を通じて、東京を中心に家庭における防災・減災への備えや、心のバリアフリー、「おもてなし」の精神を浸透させていくことで、都市防災力の向上、ユニバーサル社会の実現をオリンピック・パラリンピックのレガシーとして、未来に引き継いでいく重要性を周知できた。

■写真 :

■分野：街づくり

■アクション名：テロ対策「彩の国」ネットワーク平成 28 年度臨時協議会 ～官民一体となったテロ対策「彩の国」ネットワークによるテロを許さない街づくり～

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/11/30

■実施期間(終了)：2016/11/30

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：埼玉県県民健康センター

■参加者/入場者数：74 人

■事業概要：

テロの未然防止に関する情報の発信及び共有、不審情報認知時の警察への通報連絡の実施、テロ発生時の協働対処体制の整備、テロを許さない県民気運醸成のための広報啓発活動等、官民一体となったテロ対策を推進する。

- (1) テロ情勢等の情報提供、専門家の講演等によりテロに対する危機意識の共有
- (2) テロ未然防止対策の検討、警察との連携強化や必要な自主警備措置の促進
- (3) 不審情報の把握時やテロ発生時を想定した対処訓練の実施
- (4) 各種広報媒体による意識啓発活動の実施

■本アクションの成果：

協議会において、テロ対策「彩の国」ネットワークの活動状況及びリオデジャネイロ 2016 オリンピック競技大会視察結果報告を行い、安全・安心な 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、危機意識の共有を図ることができた。

■写真：



■分野：街づくり

■アクション名：書道パフォーマンスによるテロ未然防止広報啓発活動 ～テロ対策「彩の国」ネットワークによるテロを許さない街づくり～

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/12/26

■実施期間(終了)：2017/2/28

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：埼玉県警察本部

■参加者/入場者数：48人

■事業概要：

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019の開催を見据え、官民一体となった効果的なテロ対策を推進し、テロ未然防止に資する県民意識の醸成をはかるため、県内所在の高等学校の協力を得て高校生による書道パフォーマンスを実施し、また駅頭等におけるチラシ等を配布し、広報啓発活動を行う。

■本アクションの成果：

安全・安心な2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、書道パフォーマンスを通じてテロ未然防止活動への理解と協力を求めるとともに、書道パフォーマンス作品をイラストとしたチラシ等広報啓発品を配付しテロの未然防止を呼びかけたことにより、テロ未然防止に資する意識の醸成を図ることができた。

■写真：



■分野：街づくり

■アクション名：新宿区成人式「はたちのつどい」における危険ドラッグを含めた薬物根絶広報啓発活動

■組織・団体名：東京都

■実施期間(開始)：2017/1/9

■実施期間(終了)：2017/1/9

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：京王プラザホテル4階

■参加者/入場者数：1300人

■事業概要：

- (1) 危険ドラッグ撲滅ポスターの掲示、広報リーフレットの配布
- (2) 薬物乱用防止ポスター、パネルの掲示
- (3) 「ピーポくん」や「ダメ。ゼッタイ君」の着ぐるみ活用
- (4) 啓発用ティッシュの配布
- (5) 実施者による薬物乱用防止に関する説明等

■本アクションの成果：

警視庁、税関、東京都薬務局の三機関合同で、新成人(中国、台湾、ベトナム等外国人含む)に対し、大麻、覚醒剤、危険ドラッグ等規制薬物防止に対する教養を実施したものであり、東京2020大会に向け薬物乱用防止機運醸成を推進することに大いに成果があった。

■写真：



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 「新国立競技場整備事業 暴力団等排除協議会」設立総会及び発足式

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/1/24

■実施期間(終了) : 2017/1/24

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 新国立競技場整備事業作業所

■参加者/入場者数 : 200 人

■事業概要 :

新国立競技場整備事業において、発注者、受注者及び全ての下請負人が相互に緊密な連携を保持し、一致団結して暴力団、暴力団員、暴力団関係者、暴力団関係企業、総会屋その他の反社会的勢力による被害及び下請参入等の要求等の不当要求行為の防止と暴力団等の排除のための活動を積極的に推進するとともに、被害等発生時に迅速・的確な対応を行うことにより、工事の円滑な進行及び明るく健全な建設事業の環境づくりに寄与することを目的とし、協議会を設立する。

■本アクションの成果 :

新国立競技場整備事業に従事する全ての関係者が相互に緊密な連携を保持するための体制構築を行い、一致団結して暴力団等反社会的勢力の排除に関する機運を醸成し、明るく健全な建設事業の環境づくりに寄与した。

■写真 :



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 「ユニバーサルデザインと障害者差別解消法から考えるおもてなし」セミナー

■組織・団体名 : 東京商工会議所

■実施期間(開始) : 2017/2/10

■実施期間(終了) : 2017/2/10

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 丸の内2-5-1

■参加者/入場者数 : 113 人

■事業概要 :

2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や高齢化の進展、外国人旅行者の増加等を見据えて、本セミナーでは、商業施設や観光・宿泊施設、飲食店、旅行業等の会員企業を対象に、ユニバーサルデザインと障害者差別解消法から考えるおもてなしについて情報提供を行う。

○場所:東京商工会議所「会議室5・6・7」

○内容:「ユニバーサルデザインと障害者差別解消法から考えるおもてなし」について

・ハード・ソフトのユニバーサルデザイン、障害者差別解消法への対応 等

○講師:岸田ひろ美 氏

■本アクションの成果 :

実際に障害を持つ講師「岸田ひろ美」様の自身の実体験に基づく講話は、参加者の心に響き「ユニバーサルデザイン」に対する理解が十分に深まりました。ハード面だけではなくソフト面、特に「心のバリアフリー」が、より大切であることが伝わりました。2020 年に向けて、高齢者社会に向けて具体的にどのように向き合うのか、取り組むか、個人が出来ること社会で取り組むことなど、まだまだ課題も多いが「ユニバーサルデザイン」普及につながる第一歩となりました。

■写真 :



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 「晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事及び基盤整備工事 暴力団等排除協議会」設立総会
及び発足式

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/2/16

■実施期間(終了) : 2017/2/16

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 警視庁月島警察署 講堂

■参加者/入場者数 : 200 人

■事業概要 :

- 1 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事及び基盤整備工事における暴力団等排除対策
- 2 会員相互の暴力団等に関する情報の共有・連携の強化
- 3 警察、暴力団追放運動推進都民センター、東京三弁護士会民事介入暴力対策連絡協議会、中央区との連携
- 4 暴力団等による被害及び不当要求行為等の防止と排除のための教育、啓発
- 5 その他、協議会の目的を達成するために必要な活動

■本アクションの成果 :

選手村整備事業に従事する全ての関係者が、相互に緊密な連携を保持するための体制構築を行い、一致団結して暴力団等反社会的勢力の排除に関する機運を醸成し、明るく健全な建設事業の環境づくりに寄与した。

■写真 :



■分野：街づくり

■アクション名：テロ対策「彩の国」ネットワーク平成 29 年度定期協議会 ～テロ対策「彩の国」ネットワークによるテロを許さない街づくり～

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2017/4/28

■実施期間(終了)：2017/4/28

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：埼玉県県民健康センタ

■参加者/入場者数：235 人

■事業概要：

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等が開催されることを見据えて設立されたテロ対策「彩の国」ネットワークは、安全・安心な大会に向けて、官民一体となった効果的なテロ対策を推進することを目的とする。

平成 29 年度定期協議会を開催し、テロ未然防止のための意識を高め、効果的なテロ対策を推進する。

■本アクションの成果：

協議会において、テロ対策「彩の国」ネットワークの活動状況報告及びリオデジャネイロ

2016 オリンピック競技大会におけるサイバー攻撃事例を含む、最新のサイバー攻撃情勢

と対策に関する講演を行い、安全・安心な 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大

会に向けて、危機意識の共有を図ることができた。

■写真：



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 警察博物館における危険ドラッグを含めた薬物根絶広報啓発活動

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/4/29

■実施期間(終了) : 2017/5/7

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 警察博物館

■参加者/入場者数 : 15057 人

■事業概要 :

都民一般を対象に、東京 2020 大会に向けて、銃器薬物密輸入の危険性を周知させ、水際対策を推進する。

■本アクションの成果 :

警察博物館リニューアルイベントに際し、当庁における東京2020大会に向けた銃器薬物等の水際対策及び違法薬物の危険性を周知させることにより、警察活動の魅力の発信及び将来に向けた安心・安全な街の構築等の成果が得られた。

■写真 :



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 三井不動産クライミングパーク for TOKYO 2020

■組織・団体名 : 三井不動産株式会社

■実施期間(開始) : 2017/5/18

■実施期間(終了) : 2017/5/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : アーバンドック ららぽーと豊洲

■参加者/入場者数 : 1291 人

■事業概要 :

ボルダリング・リードのウォールを設置し、実際に体験する機会を提供することで、東京 2020 大会の新種目スポーツクライミングの競技理解を深める。

■本アクションの成果 :

- ①スポーツの力を活用した街づくりを推進することができた
- ②スポーツが暮らしに広く浸透し、体を動かす楽しさやコミュニティ作りのきっかけを提供できた
- ③東京2020ゴールド街づくりパートナーとして、2020年に向けた気運を醸成することができた

■写真 :



■分野 : 街づくり

■アクション名 : 平成29年度「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/6/26

■実施期間(終了) : 2017/6/26

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 池袋駅特設会場

■参加者/入場者数 : 1500 人

■事業概要 :

都民一般を対象に、東京 2020 大会に向けて、銃器薬物密輸入の危険性を周知させ、水際対策を推進する。

■本アクションの成果 :

イベントでは、多数の参加者、入場者に対し、大麻、覚醒剤、危険ドラッグ等薬物乱用防止教養を実施したものであり、さらに、多くの通行人が見るデジタルサイネージを利用してOP対策として銃器薬物の水際対策を紹介したことから、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け薬物乱用防止機運醸成を推進することに大いに成果があった。

■写真 :



■分野 : 持続可能性

■アクション名 : 海にいいこと、やさしいこと、考えよう！ WONDER ACTION CAFE 2016

■組織・団体名 : 環境省 自然環境局

■実施期間(開始) : 2016/10/22

■実施期間(終了) : 2016/10/22

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 横浜赤レンガ倉庫 1 号館 3 階ホール

■参加者/入場者数 : 243 人

■事業概要 :

小学生によるオープニングメッセージを皮切りに、海の再生に向けた取組(国交省)、江戸前の魚介と和食の文化(国立研究開発法人 水産研究・教育機構)、都市における身近な自然と学び(文科省)、環境に配慮したライフスタイルや経済活動へのシフト(環境省)のプレゼンテーションを行う。

また、東京湾再生アンバサダーでもある榎太一アナウンサーと、各者とのクロストークにより、街で暮らすわたしたちでもできるワンダー(素晴らしい・奇跡を生む)なことを語り合う。

■本アクションの成果 :

便利で豊かな暮らしを享受しつつ、環境に配慮したライフスタイルや経済活動へシフトできる可能性を発信した。小学生によるオープニングメッセージ、海の再生に向けた取組、江戸前の魚介と和食の文化、都市における身近な自然と学び、環境に配慮したライフスタイルや経済活動へのシフトのプレゼンテーションを行い、東京湾再生アンバサダーでもある榎太一アナウンサーと、ゲストの萩原智子氏らと各者とのクロストークにより、幅広い世代に街で暮らすわたしたちにもできるワンダー(素晴らしい・奇跡を生む)なことを共有・発信した。

■写真 :



■分野：持続可能性

■アクション名：海岸漂着物発生抑制対策事業

■組織・団体名：千葉県

■実施期間(開始)：2017/2/12

■実施期間(終了)：2017/2/12

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：館山市内(会場未定)

■参加者/入場者数：555人

■事業概要：

(1) パンフレットの作成

海岸漂着物に関するパンフレットを作成し、広く県民に配布する。

(2) 啓発イベントの実施

流入河川上流域において、海岸漂着物に関する講演会、清掃活動等を行う。

■本アクションの成果：

さかなクン講演会及びビーチクリーンにより、海や海岸をきれいにすることの

大切さを伝えることができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー

■組織・団体名 : 公益財団法人東京都歴史文化財団

■実施期間(開始) : 2016/4/1

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京芸術劇場

■参加者/入場者数 : 40 人

■事業概要 :

本事業は、劇場のレジデンス芸術団体といった劇場を中心とした地域の文化資源を活用し、劇場としての役割を果たし地域へ還元すべく、実施するものである。今後も継続的に開催することで、若年層の聴衆とアーティストの両面から育成を行い、東京芸術劇場を中心とした芸術環境の活性化を図り、ひいては日本の芸術環境の向上に資することをミッションとする。

また、“次世代型”の音楽家として活躍できる人材の育成をめざし、音楽と自らのキャリアを考えるゼミの実施、アウトリーチ活動の知識と技能の習得を行う。

■本アクションの成果 :

芸劇発の演奏家の育成: 将来の日本の音楽文化を担う演奏家の育成に主眼を置き、将来的にはコンサートの演奏のみならずアウトリーチの専門知識を持った、次世代型のプロフェッショナルな演奏家を養成する事業とする。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：1万人のゴールド・シアター2016

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/4/5

■実施期間(終了)：2016/12/7

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：さいたまスーパーアリーナ

■参加者/入場者数：9600人

■事業概要：

2006年に彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督に就任した故蜷川幸雄氏は「高齢者(シルバー世代)がゴールドに輝く演劇を創りたい」と一般公募により高齢者劇団「さいたまゴールド・シアター」を創設した。平均年齢77歳のこの劇団は稽古を重ね、現在ではパリ、香港など海外にも招聘される劇団に成長し、高齢者による埼玉発の新たな舞台芸術として注目されている。

より多くの高齢者の方々に演劇を通して輝いていただくため、故蜷川監督の企画・原案により「さいたまゴールド・シアター」に一般公募した高齢者を加えた大群集劇を上演する。

■本アクションの成果：

60代から90代までの約1,600人が参加する大群集劇を8,000人の観客を集めて上演し、彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督を務めた故蜷川幸雄氏が呼びかけた「高齢者にも、もっと外に出て輝いてほしい」を実践し、演劇により「心」と「体」をみずみずしく保ち生き生きと暮らす高齢者像を国内外に発信することができた。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール

■組織・団体名：石川県

■実施期間(開始)：2016/4/29

■実施期間(終了)：2017/3/31

■開催場所都道府県：石川県

■会場名：兼六園周辺の文化施設

■参加者/入場者数：22452 人

■事業概要：

子どもを対象に、美術、音楽、伝統芸能、伝統工芸など幅広い分野で、本県ならではの文化体験事業を展開する。

<実施時期>

「兼六園周辺文化の森」の文化施設が有機的に連携して、四季折々に開催する文化イベント『兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」』の時期を中心に通年実施

<実施会場>

県立美術館、歴史博物館、石川四高記念文化交流館、能楽堂、伝統産業工芸館、県立生涯学習センター、県立図書館など

<その他>

子どもの体験事業を一覧で提示し、文化体験に参加して施設を巡るスタンプラリーを実施

■本アクションの成果：

次代を担う子どもたちに対し、石川が誇る多彩な文化の体験メニューを数多く提供したところ、

2万人を超える多くの子どもたちに参加してもらうことができ、ふるさとの文化を再認識し、

愛着や誇りをもち、文化の担い手を志すきっかけともなることにつながった。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：第 25 回国際高校生選抜書展 書の甲子園

■組織・団体名：(株)毎日新聞社

■実施期間(開始)：2016/9/1

■実施期間(終了)：2017/3/31

■開催場所都道府県：大阪府

■会場名：大阪市立美術館

■参加者/入場者数：3526 人

■事業概要：

国際高校生選抜書展は、世界中の高校生、高等専門学校生(3年以下)を対象に、1人1作品を無料で出品できます。団体は、50作品までとなります。24回となる昨年は応募作品が約17,000点に上り全国10地区(北海道、東北、北関東、南関東、中部北陸、東海、近畿、中国、四国、九州山口)と海外の部に分けて審査。文部科学大臣賞、外務大臣賞、大賞をはじめ入賞作品計2,100点を大阪市立美術館に一堂に展示。第25回の作品受付期間は、2016年9月1日～30日。出品料は、無料。発表は、2017年1月30日を予定。展覧会は、2017年1月31日から2月5日。入場無料。表彰式は、2017年2月7日に毎日新聞大阪本社オーバルホールで実施予定。

■本アクションの成果：

高校生の書道レベル向上、書道教育の振興などを目的に創設された世界の高校生を対象にした公募展として、今回は20カ国・地域から寄せられた1万6836点の作品を全国10地区と海外に分けて審査。若さと情熱あふれた作品が、大阪市立美術館に多く並んだ。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 徳島JAZZ2016

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2016/9/11

■実施期間(終了) : 2016/11/20

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 両国橋西公園 ほか

■参加者/入場者数 : 1618 人

■事業概要 :

本事業は、あわ三大音楽であるジャズの振興、県内ミュージシャンのレベルアップ及び次世代を担う若手ミュージシャンの育成、徳島市中心市街地の活性化を目的とし、国内外で活躍する一流ミュージシャンを講師に迎える「ワークショップ」、徳島市内全4箇所の会場に分かれジャズミュージシャン及びワークショップ参加者が演奏する「ライブ」で構成する事業である。

■本アクションの成果 :

本事業は、国内外で活躍するジャズミュージシャン及び事前に開催したジャズワークショップの参加者によるライブイベントで、徳島市中心市街地が多くの来場者で賑わった。

本事業により、徳島県があわ三大音楽と位置付けている「ジャズ」を振興することができ、次世代を担う若者を中心に多くの方々にジャズの魅力を伝えられたと考える。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：キッズ伝統芸能体験

■組織・団体名：東京都

■実施期間(開始)：2016/9/24

■実施期間(終了)：2017/3/30

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：宝生能楽堂、国立劇場大劇場、梅若能楽学院会館、杵家会館、新宿文化センター、芸能花伝舎

■参加者/入場者数：3696人

■事業概要：

伝統芸能の一流の実演家が、ふさわしい稽古場で、子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導を行う。これらの条件を重ねて果たすことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を、子供たちが自然と身につけられるような学びの場をつくる。あわせて、その成果を舞台上で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知る。

■本アクションの成果：

日本が大切にしてきた伝統芸能を知り、その心を継承するため、能楽、日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家から、子供たちが数か月にわたり直接指導を受け、最後にその成果を本格的な舞台上で発表を行った。また、中・高校生のみを対象としたクラスや、夏休み中に短期間で稽古から発表会までを行う地域密着型の短期プログラムも実施した。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：Music Program TOKYO『Enjoy Concerts!』メインコンサート「小曽根 真 & ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

■組織・団体名：東京都

■実施期間(開始)：2016/10/1

■実施期間(終了)：2016/10/2

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：東京文化会館

■参加者/入場者数：3582 人

■事業概要：

本事業は、《Music Program TOKYO》の一環として実施する『Enjoy Concerts!』のメインコンサートである。

『Enjoy Concerts!』は、クラシックを基軸としつつ、ジャンルを越えた演奏を楽しむ機会の提供を目的として実施する。メインコンサートでは、東京の音楽大使である東京都交響楽団、若手実力派指揮者の角田鋼亮、クラシックとジャズの両分野で日本を代表するピアニストである小曽根真、ジャンルや国境を越えて活躍するピアニストであるゴンサロ・ルバルカバが、2晩限りのスペシャルコンサートを披露する。

■本アクションの成果：

ジャズとクラシック音楽の垣根を越えて活躍するピアニスト小曽根真氏をソリストに起用した“Jazz meets Classic”の4回目。公演前半ではクラシック音楽の難曲、後半では照明演出を駆使した舞台での本格的ジャズ・セッションを展開した。クラシック音楽の新しい見せ方を追求した公演構成や出演者の魅力、過去公演の質の高さに基づいた期待感から、リピーターや若い聴衆も数多く来場した。一流の演奏家たちが繰り広げる生演奏の迫力や刺激を全身で体感することでステージとの一体感が生まれ、客席も大いに沸いた。

■写真：

■分野 : 文化

■アクション名 : 伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル 2016〜

■組織・団体名 : 東京都八王子市役所

■実施期間(開始) : 2016/10/1

■実施期間(終了) : 2016/11/27

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 八王子駅周辺、八幡八雲神社等

■参加者/入場者数 : 29607 人

■事業概要 :

(1)多摩地域の市町村や芸術文化団体等と連携しながら、街なか演奏会や野外ステージ・神社を舞台にした本格的な公演などを行い、伝統文化・芸能に関わる場や機会を創出する。

(2)大学等との連携・協働を進め、多摩地域及び八王子市の伝統文化を活かしたプログラムを新たに制作・発表することにより、伝統を継承し、新たな文化を創造する。

■本アクションの成果 :

2016 年 11 月 26・27 日に JR 八王子駅周辺を舞台に実施した。

多くの方に、多摩地域及び八王子市が保有する、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信することができ、同地域に伝わる伝統文化・芸能について、次世代への継承につながった。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：オリジナル箏曲合奏プロジェクト～子供の箏曲クラブ（東京モデル事業）

■組織・団体名：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

■実施期間(開始)：2016/10/1

■実施期間(終了)：2017/3/31

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：たましん RISURU ホール ほか

■参加者/入場者数：59 人

■事業概要：

協力者の管理する施設3か所において、日本三曲協会が保有または協力者に寄贈したお箏を使用し、日本三曲協会が手配した講師が参加者の子供達にお箏の演奏指導を行う。原則として稽古は月3回、平日の放課後または土・日曜日に1回60分で行う。

平成28年第3四半期に参加者募集を行い、平成29年1月から稽古を開始する。

使用するお箏は、平成27年度に文化庁助成により特定地域において実施した寄贈意向調査の結果、実際に寄贈されたお箏について、平成28年度

平成29年度以降は、クラブ活動や指導のノウハウなどの蓄積と、関係者間での情報共有を図り、上記の取組を都内他地域および全国での展開を図る。

■本アクションの成果：

地域の文化関連外郭団体との連携により、都心、下町、三多摩の3カ所で教室を立ち上げることが出来(新宿33名、江東14名、立川12名)、講師数とのバランスもとれてスタート出来た。本事業展開において、伝統音楽に対する子供やその保護者の稽古ニーズが間違いなく存在しており、これに対して適切な場所と楽器を確保して高過ぎない参加費を設定すればこのニーズに応えることが可能であり、三曲の普及振興、将来への継承のための一つの手法として位置づけることが十分に可能と認識できた。2020年に向けて更なる展開を目指す事としたい。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 第47回羽村市文化祭

■組織・団体名 : 羽村市

■実施期間(開始) : 2016/10/7

■実施期間(終了) : 2016/11/3

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 羽村市生涯学習センターゆとろぎ

■参加者/入場者数 : 15188 人

■事業概要 :

(1)展示発表

東洋、西洋、その他に分類される作品を3期に分けて展示する。

(2)ホール発表

市内の小中学生による「小中学校音楽フェスティバル」日舞、洋舞、洋楽器、合唱など

(3)特別企画

映画事業:市内在住の文学作家「西田小夜子氏」による文化講演会

体験教室事業:「マジック、フォークダンスなど」

音楽公演:「創作ファンタジー音楽劇:水の女神アルマ〜玉川上水誕生の物語」市民参加型音楽劇

■本アクションの成果 :

文化祭期間中、日頃市内で展開されている様々な文化活動の成果が発表され、市内外から多くの来場があった。また、市の歴史を題材とした音楽劇には公募で集まった子どもからシニアまで幅広い世代が参加し、初めての事業に挑戦し盛況を博した。全体を通して舞踊や茶道などの古くからの文化と音楽劇での新たな挑戦が一体となり、多くの人が文化芸術の素晴らしさを体感する取り組みとなり文化の振興と継承に繋がった。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 京都文化カプロジェクト 2016-2020 公開ワークショップ in 南丹

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2016/10/16

■実施期間(終了) : 2016/10/16

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : ガレリア亀岡

■参加者/入場者数 : 100 人

■事業概要 :

第 1 部:基調講演

普段なにげなく過ごしている日常生活から、文化について考える機会とする。

第 2 部:郷土芸能披露

地域の郷土芸能を目の前で体感することで、地域の文化を再確認する機会とする。

また、郷土芸能の次世代の担い手である若手の発表の機会とする。

第 3 部:トークセッション

郷土芸能の次世代育成に努めている指導者や、食文化等を通じて地域と海外との交流を進めている方々が日頃の活動で感じる地域文化等についてディスカッションを行うことで、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた開催機運を高める。

■本アクションの成果 :

南丹地域の田園風景や伝統芸能など、自分達が気づいていない文化的魅力を再確認することができた。また、200 年ぶりに復活した伝統芸能を披露いただき、引き継いでいくことの大切さを感じてもらえた。さらに、外から来る人との縁を楽しみ、2020 年に向けて、少しの親切とおもてなしの心がけが大事だと締めくくった。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：パナソニックセンター東京 特別企画展

■組織・団体名：パナソニック株式会社

■実施期間(開始)：2016/10/18

■実施期間(終了)：2016/12/4

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：パナソニックセンター東京 ホール

■参加者/入場者数：13300 人

■事業概要：

文化オリンピックの主旨に即し、公認プログラムの承認基準に明示されたコンセプトに準拠する企画展を実施する。

(1) 日常生活、暮らしに溶け込むニッポンの美意識に焦点をあて、(日本文化の再認識と継承・発展)につなげる。

(2) これからの日本文化創造を牽引していく、特に若年層をコア・ターゲットに設定し、(次世代育成と新たな文化・芸術の創造)につなげる。

(3) パナソニックセンター東京に来訪される海外からのお客様にも企画展をご覧頂き、(日本文化の世界への発信と国際交流)の一端を担うものとする。

(4) 若手クリエイターの来場を仕掛け、臨海副都心エリアに文化・芸術機能を盛り込んでいく東京文化ビジョンも見据え、(臨海地域の活性化)につなげるキッカケとする。

■本アクションの成果：

- ・幅広い年齢層ご来場、その 98%からご満足評価。文化継続発信へ期待の声、ヒント多数。
- ・レガシー牽引主体者として期待される若年層が多数来場、日本文化への気づき提供。
- ・「本物」×「デジタルソリューション」による体験型展示、トークショーに好反応。
- ・共同通信社様の公認プログラムとも連動。有機的連携に手応え。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～

■組織・団体名 : 文化庁

■実施期間(開始) : 2016/10/19

■実施期間(終了) : 2016/10/19

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : ロームシアター京都 サウスホール

■参加者/入場者数 : 646 人

■事業概要 :

- ・オープニング...ジェネシスオブエンターテイメントによる車いすを使用したダンスの実施
- ・開会...開会の宣言
- ・基調講演...オリンピック文化遺産財団理事長のフランシス・ガーベット氏による基調講演の実施
- ・プレゼンテーション...文化庁長官の宮田亮平氏、大蔵流能楽師の茂山逸平氏、新潟市長の篠田昭氏、フランシス・ガーベット氏の 4 名によるプレゼンテーションの実施
- ・パフォーマンス...全国的にも有名な京都聖母学院小学校の合唱団と、大人気アイドルのももいろクローバーZ によるコラボレーション
- ・ディスカッション...東京藝術大学大学美術館館長・教授であり金沢 21 世紀美術館の館長である秋元雄史氏をモデレータとし、プレゼンテーションを行った4名をパネリストとしたディスカッションの実施
- ・クロージング...閉会の宣言

企画展示

アールブリュット展...障害者アート等の展示

プログラム詳細

■本アクションの成果 :

本アクションは文化プログラムの全国展開に向けたキックオフの会議として、文部科学省が開催する「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」の分科会として位置づけ、本分科会を京都で実施したものである。

当日は、障がい者等による車いすダンスや、有識者による基調講演・パネルディスカッション、小学生合唱団とアイドルグループとのコラボレーション等を行った。

これらの実施内容により、具体的な文化プログラムの企画・実施の方策や文化プログラムの実施を通じて創出すべき文化的レガシー等について議論・共有し、文化プログラムを円滑に全国展開していくための機運が醸成された。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : TURN in BRAZIL

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2016/10/21

■実施期間(終了) : 2016/10/23

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国立新美術館企画展示室 2E

■参加者/入場者数 : 5758 人

■事業概要 :

「TURN」は、異なる背景や習慣を持ったさまざまな人々との出会い方、つながり方に創造性を携え働きかけていくアートプロジェクト。本年8月から9月にかけて、文化プログラムに先駆けて展開する都のリーディングプロジェクトとして、リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会時に現地において実施。日本及びブラジルを拠点に活動するアーティストたちが伝統工芸を携えて、サンパウロに滞在しながら福祉施設に通い、施設を利用する障害のある人や地域の人たちなどの日常に触れながら関わり合っていく交流プログラムを実施。そのプロセスを通して生まれた作品等をリオデジャネイロに展示するとともに、ワークショップやカンファレンス等を開催。

「TURN in BRAZIL」では、ブラジルで発表された作品や活動の内容を伝える展示を実施。

■本アクションの成果 :

・ブラジルにおけるTURNの取組を題材にしたトークイベントや、現地で制作した作品の展示等を通して、あらゆる人が芸術文化を楽しみ、互いの個性や多様性(ダイバーシティ)を認め合える社会の実現に繋がる取組を、多くの人に伝えることができた。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : 東京キャラバン in 六本木

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2016/10/21

■実施期間(終了) : 2016/10/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 六本木ヒルズアリーナ

■参加者/入場者数 : 4500 人

■事業概要 :

・東京芸術劇場芸術監督である野田秀樹氏が提唱した、多種多様なアーティストや芸術が集い、様々なパフォーマンスを繰り広げる新しい形の文化発信。

・全国各地に展開し、各地の郷土芸能を受け継ぐ人々やアーティスト、子供たち等との交流を通じて、新たな表現・文化を生み出していく。

<参考:文化プログラムに先駆けて展開するリーディングプロジェクトとしての実績>

・平成27年10月 駒沢公園にて開催

・平成28年8月 リオデジャネイロにて実施

・平成28年9月 東北(宮城県仙台市、福島県相馬市)にて実施

■本アクションの成果 :

・地域の郷土芸能を受け継ぐ人々、国内外のアーティスト、子供たち等と交流して生まれた新たな表現をステージ上で展開することで、東京・日本の文化の幅広さを広く発信することができた。

・2020大会に向けたシンボリックな文化プログラムとして、多くのメディアで取り上げられ、文化の祭典でもある大会の気運を醸成することができた。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : バリアフリー映画上映会

■組織・団体名 : 文化庁

■実施期間(開始) : 2016/10/22

■実施期間(終了) : 2016/10/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国立新美術館 3 階講堂

■参加者/入場者数 : 76 人

■事業概要 :

(1)聴覚障がい者用のバリアフリー日本語字幕、視覚障がい者用の音声ガイドの両方を付けて映画を上映する。

上映作品:「だれかの木琴」

バリアフリー対応:アプリ「UDCast」を使用し、日本語字幕はヘッドマウントディスプレイで表示し、音声ガイドは携帯端末から提供される(機器は事前予約制)

(2)シンポジウムの開催

バリアフリー映画に対する理解を深めるために、有識者等によるバリアフリー映画に関わるシンポジウムを実施する。

テーマ:「誰もが映画を楽しむために～バリアフリー映画の新鑑賞技術を体験する～」

■本アクションの成果 :

本事業を通じて、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人が一緒に映画に親しむことのできる機会を提供でき、バリアフリー映画に対する理解を深めることができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：徳島★ほう楽コンサート～kimono日和

■組織・団体名：徳島県

■実施期間(開始)：2016/10/23

■実施期間(終了)：2016/10/23

■開催場所都道府県：徳島県

■会場名：あわぎんホール

■参加者/入場者数：500人

■事業概要：

本事業は、箏・尺八により幅広い音楽ジャンルで”日本の音”の魅力を発信し活動しているアーティスト「五二三～koibumi～」, 徳島県邦楽協会, 徳島県立城東高等学校の方々による邦楽ライブを行うほか、モデルによるファッションショー, ファッション誌編集長によるトークショーを行う。出演者には着物を着用して頂き、「邦楽－Sound－」と「キモノ－Visual－」を同時に楽しめる、徳島県文化の魅力に溢れるイベントを目指す。

■本アクションの成果：

本事業は、第18回徳島県民文化祭のメイン事業として、「邦楽」と「着物」を同時に楽しんでもらうことをコンセプトに開催し、多数の来場者で賑わう盛大なイベントとなった。

本事業により、徳島県があわ三大音楽と位置付けている「邦楽」を振興することができ、次世代を担う若者を中心に多くの方々に徳島県文化の魅力を伝えられたと考える。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 第 33 回読売書法展(四国展以降の 5 会場分を申請)

■組織・団体名 : 株式会社 読売新聞東京本社

■実施期間(開始) : 2016/10/28

■実施期間(終了) : 2016/12/11

■開催場所都道府県 : 香川県

■会場名 : サンメッセ香川

■参加者/入場者数 : 14000 人

■事業概要 :

日本伝統の書芸術や書道文化の普及、発展のため、1984 年、文化功労者など日本を代表する書家たちによる読売書法会を発足し、以来、毎年、書の公募展を開催しており、歴代幹部役員には文化勲章受章者が複数名を連ねている。今年で 33 回目を迎え、以下の通り、東京をはじめ、全国の 8 都市に巡回する。

(東京展)2016 年 8 月 19 日(金)～28 日(日)国立新美術館、サンシャインシティ文化会館

(関西展)9 月 7 日(水)～11 日(日)京都市美術館、京都市産業館「みやこめっせ」

(中国展)9 月 23 日(金・祝)～25 日(日)広島県立ふくやま産業交流館「ビッグ・ローズ」

以下の日程より申請

(四国展)10 月 28 日(金)～30 日(日)サンメッセ香川

(東北展)11 月 2 日(水)～6 日(日)山形美術館、山形県芸文美術館

(中部展)11 月 15 日(火)～20 日(日)愛知県美術館ギャラリー、愛知県産業労働センター「ウインクあいち」

(北海道展)11 月 23 日(水・祝)～27 日(日)札幌市民ギャラリー

(九州展)12 月 9 日(金)～11 日(日)福岡国際センター

■本アクションの成果 :

日本伝統の書芸術の継承、書道文化の普及、発展のための公募展を全国 8 会場で開催。

このうち、後半の 5 会場について、本アクションの趣旨を踏まえて事業を実施。作品を書く人はもとより、書に興味を持つ幅広い対象者に改めて”日本文化の魅力”を印象付けた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 障がい者アートフェスタ2016

■組織・団体名 : 鳥取県

■実施期間(開始) : 2016/10/30

■実施期間(終了) : 2016/11/1

■開催場所都道府県 : 鳥取県

■会場名 : 米子コンベンションセンター

■参加者/入場者数 : 4400 人

■事業概要 :

- 1.知事連盟加盟都道府県の障がい者アートの発表(舞台発表、作品展示)
- 2.海外の障がい者アートの発表(舞台発表、作品展示)
- 3.都道府県知事との共生社会の実現に向けた障がい者アート応援宣言
- 4.プロのダンスステージ(コンドルズ)
- 5.障がい福祉に関する講演会(奥山佳恵)、パネルディスカッション(都道府県知事、副知事)
- 6.障がいのあるプロのヴァイオリンコンサート(川島成道)
- 7.オリンピック・パラリンピック PR コーナー
- 8.アート体験コーナー
- 9.スポーツレクリエーションコーナー
- 10.バリアフリー映画
- 11.アール・ブリュット作品の展示
- 12.障がい者配慮の取組
- 13.イベントの広報活動

1、2、5、6、7、9、12(一部分)については、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の平成 28 年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施。

■本アクションの成果 :

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして全国的な障がい者の芸術文化振興を有志の都道府県と連携して実施するため、平成 28 年 3 月 30 日に設立した「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」が行う取組のキックオフとして、障がい者による舞台発表や作品展などを行う「障がい者アートフェスタ 2016」を開催。

全国各地で障がい者の芸術文化活動が花開き、障がいのあるなしに関わらず、お互いを尊重して支え合いながら生きていく共生社会の実現につなげるための同知事連盟の取組のスタートを切った。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : やまなし県民文化祭

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2016/10/31

■実施期間(終了) : 2017/3/15

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : コラニー文化ホール

■参加者/入場者数 : 121786 人

■事業概要 :

- 1総合舞台の開催 ジャンルを超えた総合的な芸術文化の発表と交流を促進し、新しい芸術文化の創造を図る。
- 2総合展示の開催 県内の指導的立場にある方々の美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハントクラフトの融合した展示を行う。
- 3部門別フェスティバルの開催 県芸術文化協会を核として、各部門が創意と工夫を凝らした舞台発表や作品発表を行う。
- 4地域フェスティバルの開催 地域における特色ある活動を地域フェスティバルとして位置づけ、地域文化の活性化を図る。
- 5伝統文化の祭典の開催 県民がそれぞれの地域で育んできた伝統文化を披露、紹介し、伝統文化の保存・継承に対する意識を醸成する。
- 6まちなかステージの開催 地域に潜在するアーティストの発掘と県民文化祭への出演者の確保、担い手育成に繋げる。
- 7国民文化祭開催県への派遣 県内芸術文化団体(者)を国民文化祭開催県へ派遣し、新たな文化創造とレベルアップ、団体間の交流による自立性を促進する。
- 8協賛事業 県民文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った市町村や団体等の事業を協賛事業として位置づける

■本アクションの成果 :

期間を通して開催された様々なジャンルの優れた展示や発表、舞台に10万人を超える県民が参加し、鑑賞を行うなかで、芸術文化の裾野を広げる取組も積極的に行われ、本県の文化の推進に大きく寄与するイベントとなった。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：第 68 回毎日書道展

■組織・団体名：(株)毎日新聞社

■実施期間(開始)：2016/11/8

■実施期間(終了)：2016/11/13

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：国立新美術館ほか

■参加者/入場者数：9598 人

■事業概要：

毎日書道展は、応募点数が約30,000点に上り、入選作品は全国10都市で展示される日本最大規模の公募書展。

書道文化の向上と、書道芸術の相互錬磨のため、1948年に書壇を結集して「全日本書道展」を発足したのが始まりで、翌年「日本総合書芸展」として開催し、51年から「毎日書道展」と改称された。新しい時代の書道展を旗印にした、伝統の書から、最先端の現代書まで、あらゆる分野を結集する総合展として、公募、U23、会友、役員全出品から選ばれる最高賞には文部科学大臣賞が贈られる。

■本アクションの成果：

東海展は「進化する現代書」をテーマに総出品数 3 万 3484 点のうち、文部科学大臣

賞や毎日賞に選ばれた東海地区の作品1271点を展示。新たな自己挑戦となる書道文化創造の機会を提供し、公募の継続により今回も日本最大の3万点を超える作品が集まる。今後さらに書道・日本文化の価値創造に貢献できる可能性を確認した。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：東京 2020 公認プログラム 近藤良平とハンドルズによるダンス公演「どうしても やりたいことが ありまして」

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/11/12

■実施期間(終了)：2016/11/13

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：彩の国さいたま芸術劇場

■参加者/入場者数：494 人

■事業概要：

近藤良平氏のプロデュース・共演による第 5 回障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の舞台公演

今回は初の健常者(埼玉県立芸術総合高校ダンス部)との共演となる。

■本アクションの成果：

これまでは障害のある方だけで公演を行っていたが、今回初めて健常者(埼玉県立芸術総合高等学校ダンス部)と共演した。

その中で、障害のある方と、県立芸術総合高等学校ダンス部の生徒たちが稽古、本番公演を通じて交流を深めた。その結果、公演後高校生から「障害があっても自分たちと何も変わらないことがわかった」などの意見が寄せられたことから、「心のバリアフリー」の実現、推進を図れたと考える。

また、交流の様子はNHKの番組(首都圏ネットワーク)でも紹介され、好評だったと聞いている。

公演自体も鑑賞者はもとより、専門家からも高い評価を得た。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：危機的な状況にある言語・方言サミット(奄美大会)・与論

■組織・団体名：文化庁

■実施期間(開始)：2016/11/13

■実施期間(終了)：2016/11/13

■開催場所都道府県：鹿児島県

■会場名：与論総合体育館(砂美地来館)

■参加者/入場者数：260人

■事業概要：

【当日のプログラム】

- 1 歓迎セレモニー(開会宣言、舞弦鼓、こども園による発表)
- 2 危機的な状況にある言語・方言の現況(危機状況についての報告・取組事例についての報告・協議)
- 3 危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ(同じテキストを各危機言語・方言に翻訳したものの話者による披露)
- 4 危機的な状況にある言語・方言による語り(危機言語・方言による地域の昔話の披露)
- 5 与論小学校成果発表(方言継承の取組(方言劇等)の成果披露)
- 6 講演(朝崎郁恵(奄美島唄の第一人者)による奄美島唄と奄美方言への思いについての講演)
- 7 大会宣言(危機的な状況にある言葉の継承に向けた決意宣言と参加者への呼び掛け)

■本アクションの成果：

- ①国内の消滅の危機にある言語・方言の状況について理解が深まるとともに文化の多様性の基盤として言語・方言を継承していく重要性についての理解も広まった。②こども園園児から高齢者まで、島内に限らず北海道から沖縄まで幅広い参加者を得ることができ、大会宣言の採択を通し、継承への機運を高めることができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 京都文化カプロジェクト 2016-2020 公開ワークショップ in 丹後

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2016/11/19

■実施期間(終了) : 2016/11/19

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : 旧尾藤家住宅

■参加者/入場者数 : 70 人

■事業概要 :

●第 1 部:書道パフォーマンス

毛筆を使って文字を芸術的に表現する日本の伝統芸術の1つである「書道」を体感することにより、日本の文化について再確認する機会とする。

●第 2 部:基調講演

日常生活を豊かにするブランド価値の高い企業再生の取組から、産業と地域文化の融合について考える機会とする。

●第 3 部:トークセッション

「新たな可能性への挑戦 地場産業と融合した文化創生」をテーマに上記出演者と、地元の織物業者が日頃の活動で感じる地域文化等についてディスカッションを行うことで、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた開催機運を高める。

■本アクションの成果 :

京都府有形指定文化財である会場で、地元出身者による書道パフォーマンスや地域の伝統工芸である螺鈿織作品展、トークセッションなどにより丹後地域の良さを再認識することができた。また、出演者それぞれ海外での経験を踏まえた発信の仕方や伝統を守りながらも挑戦し続けていくことが大切などともに考える機会となった。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた埼玉県の文化事業 キックオフイベント

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/11/20

■実施期間(終了)：2016/11/20

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：ソニックシティ大ホール

■参加者/入場者数：1800 人

■事業概要：

基本テーマ

交流と創造～埼玉文化の再発見と交流による新たな文化資産の創造～

大ホール演目等

オープニング 太鼓～Taiko 「伝統」と「今」との交流

・秩父屋台囃子(国指定重要無形民俗文化財)…秩父屋台囃子保存会

・太鼓パフォーマンス…武蔵青嵐太鼓 山組(日本太鼓協会推薦 子供)

式典

・埼玉県知事、議長のあいさつ、埼玉県版文化プログラムキックオフ宣言

ゴールド・シアター & ネクストシアター

・ゴールド・シアター & ネクストシアター劇団員による「1 万人のゴールド・シアター2016」の予告編パフォーマンス

オリンピック・パラリンピック紹介

・オリンピック等のトークショーを予定

伝統文化の紹介

・鷲宮催馬楽神楽(久喜市)(上演)

・小鹿野歌舞伎(小鹿野町)(映像)

・脚折雨乞(鶴ヶ島市)(映像、インタビュー)

・吉田龍勢(秩父市)(映像、インタビュー)

未来を担う若者の文化を紹介

・書道パフォーマン(松山女子高校)

・ダンスパフォーマンス(山村学園高校、大宮北高校)

埼玉県ゆかりの著名人の出演

・SAM

グランド・フィナーレ

・県内各市町村の「イチオシの文化芸術」を映像で紹介

大ホールホワイエ

・盆栽、生け花の展示

・1万人のゴールド・シアターパネル、障害者アートの展示

・その他県内文化関係の展示等を予定

■本アクションの成果：

この事業を実施することで、東京2020に向けた埼玉県の文化事業がスタートすることを幅広く周知することができた。また、多彩な魅力を持つ埼玉の埼玉の文化をあらためて広く知ってもらう機会となるとともに、交流と創造をテーマとすることで、伝統文化と新しい文化の交流、世代間の文化交流等

の新たな文化が創造されるきっかけづくりとなった。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：すみだ北斎美術館 開館記念展「北斎の帰還ー幻の絵巻と名品コレクションー」

■組織・団体名：墨田区役所

■実施期間(開始)：2016/11/22

■実施期間(終了)：2017/1/15

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：すみだ北斎美術館

■参加者/入場者数：98673 人

■事業概要：

北斎生誕の地に北斎の美術館が開館する。すみだ北斎美術館の開館記念展として、海外に流失して今日まで 100 年余まったく行方の知られていなかった長さ約 7m の幻の絵巻「隅田川両岸景色図巻」を全巻一挙に初公開する。また、墨田区所蔵の名品・優品の中から、北斎の肉筆画、版画、摺物、版本等約 120 点を一堂に展示する。

■本アクションの成果：

すみだ北斎美術館の開館(平成 28 年 11 月 22 日)を記念する企画展として開催し、区内外より目標を大きく上回る来館者があり、墨田区と北斎の関わり、北斎の魅力を発信することができた。また、本事業については、多数のテレビ・雑誌等のメディアに取り上げられたことで、来館者のみならず、幅広い層に情報発信ができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 平成 28 年度県民芸術劇場公演「青少年とニューフィル千葉との交流・体験コンサート」

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2016/11/23

■実施期間(終了) : 2016/11/23

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : 千葉県文化会館

■参加者/入場者数 : 885 人

■事業概要 :

吹奏楽や合唱を学んでいる高校生とプロオーケストラの合同演奏会を行う。

(1)吹奏楽ワークショップ

吹奏楽を学んでいる高校生を公募し、プロの指導を受け、本物のクラシックコンサートを経験してもらうことで、刺激を受け、今後の音楽活動に役立ててもらう。

(2)合唱ワークショップ

千葉県合唱連盟の協力を得て、高校に指揮者が指導に出向き、指導する。プロの指揮者・オケと一緒に出演することで、刺激を受け、今後の音楽活動に役立ててもらう。

(3)高校生ボランティア

高校生とプロと一緒に創り出すコンサートの運営に、高校生が運営ボランティアとして参加する。

■本アクションの成果 :

吹奏楽と合唱に取り組んでいる高校生、学校の先生方、指揮者、千葉交響楽団の団員、そして運営を支えてくれた関係機関、高校生ボランティアといった多くの方々の協働により「交流と体験のコンサート」というひとつのプログラムを創り上げることができた。そして、このプログラムにおいて一流の音楽家から指導を受けた高校生が、今後の音楽活動にそれを生かしながら千葉県の音楽文化の向上に貢献していくことが期待できる。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：日本・シンガポール・インドネシア 国際共同制作「三代目、りちゃあど」

■組織・団体名：公益財団法人東京都歴史文化財団

■実施期間(開始)：2016/11/26

■実施期間(終了)：2016/12/4

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：東京芸術劇場

■参加者/入場者数：2103 人

■事業概要：

シェイクスピアの死後 400 年記念となる年に、シェイクスピア作品をもとに創作された野田秀樹作「三代目、りちゃあど」を取り上げる。オン・ケンセンを演出に迎え、日本・シンガポール・インドネシアの 3 か国の俳優が演じるにより、アジアにおけるシェイクスピア作品の取り組みを通して、国際交流について考える契機としたい。

日本からは歌舞伎俳優と狂言師、インドネシアからは伝統的な影絵芝居のアーティストが参加、さらに日本、インドネシア、シンガポールの現代演劇の俳優が加わり、アジアの伝統芸能と現代演劇の融合を試み、アジア発の新たな国際共同制作作品を目指す。

■本アクションの成果：

日本の戯曲をシンガポールの演出家が演出し、日本、シンガポール、インドネシアの俳優が演じるという形態の国際共同制作により、アジアのさまざまな文化が融合した演劇作品を創造することが出来た。歌舞伎、狂言、インドネシアの影絵といった伝統芸能を現代演劇に取り込み、日本語、英語、インドネシア語で上演することにより、それぞれの文化を活かしたアジア発の意欲的な作品となった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 平成 28 年度 かながわこども民俗芸能フェスティバル〜れとろびーと〜

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2016/11/27

■実施期間(終了) : 2016/11/27

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川県立青少年センター

■参加者/入場者数 : 264 人

■事業概要 :

神奈川県内で民俗芸能を継承する3団体程度の出演を予定し、子どもを中心とした民俗芸能の紹介を主軸とした 90 分～120 分程度のイベントを開催する。

(出演)小向獅子舞保存委員会(川崎市幸区／神奈川県指定無形民俗文化財)、相模国飯山白龍太鼓保存会(厚木市)、生麦囃子保存会(横浜市鶴見区／横浜市無形民俗文化財保護団体認定団体)

■本アクションの成果 :

神奈川県内の各地域で民俗芸能や地域に根ざした伝統芸能を継承する団体のうち、子どもを中心とした芸能の紹介を主軸としたイベントを開催した。こうした神奈川県内の各地域で継承されている民俗芸能を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、次世代を担う後継者の育成を支援することができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：神社・仏閣・能楽堂などを活用した実演芸術拠点の形成プロジェクト「全国の『和の空間』を活かした伝統文化発信事業」

■組織・団体名：文化庁

■実施期間(開始)：2016/12/4

■実施期間(終了)：2016/12/18

■開催場所都道府県：沖縄県

■会場名：波上宮ほか(新潟・りゅうとぴあ、両国・回向院)

■参加者/入場者数：530人

■事業概要：

沖縄県・東京都・新潟県の3か所で、それぞれ神社・寺院・能楽堂において、各地域の芸能を共通で取り上げる伝統芸能公演を開催する。各公演は、開催地域の芸能に特に光を当て、他の芸能との競演・交流を通し、魅力を再認識する企画とする。「3種の芸能、全国3か所、3種の和の空間」で1本の企画を構成することにより、全国的な注目度を高めるとともに、パイロット事業として様々な条件・環境下での実施を試みる。

(1) 公演内容

地域で発展してきた芸術性の高い伝統芸能を取り上げ競演させる。沖縄の「琉球舞踊」、東京の「箏曲(三曲)」、新潟の「市山流日本舞踊」を組み合わせ、開催地域の芸能を中心に番組を構成する。日本人が昔から芸能に親しんできた「和の空間」で、地域の人々が気軽に伝統芸能を楽しめるよう、造詣の深いナビゲーターを入れる。

(2) おもな出演者と演目(以下予定)

日本舞踊「うしろ面」「相川音頭」 立方 市山七十世(市山流家元)ほか／後見 市山七百蔵／長唄連中／鳴物連中

三曲「吾妻獅子」 箏 米川敏子 三弦 大学敏悠、吉田敏乃 尺八 川瀬順輔

琉球舞踊 立方 玉城節子ほか

■本アクションの成果：

沖縄県、東京都、新潟県の3か所で、それぞれ神社・寺院・能楽堂において、各地域の芸能を共通で取り上げる伝統芸能公演を開催した。沖縄の琉球舞踊、東京の箏曲、新潟独自の市山流日本舞踊という、地域で発展してきた芸術性の高い伝統芸能を取り上げ、基本的に3公演共通のプログラムとした。本事業の実施を通して、これらの『和の空間』を活用し、地域での鑑賞機会の拡大が図られたとともに、地域の人々が実演芸術との新たな接点を見出し、新たな連携を生み出した。また、地域文化を再発見し地域活性化のモデルとなった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 京都:Re-Search ひとと地域とアーティスト ～アーティスト・イン・レジデンスの位置づけ～

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2016/12/4

■実施期間(終了) : 2016/12/4

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : 京都リサーチパーク

■参加者/入場者数 : 100 人

■事業概要 :

●取組報告

「京都:Re-Search in 舞鶴」

●基調講演

「地域芸術祭の未来」

●パネルディスカッション

「アーティストにとっての地域とレジデンス事業」

「レジデンス事業を地域にどのように位置づけるか」

●コンクレーション

「レジデンス事業の可能性」

■本アクションの成果 :

地域でのレジデンス事業や地域にアーティストがいることの良さについて、地域芸術祭開催者からの視点、レジデンスを経験したアーティストからの視点、受け入れる体制側からのそれぞれの視点で登壇者にディスカッションいただき、地域とレジデンス事業の関係や今後のアーティスト・イン・レジデンスの有益な活用について議論が行われた。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：もりのみやこのふれあいコンサート

■組織・団体名：宮城県仙台市役所

■実施期間(開始)：2016/12/7

■実施期間(終了)：2016/12/7

■開催場所都道府県：宮城県

■会場名：イズミティ 21(仙台市泉文化創造センター)

■参加者/入場者数：1088 人

■事業概要：

主催：市(障害企画課、文化振興課)・(公財)仙台市市民文化事業団・(公財)仙台フィルの共催。

目的：障がいや障がいのある方に対する理解を深めるとともに、障がいのある方の社会参加への意欲を高めることを目的としている。

対象：市内障がい者施設や市立中学校特別支援学級への案内とあわせて、一般の方々も広く募集し、約 1,200 名の方の参加を予定している。

入場料：無料(事前申込制。多数の場合抽選)

出演：(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団

その他サービス：障害のある方に楽しんでいただけるよう、「車いす専用スペース」や「手話通話、要約筆記」、「点字プログラム」、「磁気ループ、体感音響システム」のサービスを用意。6 か月～2 歳児のお子様をお預かりする託児サービスも準備。

■本アクションの成果：

普段、コンサートを聴く機会の少ない障害のある方や付添いの方が楽しむことができるよう、観客も手拍子で参加できるプログラムを取り入れるなど工夫をしたこともあり、満足いただくことができた。来場者アンケートの中には「音楽は世界共通、健常者と障害者の壁もない」「(障害を持った)子どもの成長を感じることができた」という感想も見られ、障害者の社会参加の一助ともなった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : ザワメキアート～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット～

■組織・団体名 : 長野県

■実施期間(開始) : 2016/12/8

■実施期間(終了) : 2017/1/23

■開催場所都道府県 : 長野県

■会場名 : ホクト文化ホール

■参加者/入場者数 : 3021 人

■事業概要 :

(1)作品展示

公募による応募作品(絵画、彫刻、版画、工芸、書等)から有識者の審査により選定された作品を展示。(会場の規模に合わせ 50～100 点程度)

(2)ギャラリートーク

(3)講演会及び映画上映会

(4)ワークショップ(銀座NAGANO)

■本アクションの成果 :

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、障がい者が創作した作品の優れた芸術性や創造性を県民に発信することを目的として今年度より実施。応募者 192 人から有識者の審査により選定された 20 人の創作作品 110 点を、県内 2 会場と東京都内で展示した。会期中 3,021 人の方に来場いただくとともに、本展をきっかけに、他都県から作品出展の依頼があるなどの広がりがみられた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 文京ミューズフェスタ 2016

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2016/12/15

■実施期間(終了) : 2016/12/15

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : ギャラリーシビック(文京シビックセンター1 階)

■参加者/入場者数 : 674 人

■事業概要 :

区内の博物館・美術館・庭園により結成されている「文の京ミュージアムネットワーク」(通称:文京ミューズネット)による、合同イベント。

会期:平成 28 年 12 月 15 日(木)午前 10 時～午後 6 時

会場:ギャラリーシビック(文京シビックセンター1 階)

入場料:無料

内容:体験コーナーと展示コーナー

■本アクションの成果 :

文化芸術資源としての博物館・美術館・庭園等の情報発信及び体験コーナーにより、文化芸術資源に身近に触れる機会を提供

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：第 5 回記念大会全国高校生伝統文化フェスティバル／第 3 回全国高校生茶道フェスティバル

■組織・団体名：京都府

■実施期間(開始)：2016/12/17

■実施期間(終了)：2016/12/18

■開催場所都道府県：京都府

■会場名：京都コンサートホール 他

■参加者/入場者数：3200 人

■事業概要：

第 5 回記念大会全国高校生伝統文化フェスティバル

開会式典(歓迎プログラム等)

日本音楽部門公演(全国 2)

郷土芸能部門公演(全国 4)

吟詠剣詩舞部門公演(全国 1)

特別公演

フィナーレ(出演者総出演会場合唱等)

府内高校生による歓迎プログラム・展示

第 3 回全国高校生茶道フェスティバル

平成 28 年 12 月 17 日(土): 歓迎呈茶、歓迎演奏、記念講演会等

平成 28 年 12 月 18 日(日): 交流呈茶(高校伝フェス内)、茶道に関わる研修・体験

■本アクションの成果：

全国トップレベルの伝統文化に勤しむ高校生が京都に集い、新たな出会いにより各々の地域文化を知るとともに交流を図った。そして、全国の高校生、幅広い府民や海外留学生等に演技を披露、日本の伝統文化を海外にも発信、継承と発展の重要性を会場一体となって再認識した。また府内高校生による「おもてなし隊」を組み、企画・運営等を行い、貴重な体験を得ることができた。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：埼玉伝統芸能フェスティバル

■組織・団体名：埼玉県庁

■実施期間(開始)：2016/12/18

■実施期間(終了)：2016/12/18

■開催場所都道府県：埼玉県

■会場名：彩の国さいたま芸術劇場大ホール

■参加者/入場者数：701 人

■事業概要：

・平成 28 年 11 月にユネスコにおける審査・決定が行われる「山・鉾・屋台行事」の中には、「秩父祭の屋台行事と神楽」、「川越氷川祭の山車行事」が含まれている。これにちなみ、川越祭り・川越市に伝わる伝統芸能の公演を行う。

・伝統芸能を見る機会がない人でも、内容を理解でき親しみを持てるよう上演前にワークショップを取り入れたり保存会や学芸員などが内容等を解説する。

・ホワイエに写真パネルや衣装等を展示し、理解を深め、現地に足を運んでもらうきっかけとする。

・外国人の観客のために英語ややさしい日本語によるプログラムを作成する。外国人の研修生や留学生を招待する。

・公演の記録動画を作成し、Youtube での公開等により、国内外に伝統芸能の魅力を発信する。

■本アクションの成果：

12 月 1 日にユネスコ無形文化遺産に登録された「川越氷川祭の山車行事」にちなみ、川越祭・川越に伝わる伝統芸能の公演を行った。外国人観覧者を含め、701 人が地域に受け継がれてきた貴重な文化資源である伝統芸能に親しんだ。今回作成した英語のプログラムや公演の記録動画は、HP や Youtube に公開し、国内外に伝統芸能の魅力を発信する。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 文化プログラムシンポジウム in 新潟

■組織・団体名 : 文化庁

■実施期間(開始) : 2016/12/18

■実施期間(終了) : 2016/12/18

■開催場所都道府県 : 新潟県

■会場名 : りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂

■参加者/入場者数 : 114 人

■事業概要 :

主催者挨拶 磯谷桂介 文化庁長官官房審議官

基調講演「地域文化発信のためのストーリーづくり」

講演者 竹内佐和子 文部科学省顧問

シンポジウム「新潟の地域文化の価値の再発見と世界への発信」

パネリスト:

小林 昌二 みなとぴあ 新潟市歴史博物館館長／新潟大学名誉教授

篠田 昭 新潟市長

野内 隆裕 路地連新潟メンバー／日和山五合目館長

竹内 佐和子 文部科学省顧問

モデレーター 杉浦幹男 アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター

■本アクションの成果 :

本アクションでは、文化プログラムの企画に欠かせない“ストーリーづくり”を行うために必要なコンセプトの普及を図ることで、各地域における文化資源の再確認、地域固有のストーリーを背景とした文化プログラムづくりを進めるとともに、地域ごとに文化プロデュースを担う人材を発掘することを目的とし、シンポジウムを開催した。

新潟市の地誌に明るい有識者にパネリストとして登壇頂くことで、各地域における文化資源の再確認され、新潟から「文化プログラムに参加している」という機運の醸成が図られた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : リーブラホールコンサート

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2016/12/20

■実施期間(終了) : 2016/12/20

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : みなとパーク芝浦

■参加者/入場者数 : 160 人

■事業概要 :

プログラム:「2 台のヴァイオリンとピアノの為に 5 つの小品」ショスタコーヴィッチ、「リベルタンゴ」ピアソラ、クリスマスメドレー 他

■本アクションの成果 :

今回はホールのドアを開放してコンサートを実施することにより、普段子どもの泣き声等を気にしてコンサートに行きづらいご家族や、たまたま施設に来場した方にも、気軽に音楽にふれる機会を提供できた。次世代を担う子どもたちにも、生の音楽に直接触れることで、音楽の楽しさを伝えられる事業を行うことができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：東京国立近代美術館工芸館名品展

■組織・団体名：石川県

■実施期間(開始)：2016/12/21

■実施期間(終了)：2017/2/12

■開催場所都道府県：石川県

■会場名：石川県立美術館

■参加者/入場者数：12365 人

■事業概要：

・展覧会名:「東京国立近代美術館工芸館名品展」

・場 所:石川県立美術館

・会 期:H28.12.21～H29.2.12(48 日間、年末年始休館除く)

・展示作品:工芸館が所蔵する近・現代工芸作品を厳選して展示

■本アクションの成果：

1万人を超える多くの方々に高い関心を持ってご来場いただけたことから、東京国立近代美術館工芸館とその所蔵品を知っていただき、移転に向けた気運を盛り上げていく上で、成果が得られた。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：栃木県文化シンポジウム「とちぎの元気を世界に！」?とちぎ版文化プログラムを考える?

■組織・団体名：文化庁

■実施期間(開始)：2016/12/21

■実施期間(終了)：2016/12/21

■開催場所都道府県：栃木県

■会場名：栃木県総合文化センター サブホール

■参加者/入場者数：200人

■事業概要：

オープニングアクト 三番叟(那須烏山の山あげ祭)、お囃子(鹿沼秋まつり)

基調講演 ①

「文化プログラムは地方に何をもたらすのか」

講師：アーツカウンシル新潟プログラムディレクター／2020年オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進

委員会プログラム・コーディネーター 杉浦幹男 氏

基調講演 ②

「文化による持続可能な地域づくり」

講師：NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事 山出淳也 氏

パネルディスカッション

「とちぎの元気を発信する文化プログラム」

コーディネーター：山出淳也 氏

パネリスト 文化庁文化プログラム推進室

梶原 紀子 氏(もうひとつの美術館館長)

五十嵐 順一 氏(NPO法人那須フィルム・コミッション理事長)

吉田 利雄 氏(文星芸術大学准教授)

■本アクションの成果：

本アクションでは、栃木県における文化プログラムを、オールとちぎで、とちぎならではの文化資源を発掘・育成し、文化を契機とした地域づくりに結び付け、とちぎの元気を国内外に発信する大きな契機としていくため、シンポジウムを開催した。

開会に先立って、ユネスコ無形文化遺産に登録された伝統芸能が披露され、その後有識者による基調講演、パネルディスカッションにて議論されることで、県内の文化・地域づくり関係者に「文化プログラムに参加していこう」という機運が醸成された。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : REBIRTH!富士講プロジェクト

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2017/1/12

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 富士山世界遺産センター

■参加者/入場者数 : 300 人

■事業概要 :

富士山に対する信仰において霊地とされた山麓の富士五湖等の構成資産及びそれらを巡る巡拝への理解を促進し、その価値を適切に保存・継承するとともに、富士山周辺地域の活性化を図るため、以下の取組を実施する。また、実施計画期間中は、以下の取組を通じて、地域全体で富士山を保存・継承し、活用していくための体制に確立を目指す。

■本アクションの成果 :

2017年2月23日に山梨県・静岡県が主催する「富士山の日フェスタ2017」にて、両県の取り組み状況映像紹介の中で「リバース富士講プロジェクト」の紹介映像内でマークを使用し、参加者約300名に本プロジェクトの活動内容や意義について伝え、併せて東京2020参画プログラムであることを印象付けた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 「日常生活から見つけた 京都文化の発信・体験プラン」コンテスト 本選・公開プレゼンテーション

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2017/1/15

■実施期間(終了) : 2017/1/15

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : 大江能楽堂

■参加者/入場者数 : 90 人

■事業概要 :

●基調講演

日常生活を豊かにするデザインビジネスの取組から、産業と地域文化の融合について考える機会とする。

●公開プレゼンテーション、ポスターセッション、審査、発表等

能や狂言等日本の伝統芸能の舞台である「能楽堂」において、次代を担う若者から、京都文化の魅力を

発信する体験プランを公募し、若者目線で京都の文化に対する意見を発表し、交流する機会とする。

■本アクションの成果 :

能や狂言等日本の伝統芸能の舞台である「能楽堂」において、日常生活からデザインビジネスを考える基調講演や、次代を担う大学生から京都文化の魅力を発信する体験プランのプレゼンテーションを行うことで、京都の魅力や良さを再確認することができた。また、プレゼンテーションをきっかけに他大学間での新たな交流も生まれた。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：平成 28 年度 伝統文化交流事業 in ゆとろぎ『石見神楽公演』

■組織・団体名：羽村市

■実施期間(開始)：2017/1/15

■実施期間(終了)：2017/1/15

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：羽村市生涯学習センターゆとろぎ

■参加者/入場者数：780 人

■事業概要：

有福神楽保持者会による石見神楽の公演

・公演回数：1 回

・演目：「剣舞」「神祇太鼓」「人倫」「五郎の王子」「大蛇」

■本アクションの成果：

郷土や歴史に育まれ、大切に伝承されてきた郷土芸能を紹介することにより、地域の絆や伝承する大切さを再認識するとともに、地域文化を発展させていくための契機とすることができた。また、運営においては、関係団体と協力して企画・運営を行い、広く市民に周知し、子どもから大人まで多くの来場者を募ることにより、伝統文化を通して市民の交流を図ることもできた。

■写真：

伝統文化交流事業 in ゆとろぎ 有福神楽 <島根県指定無形民俗文化財>

石見神楽

いわみ 羽村公演

島根県で受け継がれる
舞いや囃子の伝統芸能
荘厳・華麗な神話の世界が
羽村で繰り広げられる

平成 29 年
1月15日(日)
開場 13:00 開演 13:30
羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール
(公演後、神楽とふれあう交流あり)

《チケット》全席指定 大人 2,000 円 高校生以下 500 円
※未就学児は入場できません。 (催し物・有期)

10月16日(日)より下記窓口にて発売開始

ゆとろぎチケットカウンター (9:00~17:00・月曜休館) 042-570-0707
羽村市生涯学習センター (9:00~17:00・月曜休館) 042-555-0033
マルブリ 青梅・羽村・福生市内 6 店舗のサービスカウンター
西多摩新聞社チケットサービス (土日定休) 0120-61-3737

お問い合わせ：042-570-0707 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘 1-11-5
主催：羽村市・羽村市教育委員会 後援：浜田市教育委員会 事業協力：有福神楽保持者会・(公社)全日本郷土芸能協会



■分野 : 文化

■アクション名 : 地域で共に生きる障害児・障害者アート展

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2017/1/18

■実施期間(終了) : 2017/1/30

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国立新美術館

■参加者/入場者数 : 8672 人

■事業概要 :

重度の障害があるために、児童館をはじめとする地域の公共施設の利用ができない、公共の場などでの遊びや習い事ができない、そういった重度障害児が余暇活動するための居場所づくりを目的に、港区では、平成24年度から「重度障害児の日中一時支援事業」をはじめており、そのプログラムの中に絵画を取り入れている。障害者アート展では、絵画等を通して自己を表現した力強い作品を多くの人に観てもらい、障害があってもなくてもみんな同じなんだということを多くの人に知ってもらうことで、障害者への理解促進を行う。

■本アクションの成果 :

入場者数は想定を大きく上回り、障害者だけでなく、外国人等多くの方に作品を鑑賞していただきました。『素敵な作品ばかりで感動しました。』や『美を生み出す力に何らのボーダーはないと感じた』などの感想をいただき、作品を通じて障害者への理解が深まっていると感じました。また、作品制作者である障害者は、大勢の人に自分の作品を鑑賞してもらうことで、自信になり、次の作品の制作意欲が湧いているようでした。今後もアート展を通じて、全ての障害者が尊厳を重んじられ、住み慣れた地域で自分らしく生きるとともに、決して障害を理由とする差別を受けることのない社会の実現を目指していきます。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 21 世紀の『上を向いて歩こう』『歌い、継ぐ』～永六輔さん追悼コンサート～

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/1/20

■実施期間(終了) : 2017/1/22

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川芸術劇場

■参加者/入場者数 : 1285 人

■事業概要 :

中村八大作曲、永六輔作詞の音楽について、3 世代を代表するアーティスト等によるコンサートを上演する。

入場料 大人 6,000 円、学生 3000 円 (予定)

主催 マグカル・フェスティバル実行委員会(事務局 神奈川県)

■本アクションの成果 :

前回の東京オリンピック(1964 年)の頃に大流行してから、今なお世界中で歌い継がれている「上を向いて歩こう(SUKIYAKI)」を作曲した、神奈川にゆかりのある中村八大氏と、作詞した永六輔氏。彼らの作った音楽を様々な世代のアーティストが歌い、奏でるコンサートを上演したことで、昭和の日本の音楽の素晴らしさを、世代を超えて伝えることができた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 英語で学ぶ日本文化—能とは何か～ What is Noh?

■組織・団体名 : 宮城県仙台市役所

■実施期間(開始) : 2017/1/22

■実施期間(終了) : 2017/1/22

■開催場所都道府県 : 宮城県

■会場名 : 能 BOX

■参加者/入場者数 : 36 人

■事業概要 :

650 年以上継承されきた能の魅力を、英語の解説を交えた謡と仕舞のパフォーマンスで学びます。

■開催日時:平成 29 年 1 月 22 日(日)14:00 開演(13:30 開場)

■会場:能 BOX

■出演:リチャード・エマート(武蔵野大学文学部教授)

■入場料:500 円

■主催:仙台市、(公財)仙台市市民文化事業団

■本アクションの成果 :

今回の事業では、英語で能を紹介できるようになることを目的に参加した方が多くみられた。

能楽の謡や動作、使用されている楽器、面などの基礎的な知識だけでなく、外国人の目線からみた能の説明など能への理解を深め、伝えることを学ぶ機会となった。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」シンポジウム

■組織・団体名：千葉県

■実施期間(開始)：2017/1/22

■実施期間(終了)：2017/1/22

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：国立歴史民俗博物館講堂

■参加者/入場者数：250人

■事業概要：

本事業では、日本遺産「北総四都市江戸紀行」の歴史・文化的な背景、魅力を広く発信するために、佐倉市に所在する国立歴史民俗博物館においてシンポジウムを開催する。シンポジウムでは、有識者を招き北総四都市の歴史・文化を紹介するとともに、これまでの活動、今後どのように日本遺産をアピールしていくのかについての議論を行う。また、実際に各市のボランティア活動を行っている市民団体、NPO、観光業の関係者などから、各々の活動、見どころなどを報告し、日本遺産の魅力を紹介することを予定している。

■本アクションの成果：

日本遺産「北総四都市江戸紀行」を構成する4市のまちづくりに携わる方々の事例報告を中心に、日本遺産を今後どのように盛り上げ、ブランド力を高め地域の活性化につなげていくのか、また訪日外国人をどのように呼び込み、楽しんでもらうか等について議論を深めることができ、日本文化の再認識と継承、日本文化の世界への発信と国際交流の実現に資することができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 第 8 回港区文化芸術フェスティバル SOUL CAMP 歌声で紡ぐ港区クワイヤーゴスペル

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2017/1/22

■実施期間(終了) : 2017/1/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : サントリーホールブルーローズ

■参加者/入場者数 : 821 人

■事業概要 :

親しみやすいジャンルにより区民を中心に出演者を公募し、身近に舞台芸術に参加する機会を提供する。練習から発表までの過程は、出演者同士が喜びや楽しさを共有しながら参加できるよう、プロフェッショナルのアーティスト、制作陣等が質の高い練習会を運営する。また、公演のプログラム構成は、会場一体となって参加できるものとし、出演者と鑑賞者がともに、良質な舞台芸術に触れる機会を創出する。

■本アクションの成果 :

港区民が無料で、プロのアーティストとゴスペルを共演した。歌唱パートを細かく区切ることで参加者の約 10%(26 人)にソロを割当て、ソロと合唱団のレスポンスも多用、「全員が自己ベスト」の発表となる曲構成に努めた。「多様性と調和」については、年代は小学生から 70 代まで、外国人住民も約 6%(14 人)が参加し、世代間交流と地域交流の場を提供した。小学生から 20 代までの参加者は約 28%(68 人)。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：能楽フェスティバル 2017-2020 ～1964 年「オリンピック能楽祭」を想う～

■組織・団体名：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

■実施期間(開始)：2017/1/25

■実施期間(終了)：2017/1/25

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：国立能楽堂

■参加者/入場者数：925 人

■事業概要：

(第一部)特別公演

狂言 大蔵流「神鳴」シテ 山本東次郎

能 観世流「隅田川」シテ 野村四郎

※日英字幕付 ※能楽初心者から外国人まで幅広い層が能楽の魅力を味わえることを目指す。

(第二部)シンポジウム

○実演 半能 宝生流「高砂」シテ 金井雄資

○講演 “「オリンピック能楽祭」に寄せて” 山本東次郎

○2020 年に向けた文化関連の取組の現状報告

○パネルディスカッション

■本アクションの成果：

本事業は、オリンピックと能楽を繋げる 2020 年に向けた新たな取り組みとして、大きなアピールの場となった。観客は、能楽をツールとして、オリンピックが文化の祭典でもあることを再確認、又、オリンピックがもたらす能楽の可能性についても広く認知された。能楽界一丸となって開催した今回の催しは、2020 年への気運を高める直接的な一歩として、能楽界内外に対して成果を上げたと思われる。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : Theater Commons Tokyo

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2017/1/25

■実施期間(終了) : 2017/2/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : SHIBAURA HOUSE、ドイツ文化センターほか

■参加者/入場者数 : 1322 人

■事業概要 :

本事業は、普段は分断され交わることのないものが演劇的想像力によって出会う場として「劇場」を再定義し、それを複数の都市空間の中に創出することを目指す。このような「劇場」を創出するにあたり、本事業では、舞台芸術に関わる人はもちろんのこと、建築、美術、教育、福祉など、人が集まる時間と空間についての様々な蓄積やスキルを持った表現者を招き入れ、作品創作のみならず、ワークショップやレクチャーパフォーマンス、トークイベントなどを複数開催する。

■本アクションの成果 :

港区との共催、および東京ドイツ文化センター、アンスチチュ・フランセ東京、台湾文化センターといった諸外国文化機関との連携体制のもと、国際的な発信力あるプログラムを実現することができた。また演劇やアートのみならず、福祉や都市リサーチへの広がりもあるワークショップ等を複数開催し、多くの参加者を得られた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：兼六園周辺文化の森「四季の文化回廊」冬のミュージアムウィーク

■組織・団体名：石川県

■実施期間(開始)：2017/1/28

■実施期間(終了)：2017/2/5

■開催場所都道府県：石川県

■会場名：兼六園周辺の文化施設

■参加者/入場者数：32229 人

■事業概要：

食文化の歴史に関する特別講演会、食に関するワークショップなど

なお、本事業は四季折々に文化イベントを開催する「四季の文化回廊」の冬季イベントであり、既に春・夏・秋と次のイベントを実施済。

春 いしかわ赤レンガミュージアムリニューアルオープン1周年記念事業など

夏 デジタル掛け軸など夜の光のアート、夏休みの子ども向け工作体験など

秋 伝統芸能に関する特別講演会と実演、朗読会など

■本アクションの成果：

「極上 いしかわの文化を味わう」をテーマに、石川の食にちなんだ様々な文化イベントを実施したところ、3万人を超える多くの方々にご来場いただき、兼六園周辺文化の森の賑わい創出を図るとともに、石川の食文化を発信することができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 神奈川県地劇ミュージカル公開コンペ事業

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/1/29

■実施期間(終了) : 2017/1/29

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川県立青少年センター

■参加者/入場者数 : 728 人

■事業概要 :

地元の伝説や民話などを題材に盛り込んだ、地域色豊かなミュージカルのコンテストを上演する。一次審査を通過した4団体が、公開コンペで魅力を競い合い、最優秀作品を選定する。

① 開催日

平成 29 年 1 月 29 日(日)

② 会場

神奈川県立青少年センター ホール

③ 入場料

無料

④ 主催

マゲカル・フェスティバル実行委員会 (事務局:神奈川県)

■本アクションの成果 :

「地劇」(地元の伝説や民話などを題材に盛り込んだ、地域色豊かな劇)の公演を実施し、県民の文化芸術の「鑑賞機会」や「参加機会」の充実に繋げ、地域の歴史を学ぶ機会、地域への愛着、地域の活性化に繋げることが出来た。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた訪日外国人を意識したオリジナル劇で賑わいを創出した。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：「第 20 回岡本太郎現代芸術賞」展

■組織・団体名：川崎市

■実施期間(開始)：2017/2/3

■実施期間(終了)：2017/4/9

■開催場所都道府県：神奈川県

■会場名：川崎市岡本太郎美術館企画展示室

■参加者/入場者数：13874 人

■事業概要：

(展示構成)

岡本太郎賞 1 名 岡本敏子賞 1 名 特別賞若干名 入選 20 名程度

※昨年度応募総数 485 点

■本アクションの成果：

今回で 20 回目を迎える本展は、499 点の応募があり、創造性あふれる 26 点の作品が入選をした。芸術のジャンル意識を超え、芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品の応募があり、創作活動に邁進する多くの芸術家の登竜門として「次世代育成と新たな文化芸術の創造」に資する内容となった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : こどものためのシアター

■組織・団体名 : 横浜市

■実施期間(開始) : 2017/2/4

■実施期間(終了) : 2017/2/25

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 中区本町4-44

■参加者/入場者数 : 190 人

■事業概要 :

3回にわたり年齢層に応じたプログラムを実施

(1) 小学生対象(東京藝術大学 伊藤有亮教授 アニメーション専攻)

平成 29 年2月 24 日(金)9:30~11:10

(2) 中学生対象(東京藝術大学 柳島克己教授 映画専攻)

平成 29 年2月 25 日(土)10:30~12:30

(3) 高校生対象(東京藝術大学 佐藤雅彦教授 メディア映像専攻)

平成 29 年2月4日(土)14:00~16:00

※実施主体は東京藝術大学及び横浜市役所であり、その他の共同事業者はありません。

■本アクションの成果 :

東京藝術大学映像研究科と連携し、映像文化における教育課程に応じた次世代育成を行った。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 第 38 回 Kyoto 演劇フェスティバル

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2017/2/4

■実施期間(終了) : 2017/2/18

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : 京都府立文化芸術会館

■参加者/入場者数 : 9071 人

■事業概要 :

公募による演劇、人形劇、朗読劇、合同創作劇など多彩なプログラムが盛り込まれ、観客が選ぶ賞を設けるなど、府民参加型、地域密着型の演劇祭となっている。関連事業として、劇団への指導者派遣による演劇指導も実施。

■本アクションの成果 :

5 日間の演劇祭で、公募による演劇、人形劇、朗読劇、合同創作劇など多彩なプログラムで、児童劇団から高齢者劇団まで幅広い世代にわたる 22 団体が出演。地域劇団への指導者派遣による演劇指導や、公募によるワークショップ参加者の成果発表としての合同創作劇の上演、観客が選ぶ賞を設けるなど、府民参加型、地域密着型の演劇祭として、地域の文化振興や世代間交流、次世代育成、高齢者のセカンドライフの充実等に貢献する事業となった。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：車椅子アートプロジェクト vol.1 チバリアフリー2017

■組織・団体名：千葉市役所

■実施期間(開始)：2017/2/5

■実施期間(終了)：2017/2/5

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：イオンモール幕張新都心 グランドコート

■参加者/入場者数：1000 人

■事業概要：

ステージイベント: ファッションショーとダンスパフォーマンス

様々な障害をもつファッションモデルと、障害のあるアスリートがモデルとなって出演する、ファッションショーを行う。ファッションショーの間に、車椅子ユーザーをメインとしたダンスパフォーマンスを行う。ステージ上では、企業から借りた車椅子を使用する。チラシ等のデザインや会場スタッフには地元専門学生や大学生の協力を得る。

■本アクションの成果：

会場には、予想を大幅に上回る観客数となり、多くの方に立見で観覧していただくこととなった。車椅子席の用意や手話通訳者の配置を行っていたところ、車椅子席も満席となり、手話通訳を必要とされる方々にも十分な案内を行うことができた。また、商業施設での開催であることから、幅広い年齢層の方々に観てもらうことができた。イベント時に行ったアンケート調査では、「出演者自らが楽しんでいることが伝わった」「障害に対する見方が変わった」「今後、今回のようなイベントがあれば観覧・参加してみたい」等、多数の感想をもらうことができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 障がい者アーティストの卵発掘展

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/2/8

■実施期間(終了) : 2017/2/12

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 徳島県立近代美術館

■参加者/入場者数 : 821 人

■事業概要 :

芸術文化活動に取り組んでいる障がい者のアート作品を募集、展示するとともに、優れたアーティストに対して活動支援金を支給し、その活動を支援する。

■本アクションの成果 :

芸術文化活動に取り組んでいる 35 歳以下の障がい者のアート作品を募集、展示するとともに、優れたアーティストに対して活動支援金を支給することにより、その活動を支援することができた。さらに、展覧会の開催により広く県民に対して障がい者芸術の魅力を発信することができた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : アール・ブリュット国際フォーラム 2017

■組織・団体名 : 滋賀県

■実施期間(開始) : 2017/2/10

■実施期間(終了) : 2017/2/11

■開催場所都道府県 : 滋賀県

■会場名 : びわ湖大津プリンスホテル

■参加者/入場者数 : 821 人

■事業概要 :

内容:有識者の講演をはじめ、アール・ブリュットを扱う各国の美術館長によるパネルディスカッション、アメリカ、タイ、オーストラリアの研究者の特別報告など、世界各地のアール・ブリュットの今を発信し、議論を深める。

参加費:1,000 円

■本アクションの成果 :

国内外における障害者の芸術活動の現場や、実践者の声を共有することができた。登壇者に多様な領域の有識者が関わり、様々な分野の人々や団体がアール・ブリュットに関心を持ち、参加できる場づくりをした。国や領域を横断することにより、それぞれの分野で次なる試みに繋がったと考える。会場では言語通訳に加え、手話通訳、要約筆記を提供するなど障害者への情報保障にも努めた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 平成 28 年度県民芸術劇場公演 能楽∞四重奏

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2017/2/12

■実施期間(終了) : 2017/2/12

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : 青葉の森公園芸術文化ホール

■参加者/入場者数 : 297 人

■事業概要 :

青葉の森公園芸術文化ホールの本格組立式能舞台で、千葉県唯一のプロオーケストラ(千葉交響楽団)と一噌幸弘を中心とした能楽師たちが共演。和洋のコラボレーションを行う。邦楽や民族楽器奏者を加えて、さらに新しい音世界を創造する。

(出演者)

千葉交響楽団メンバーによる弦楽四重奏

一噌幸弘(能楽一噌流笛方)、野村万蔵(狂言)、望月太喜之丞(小鼓)、柿原光博(大鼓)、藤原道山(尺八)、吉見征樹(タブラ)、太田恵資(ヴァイオリン・ヴォイス)

■本アクションの成果 :

能舞台を利用したの、邦楽(笛、尺八、太鼓など)と洋楽(弦楽四重奏)、民族楽器(タブラ)のコラボレーションとなった今回の公演。伝統的な能舞台の新しい活用方法を示すことができたほか、さまざま文化の融合による相乗効果が音楽により形になり、多くの方に感動を与えることができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた障害者のパフォーマンスに関するショーケースとフォーラム(仮)

■組織・団体名：港区

■実施期間(開始)：2017/2/12

■実施期間(終了)：2017/2/12

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：スパイラルホール

■参加者/入場者数：253 人

■事業概要：

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運が高まる中、障害のある人々の芸術表現の可能性に関心が高まっている。全国で障害と舞台芸術を考える取組なども立ち上がっている。本事業では、障害のある人々の舞台芸術活動に焦点をあて、パフォーマンス、プレゼンテーション、パネルディスカッションを通じて、その分野の担い手や専門家とともに障害のある人々の芸術活動の今後の可能性について、幅広く議論するとともに、より多様性のある社会をつくっていくためのヒントを探る。

■本アクションの成果：

障害のある人の舞台芸術活動に関する現状と課題を提示し、この分野に関する社会的認知や関心を高め、2020 年のオリンピック・パラリンピックへの機運を醸成することができた。また、2020 年に向けて必要となる芸術、福祉、行政、民間、アーティスト、障害当事者、など様々なセクターの人々の出会いの場を提供し、2021 年以降につながるレガシーとなる素地を構築した。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : アール・ブリュットネットワークフォーラム 2017

■組織・団体名 : 滋賀県

■実施期間(開始) : 2017/2/12

■実施期間(終了) : 2017/2/12

■開催場所都道府県 : 滋賀県

■会場名 : びわ湖大津プリンスホテル

■参加者/入場者数 : 146 人

■事業概要 :

取組報告 グローより国際交流の取組について報告

対談 篠田新潟市長×青柳会長「文化芸術と地方創生」

シンポジウム「表現活動がつなぐもの」

(1)キーノートスピーチ 保坂健二郎氏

表現活動と関わりのなかった人々が表現活動を通じてつくる喜びを感じ、地域や社会と新たなつながりが生まれている。アール・ブリュットが持つ「可能性」や「つなぐ力」についてお話しいただく。

(2)事例発表

各取組事例から、それぞれが歩んできた道のりと取組の広がり方、活動するなかで直面した課題、成果や今後目指すものについて紹介いただき、意見交換を行う。様々な取組や考え方、課題を共有することで、表現活動が持つ可能性を考える機会とする。

■本アクションの成果 :

アール・ブリュットの魅力や意義を考える機会を提供するとともに参加者同士の交流促進を図ることができ、アール・ブリュットを支える動きをさらに広めることができた。参加者からも「普段、出会うことのできない人々との出会いの場でとても刺激された。」「このフォーラムで、未来が変化すると思う。」など満足度の高い感想をいただくことができた。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：ケルティック能『鷹姫』

■組織・団体名：公益財団法人東京都歴史文化財団

■実施期間(開始)：2017/2/16

■実施期間(終了)：2017/2/16

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：Bunkamura オーチャードホール

■参加者/入場者数：2044 人

■事業概要：

東京ならではの独自性や多様を追求しながら、日本の伝統文化・芸能を国内外へ広く発信するとともに、次代に継承し普及するため、本格的な伝統芸能公演をわかりやすく見せる公演を実施し、伝統文化・芸能に馴染みの無い層に、その魅力をアピールする。

■本アクションの成果：

日本の伝統芸能である能が西洋の文化であるケルト音楽と合わさる事で、能の表現する幽玄の世界観をわかりやすく伝えることができた。「能を初めて見たが入門編として良い」といったアンケートの声もあり、伝統芸能を広く普及するという目的を果たしただけでなく、能が世界的に与えた影響を広く紹介することで能の新たな可能性を示唆するとともに、東京から新しい伝統芸能の魅力を発信することに大きく寄与した。日本の伝統芸能である能が益々発展することを見据え、海外へ広く紹介していく契機の公演となった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : コンサート・シンポジウム「それぞれの美」 Sports Arts Science

■組織・団体名 : 国立大学法人 東京芸術大学

■実施期間(開始) : 2017/2/17

■実施期間(終了) : 2017/2/17

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国立大学法人 東京芸術大学 奏楽堂

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

・スポーツ・芸術・科学分野のそれぞれ分野における「美」と新たな時代に向けた可能性を語り合うシンポジウム、科学により譜面から解放されたヴァイオリニスト達の演奏、体操選手の演技を自動演奏ピアノの音に変換するアスリートコンチェルト、和楽器とオーケストラと舞による伝統と現代・東西が融合した演奏等を行う。

■本アクションの成果 :

- ① ウェアラブル端末エアースカウターに楽譜を表示することで、自由に動き回りながら演奏できる試みや、体操選手に装着されたセンサーからの信号をAIを介して自動演奏ピアノに伝え音を奏で、オーケストラと共演する取組みを行うことで、新たな芸術表現を創出した。
- ② 様々な分野の専門家による美の語り合いの中で、東京 2020 に向けて行われる文化プログラムについて触れ、鑑賞する芸術から参加する芸術への勧めを行った。
- ③ オーケストラと邦楽・日舞の共演により、新たな芸術表現を創出するだけでなく日本文化の素晴らしさを発信することが出来た。

■写真 :

■分野：文化

■アクション名：第44回相模人形芝居大会

■組織・団体名：神奈川県

■実施期間(開始)：2017/2/19

■実施期間(終了)：2017/2/19

■開催場所都道府県：神奈川県

■会場名：厚木市文化会館 大ホール

■参加者/入場者数：1437人

■事業概要：

相模人形芝居の5座による人形芝居の公演を行う。また、演目の合間に、来場者の方の相模人形芝居を身近に感じてもらうため、人形芝居教室を行う。

<上演演目>

御所桜堀川夜討 弁慶上使の段(下中座)

伽羅先代萩 政岡忠義の段(足柄座)

艶姿女舞衣 酒屋の段(前鳥座)

菅原伝授手習鑑 寺小屋の段(林座)

藪鶯恋枝道 小磯ヶ原の段(長谷座)

■本アクションの成果：

神奈川県の各地で活動している相模人形芝居の5座が一堂に会し、演目を披露することにより、幅広い地域の方に鑑賞いただき、相模人形芝居の魅力を発信することができた。また、人形芝居教室を開催し、人形の仕組みの説明や直接人形に触れてもらう機会を設け、より一層相模人形芝居を身近に感じてもらうことができた。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：東京 2020 応援プログラム 宮崎県文化プログラムキックオフイベント「天孫降臨から日本のひなた宮崎県へ」

■組織・団体名：宮崎県

■実施期間(開始)：2017/2/19

■実施期間(終了)：2017/2/19

■開催場所都道府県：宮崎県

■会場名：メディキット県民文化センター

■参加者/入場者数：1135 人

■事業概要：

1 基本テーマ「天孫降臨から日本のひなた宮崎県へ」

2 演目等(予定)

(1)オープニング

(2)開会セレモニー

(3)講演

(4)文化芸術団体による公演

①天照大神をテーマとした日本舞踊等により、文化・文明の起こりやその後の移り変わりを神の物語として伝える「神話」を表現。

②地域の伝統芸能により、「人々の暮らしと太平の世(平和な時代)」を表現。

③合唱と小中高生の創作ダンスにより、本県のキャッチフレーズ「日本のひなた宮崎県」を表現。

■本アクションの成果：

①文化プログラムについて文化団体や県民に周知するとともに、夜神楽や日本舞踊、合唱など、これまで知られなかったものや普段見られない郷土芸能等に触れる機会を提供し、地域文化の魅力を再認識してもらうことができた。②子どもから大人までが世代を超えて一つの舞台に参加したことで、様々な主体が連携する新たな芸術表現の場を創出できた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 地歌舞伎推進プログラム「清流の国ぎふ 新春地歌舞伎公演(平成 29 年)」

■組織・団体名 : 岐阜県

■実施期間(開始) : 2017/2/19

■実施期間(終了) : 2017/2/19

■開催場所都道府県 : 岐阜県

■会場名 : ぎふ清流文化プラザ

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

(1)地歌舞伎公演

岐阜県が誇る伝統文化である地歌舞伎の公演を開催することで、地域文化の活性化及び発信を行う。

(2)地歌舞伎振興企画

地歌舞伎に関する展示や、地歌舞伎に関する知識習得を通して伝統文化の振興を図る。

(3)観光 PR・特産品販売

ホールホワイエにて出演団体の地元市町観光 PR や特産品販売を行い、地域の活力に資する。

■本アクションの成果 :

①岐阜県が誇る地歌舞伎公演を開催し、多くの来場者に地域文化の魅力を発信した。

②地歌舞伎衣装の展示や、おひねり解説資料などを設置し、地歌舞伎に関する興味の醸成、知識習得を通して伝統文化の振興を図った。

③ホールホワイエにて地元市町観光 PR や特産品販売を行い、地域の活力向上に資した。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 数多へと続きゆく ― アール・ブリュット ― 展

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/2/22

■実施期間(終了) : 2017/2/26

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 徳島県立近代美術館

■参加者/入場者数 : 702 人

■事業概要 :

障がい者芸術の発展への足掛かりとするため、既に広く認められている障がい者芸術の作品展を開催し、障がい者本人を触発するとともに、障がい者の隠れた才能に対する周囲の「気づき」を促す。

併せて、障がい者芸術に「気づく」方法や障がい者芸術を「伸ばす」方法についての講座を開催する。

■本アクションの成果 :

障がい者芸術の発展への足掛かりとするため、既に広く認められている障がい者芸術の作品展を開催し、障がい者本人を触発するとともに、障がい者の隠れた才能に対する周囲の「気づき」を促した。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 能楽ワークショップ

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/2/25

■実施期間(終了) : 2017/3/4

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川県立青少年センター

■参加者/入場者数 : 57 人

■事業概要 :

公共施設での公募型の能楽ワークショップ

レクチャー(能の歴史、能面、装束)、謡曲体験、楽器体験(笛・小鼓・大鼓・太鼓に触って音を出す→パート毎に練習)、能面の体験、能装束の着付実演、能ミニ鑑賞(舞囃子「演目未定」を鑑賞)、体験教室 1,000 円/人(見学者無料)

■本アクションの成果 :

神奈川県横浜市と小田原市の2会場で、県内小中学生及び保護者を対象に、能楽の歴史の講座や体験ワークショップを行い、能の面や小鼓に触れてもらう機会等を提供した。

このことにより、一層能楽への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、次世代を担う後継者の育成を支援することができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：第27回府中ちびっ子ふれあい文化祭

■組織・団体名：東京都府中市

■実施期間(開始)：2017/2/25

■実施期間(終了)：2017/2/26

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：府中の森芸術劇場

■参加者/入場者数：6166人

■事業概要：

本事業は展示部門と発表部門に分かれて実施する。

(展示部門)

日頃の活動で作成している作品を展示する。

展示ジャンル: 手芸、紙粘土、絵本、イラスト、折り紙、木工、陶芸、籐あみ、ステンドグラス、フラワーアレンジメントなど

(発表部門)

日頃活動している成果を発表する。

発表ジャンル: フラダンス、ジャズダンス、タップダンス、チアダンス、よさこい、合唱、楽器演奏、演劇、バレエ、和太鼓演奏など

■本アクションの成果：

本事業では、子どもたち一人ひとりが活躍できる機会を設け、興味・関心を出発点として、そ

れらを継承・発展し、新たな価値を創造することができるリーダーの養成を目的として実施した。多種多様な分野での発表及び展示が行われ、観覧者だけでなく、出演者も含め、多くの刺激を受けることができた。これにより、次世代を担う子どもたちの感性に磨きをかけ、経験の融和を促し、新たな文化芸術の創造に繋がられるよう支援することができた。

■写真：



■分野：文化

■アクション名：平成28年度県民芸術劇場公演 第23回ちば県民合唱団定期演奏会 ハイドン「四季」

■組織・団体名：千葉県

■実施期間(開始)：2017/2/26

■実施期間(終了)：2017/2/26

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：千葉県文化会館

■参加者/入場者数：1088人

■事業概要：

(1)定期演奏会の開催

8か月におよぶ合唱練習を経て、オーケストラ・県民合唱団・ソリストを合わせて約250名の出演による演奏会を行う。千葉を代表するホールである千葉県文化会館を舞台に県内最大の音楽イベントを目指し、地域における芸術文化活動をリードする演奏会とする。

また、合唱団の曲の知識を深めるため、専門講師によるセミナーを開催する。

(2)ちばソリストオーディションの実施

優れた演奏家の発掘と育成のためにオーディションを行い、成績上位者(最優秀賞・優秀賞)を表彰する。最優秀賞受賞者が、県民合唱団定期演奏会に出演する。

■本アクションの成果：

7月から8か月に及ぶ練習や理解を深めるセミナーを経て、3時間に及ぶ大曲を歌い上げ、全員が自己ベストで本番を終えることができた。公演チラシなどで、本事業が東京2020公認プログラムであることを広く周知し、また、公演当日は会場内にロゴマーク入りの看板とのぼりを掲示し、多くの来場者が目にすることで東京2020大会の機運醸成が図ることができた。今回23回目の定期演奏会が成功し、2020年以降の開催を目指し今後も引き続き合唱団の活動を活性化させていく。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : AZ9 ジュニア・アクトーズ仙台招聘公演 村田スカイメーズ 奥州蛇藤伝説 2017

■組織・団体名 : 宮城県仙台市役所

■実施期間(開始) : 2017/2/26

■実施期間(終了) : 2017/2/26

■開催場所都道府県 : 宮城県

■会場名 : 日立システムズホール仙台

■参加者/入場者数 : 363 人

■事業概要 :

AZ9 ジュニア・アクトーズによる仙台招聘公演。

※AZ9 ジュニア・アクトーズ

仙南地域の阿武隈川(A)と蔵王連峰(Z)の環境を共有する9の自治体2市7町の小学4年生から6年生で構成された児童劇団。

■本アクションの成果 :

本事業では、当劇団の運営を保護者や卒業生などがサポートし、地域一体となった舞台創作と交流に取り組んだほか、子ども達の生き生きとした演技により、ご来場いただいた方々に元気や活力を与える機会となった。また、公演制作や子ども達の交流などにより、子ども達の創造性や豊かなコミュニケーションづくりを促進させる取り組みにもなり、これからの文化芸術を継承・発展・創造する担い手の育成に繋がった。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : トヨタコミュニティコンサート in 松江

■組織・団体名 : トヨタ自動車 株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/26

■実施期間(終了) : 2017/2/26

■開催場所都道府県 : 島根県

■会場名 : 島根県民会館

■参加者/入場者数 : 1370 人

■事業概要 :

(1)プロアーティストによるピアノソロ演奏

音楽を聴く機会の少ない地域での開催により、クラシックコンサートの機会を提供し、地域の文化振興に寄与する。

(2)アマチュアオーケストラによるコンサート(プロとの共演)

地域に根差した活動が続けるアマオケ団体の演奏により、地域活性化に貢献する。

また、アマオケ団体にとってもプロとの共演というチャレンジングな機会を得ることで、地域の文化の担い手としての飛躍を目指す。

(3)音楽監督による曲目紹介・解説コーナー

初めてコンサートに来場される方でも分かりやすいように、曲目について解説することで音楽への理解浸透を図る。

■本アクションの成果 :

「音楽は世界共通のコミュニケーションツール♪」

そう熱く語るのは、あのグラミー賞ヘノミネート経験もあり世界で活躍するジャズピアニストの小曾根真さん。今回、なんとプロとアマチュアが共演する「トヨタコミュニティコンサート in 松江」に参加いただきました。コンサート後、「オーケストラの一体感、団員同士やゲストの自分と一音一音つながろうとするエネルギーがピアノに座る僕にガンガン伝わり、圧倒され感動した！」と嬉しいコメントも♪

来場されたお客様からは「地元でこのような豪華ゲストとの共演があるとは普段では考えられない！」「島根の山陰フィルがあることを誇りに思う」という感想をたくさんいただきました。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 文化プログラムシンポジウム in 大阪

■組織・団体名 : 文化庁

■実施期間(開始) : 2017/3/2

■実施期間(終了) : 2017/3/2

■開催場所都道府県 : 大阪府

■会場名 : 国立文楽劇場

■参加者/入場者数 : 350 人

■事業概要 :

(1)オープニングアクト

(2)挨拶および基調講演

(3)パネルディスカッション

モデレーター:佐々木洋三(公益財団法人関西・大阪21世紀協会専務理事)

パネリスト:

宮田亮平(文化庁長官)、鳥井信吾(サントリーホールディングス 代表取締役副会長)、榎田隆一郎(榎田酒造店代表取締役)、塩見有子(特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]理事長)

(4)クロージング・アクト

BORO(シンガーソングライター)

■本アクションの成果 :

本アクションでは、官民連携での地域文化発信を目的とし、関西圏から世界へ向けた文化発信力の向上と地域の団結力を促進するきっかけとしてシンポジウムを実施した。

開催に先立って人形浄瑠璃文学の実演に始まり、有識者による基調講演とパネルディスカッション、クロージングにはオリンピックに向けた曲演奏で締めくくられた。

一連の実施内容により、日本文化の再認識、文化を資源とした商都・大阪の魅力発信及び、オリンピックを見据えた「文化プログラム」実施への機運の醸成が図られた。

■写真 :



(C) 関西大阪21世紀協会



(C) 関西大阪21世紀協会

■分野 : 文化

■アクション名 : TURN フェス2

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/3/3

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京都美術館

■参加者/入場者数 : 1200 人

■事業概要 :

「TURN」は、異なる背景や習慣を持った人々が関わり合い、様々な「個」の出会いと表現を生み出すアートプロジェクト。「交流プログラム」では、アーティストが、福祉施設などへ赴き、利用者等との交流を重ねている。「TURN フェス2」では、アーティストや交流先の人々が一堂に会し、それぞれの交流の姿を公開する。

■本アクションの成果 :

・ワークショップでの交流や作品等の展示、TURN の社会的な役割を検証するカンファレンス等を通して、あらゆる人が芸術文化を楽しみ、互いの個性や多様性(ダイバーシティ)を認め合える社会の実現に繋がる取組を、多くの人に伝えることができた。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : 徳島国際短編映画祭2017

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/3/3

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : あわぎんホール

■参加者/入場者数 : 6500 人

■事業概要 :

(1)札幌国際短編映画祭との連携

11回の開催実績のある札幌国際短編映画祭との連携により、国内外の珠玉の短編映画を集め、約50作品を上映する。

(2)徳島ならではの作品上映

徳島を舞台に撮影した地域の魅力を問いかける短編作品を制作・上映するとともに、県内市町村の伝統文化やスポーツ、地域の暮らしを紹介した動画作品を上映する。

(2)トークライブ・ワークショップの開催

県内外のクリエイターによるトークライブやワークショップを開催し、クリエイティブ人材の育成や交流の場の創出を図る。

■本アクションの成果 :

国内外の作品や徳島を舞台にした作品など様々な短編映画の上映、県内外のクリエイターによるトークショーやワークショップの実施など、本格的な短編映画祭の開催を通じ、徳島を「創造の気づきの場」としてPRするとともに、クリエイティブ人材の育成や交流の場の創出を図ることができた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 2016 年度特別演奏会 第 11 回フレッシュ・コンサート

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/4

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川県立音楽堂

■参加者/入場者数 : 577 人

■事業概要 :

次世代を担うと期待される神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を広く県民に紹介し、オーケストラとの共演を通じてその才能の一層の育成を図る。

■本アクションの成果 :

神奈川県ゆかりの才能ある若手奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的のもと、当コンサートを開催し、出演した青島周平氏、高木凜々子氏共に、終始引き込まれる圧巻の演奏で、会場を魅了した。

このことにより、次世代を担う後継者の育成を支援することができた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 第36回府中市コミュニティ文化祭

■組織・団体名 : 東京都府中市

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 府中の森芸術劇場

■参加者/入場者数 : 4030 人

■事業概要 :

本文化祭は展示部門と発表部門に分かれ実施する。プロの出演は不可とし、両部門アマチュアのための参加。

(展示部門)

日頃の活動で作成している作品を展示する。展示ジャンルは次のとおり。

書道・ペン習字・短歌・俳句・水彩画・布絵・七宝焼き・手編み・洋裁・籐編み・木彫り・パッチワーク・生け花・組紐・手芸・歴史研究・食育・陶芸

(発表部門)

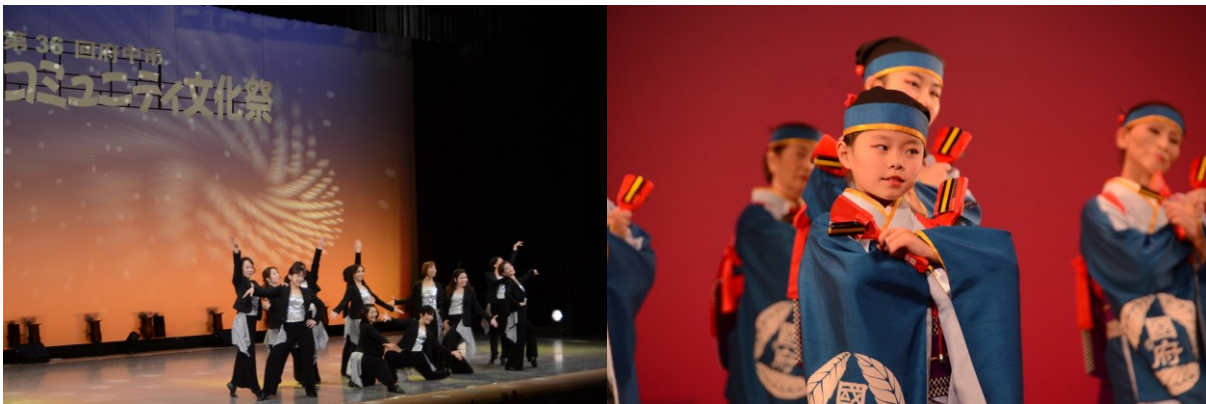
日頃活動している成果を発表する。発表ジャンルは次のとおり。

大正琴・太極拳等・コーラス・詩吟・民謡・舞踊類・邦楽・よさこい・手話歌・手話ダンス・カラオケ・ダンス類・ハーモニカ・体操・銭太鼓

■本アクションの成果 :

府中市立文化センターを拠点に活動する自主グループ(社会教育関係団体)の会員が、日頃の活動の成果を広く市民に展示、発表し相互のふれあいや交流を深めるとともに、市民文化の向上を図ることを目的としており、今年度も盛大に開催することができた。特に今回は若年層の団体が2団体増え、世代間交流に繋がったとともに文化の継承にも貢献できたと感じている。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : ラスベガス歌舞伎「KABUKI LION 獅子王」凱旋イベント in 熊本

■組織・団体名 : 日本電信電話株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/12

■開催場所都道府県 : 熊本県

■会場名 : 熊本県庁

■参加者/入場者数 : 4500 人

■事業概要 :

(1)最新技術を用いた歌舞伎の新しい表現の提案

NTT が研究開発を進める、あたかもその場にいるかのような体験をあらゆる場所で感じることができる世界を目指すイマーシブテレプレゼンス技術「Kirari!」を用いて、「KABUKILION 獅子王」を題材に、あたかも俳優が目の前にいるかのような映像・音響演出による新たな歌舞伎視聴実験を行う。

(2)市川染五郎丈によるトークイベントの実施

「KABUKI LION 獅子王」に出演した市川染五郎丈を会場に招き、今後の歌舞伎への意気込み、歌舞伎×ICT への期待、熊本復興支援に関するトークイベントを実施。

(3)インタラクティブ展示「変身歌舞伎」展示

歌舞伎独特の化粧法である隈取と、NTT の研究所の AR 技術を組み合わせ、“文化と技術”が織りなす不思議な世界観を体験頂くことが可能なコンテナ型展示「変身歌舞伎」の体験イベントを実施。

(4)「変身歌舞伎」の熊本県内巡業

コンテナ型展示の特徴を活かし、被災地を中心とした熊本県内 3 箇所での展示を行う。

■本アクションの成果 :

熊本地震からの創作的復興を目指す熊本県民の皆様へ、早期復興を祈願し、本アクションを通じて、県内4箇所で歌舞伎×ICT の取り組みを披露した。その結果、元気づけられたというたくさんの感謝の声を頂くとともに、まるで眼の前で演じているかのような技術・表現のレベルへの賞賛も多く頂いた。また、普段歌舞伎をご覧になれない地方の方や近年急増するインバウンドの方に対し、歌舞伎と ICT との融合が歌舞伎の魅力を身近に感じてもらえるツールとして、ビジネス的な可能性も含めて大いに有望であることを確認した。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：府中市平和都市宣言30周年記念 平和の灯のともるコンサート

■組織・団体名：東京都府中市

■実施期間(開始)：2017/3/4

■実施期間(終了)：2017/3/4

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：府中の森芸術劇場

■参加者/入場者数：878人

■事業概要：

(1)市民団体の演奏披露

府中市民交響楽団によるオーケストラの演奏及び、武蔵国府 國府睦會による太鼓の演奏

(2)福岡県八女市にともしつづけている「平和の火」の採火

広島県に投下された原爆の残り火を当時の方が福岡県八女市に持ちかえたものが「平和の火」として現在まで大切に守り、灯されてきたものを採火し、本事業のメインイベントとして点灯セレモニーを行う。

(3)ゲストによる朗読

文学座に所属する女優・寺田路恵さんによる語りと朗読。

■本アクションの成果：

企画・運営共に市民団体と協働実施したことにより、多様なアイデアを取り入れることができた。

また、音楽や朗読など身近なツールを通して、平和の尊さや大切さについて考える良いきっかけとなったと考える。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 平成 28 年度アール・ブリュットの魅力を伝えるトークイベント事業「ワンダーランドへの招待」

■組織・団体名 : 滋賀県

■実施期間(開始) : 2017/3/4

■実施期間(終了) : 2017/3/4

■開催場所都道府県 : 滋賀県

■会場名 : 甲賀市あいこうか市民ホール

■参加者/入場者数 : 615 人

■事業概要 :

日本の障害者芸術は今後東京 2020 大会をピークに、世界の中での先進地域となるため、また国内の活動を更に充実させるために一般社会に周知し活性化と理解の振興を図らなければならない。当日はやまなみ工房の作品を会場内に展示し、滋賀県が推進するアールブリュットの魅力発信と新生美術館への理解推進を図る。

■本アクションの成果 :

今回のトークイベントで滋賀県が推進するアール・ブリュットの魅力発信と新生美術館の周知を図ることができ、2020 年の東京オリンピックに向けてアール・ブリュットをひろく社会に周知していくための足がかりとすることができた。当日は 50 名を超えるボランティアスタッフを配置し、アール・ブリュット作家本人にも登壇いただくなど、多様な参加に向けた工夫もできたと言える。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : かながわの地芝居 2017

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/3/5

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川県立青少年センター

■参加者/入場者数 : 765 人

■事業概要 :

(1)県内で継承されている伝統芸能の中で、農村舞台や神楽殿といった舞台上で演じられた人形芝居や里神楽などの演目)

(出演・演目)乙女文楽(神奈川県川崎市):「二人三番叟」

(2)観客向けの歌舞伎の楽しみ方や義太夫節のレクチャー等

(出演)未定

(3)県内の地芝居5団体のうち1団体(子ども歌舞伎)

(出演・演目)和泉小学校“和泉っ子歌舞伎”(神奈川県横浜市泉区):「白浪五人男―稲瀬川勢揃いの場」

(4)県内5団体のうち、1団体(時代物)

(出演・演目)大谷歌舞伎会(神奈川県海老名市):松羽目舞踊劇「身替座禅」

■本アクションの成果 :

神奈川県の地域の伝統芸能である「地芝居」を継承する団体等の活動成果を発表する機会を提供し、地域の伝統芸能の持つ魅力を青少年はじめ広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への機運を醸成するとともに、次世代を担う後継者の育成を支援することができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：親子で作る型染め鯉のぼり・なんだろう！このアート展

■組織・団体名：町田市役所

■実施期間(開始)：2017/3/10

■実施期間(終了)：2017/3/27

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：和光大学ポプリホール鶴川

■参加者/入場者数：25469人

■事業概要：

(1)親子向け鯉のぼりづくりワークショップ

・藍などの天然染料を使った作品製作を行っている福祉施設の指導で、「型染め」の技術を学ぶ(3月18日)

(2)障がい者アート作品の展覧会

・文化プログラムリーディングプログラム「TURN」に参加している上記施設で制作された絵画等の展示(3月7日～29日)

■本アクションの成果：

鯉のぼりのワークショップは、導入で鯉のぼりに関するクイズを行い、型染めの体験だけでなく、親子で楽しく、風習にこめられた意味などを知る機会をつくることができた。なんだろう！このアート展は、独特な色使いや世界観で描かれた、障がい者による絵画作品を展示し、豊かな芸術表現に触れる機会となった。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 有賀宣美個展 歓び∞太陽のココロ

■組織・団体名 : 岐阜県

■実施期間(開始) : 2017/3/20

■実施期間(終了) : 2017/4/16

■開催場所都道府県 : 岐阜県

■会場名 : ぎふ清流文化プラザ「文化芸術県民ギャラリー」

■参加者/入場者数 : 630 人

■事業概要 :

岐阜県では、障がいのあるなしに関わらず、ともに新たな創造活動を行う「tomoni プロジェクト」を展開している。本事業は、東京 2020 大会に向け障がい者文化芸術活動を通じた社会参画への機運醸成を図るため、障がいがありながらも創作活動続ける有賀宣美氏の絵画を中心とした個展を開催するもの。

■本アクションの成果 :

- ①障がい者がありながらも様々な分野で創作活動続ける有賀宣美氏の絵画を展示することで、障がい者芸術の魅力を発信した。
- ②障がいのあるなしに関わらず、ともに文化芸術活動を行う「tomoni プロジェクト」の一環として開催することで、障がい者芸術による社会参画への機運醸成を図った。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 港区国際力強化推進会議

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2017/3/23

■実施期間(終了) : 2017/3/23

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国際文化会館

■参加者/入場者数 : 30 人

■事業概要 :

多くの外国人住民が暮らし、大使館や外国系企業の立地、国際交流団体等が活躍する等、区内には国際化に関する資源が集積しています。資源を十分に活かし、成熟した国際都市・港区の実現を目指して、地域社会に軸足を置きつつ国際社会を舞台に世界で活躍してきた経験を持つ方々にグローバルな視点で意見等をもらう会議です。

■本アクションの成果 :

国際社会を舞台に世界で活躍してきた経験をお持ちの方々に、グローバルな視点でご意見等をいただきました。日本語学習、平和や国際文化交流についての取組、企業・大学・大使館等との連携や医療、教育のことなど、様々な分野について活発なご意見等が出されました。

区として、今後取り組んでいくべき事項については港区基本計画や港区国際化推進プランに反映するなど、取組を推進します。また、法整備や規制緩和などの事項については国、東京都へ要請を行い、民間事業者が中心となって取り組む事項については協力を要請するなど、「成熟した国際都市・港区」の実現に向けて取組を進めます。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム「芝能 ～日本の雅、東京から世界へ～」

■組織・団体名：公益財団法人東京都歴史文化財団

■実施期間(開始)：2017/3/24

■実施期間(終了)：2017/3/25

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：東京都庭園美術館内庭園(屋外)及びギャラリー2 ※雨天時の会場変更については公演前日までに公式サイトにて発表

■参加者/入場者数：539 人

■事業概要：

外国人旅行者等が、日本の本格的な伝統文化・芸能について、より深く理解できるよう体験と鑑賞を組み合わせた公演。東京都庭園美術館の屋外庭園での能楽公演に加え、面・装束や楽器などに触れる体験プログラムも実施し、伝統芸能に馴染みのない外国人の方々にも能楽を堪能していただく。

■本アクションの成果：

東京都庭園美術館の屋外庭園で、外国人に向けた能楽公演を実施した。通常の能公演とは違い、屋外に舞台を設置し、季節に合わせた人気演目を上演する公演プログラムに加え、面・装束や楽器などに触れる体験プログラムも実施することにより、外国人に日本の季節を肌で感じていただきながら伝統芸能を鑑賞・体験いただける希少な機会を提供した。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 野外演劇「常陸坊海尊」

■組織・団体名 : 神奈川県

■実施期間(開始) : 2017/3/25

■実施期間(終了) : 2017/3/26

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 相州藤沢 白旗神社

■参加者/入場者数 : 202 人

■事業概要 :

文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出し、舞台芸術人材の育成及び神奈川県発の魅力的なコンテンツ創出を目的として、舞台芸術におけるユニークベニューともいえる空間を活用した、県内の大学生による野外演劇を開催します。

■本アクションの成果 :

ユニークベニューといえる寺社仏閣を活用し、地域の伝承を題材とした、所縁ある作品を、県内の学生たちが野外演劇として上演したことにより、舞台芸術人材の育成及び神奈川県発の魅力的なコンテンツを創出し、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくりだすことができました。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 千葉県少年少女オーケストラ第 21 回定期演奏会

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2017/3/26

■実施期間(終了) : 2017/3/26

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : 千葉県文化会館

■参加者/入場者数 : 1628 人

■事業概要 :

入場:全席指定 1,000 円

(出演)

指揮者:井上道義、トランペット:フランシスコ・フローレス、管弦楽:千葉県少年少女オーケストラ、音楽監督:佐治薫子

(曲目)

ベートーベン／交響曲第4番 変ロ長調 Op.60、アルチュニアン／トランペット協奏曲変イ長調、ファリャ／バレエ組曲「三角帽子」より

■本アクションの成果 :

千葉県少年少女オーケストラの1年間の活動の集大成として、活動拠点となっている千葉県文化会館において開催したこの定期演奏会は、当日来場していただいた方々とテレビ・ラジオ放送を通じて鑑賞していただいた方々などに、その活動の成果として発信することができた。また、日本を代表する指揮者井上道義氏、南米ベネズエラで始まった音楽教育システム「エル・システム」出身のトランペット奏者パーチョ・フローレス氏と共演できたことは、千葉県少年少女オーケストラの団員たちの音楽活動においてかけがえのない貴重な経験となった。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 港区役所議場コンサート

■組織・団体名 : 港区

■実施期間(開始) : 2017/3/28

■実施期間(終了) : 2017/3/28

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 港区議会議場

■参加者/入場者数 : 120 人

■事業概要 :

港区議会の議場を会場として、音楽コンサートを開催する。普段コンサートホールなどにもあまり足を運ばない親子から高齢者までの幅広い層の皆さんに気軽に生の音楽に触れてもらう。また、議場の議員席や傍聴席を客席として開放する。

プログラム: 港区の音楽団体による男声合唱

■本アクションの成果 :

どなたでも気軽に音楽にふれられるよう、議場のドアを開放してコンサートを実施した。

今回は「お花」と「合唱」のコラボレーションコンサートを行い、美しいお花を見ながら懐かしい歌を聴いたり、出演者と一緒に歌を歌っていただく参加型のプログラムも取り入れ、より音楽に親しめる事業を行うことができた。

■写真 :



■分野：文化

■アクション名：地歌舞伎推進プログラム「清流の国ぎふ 春の地歌舞伎公演 2017」

■組織・団体名：岐阜県

■実施期間(開始)：2017/4/8

■実施期間(終了)：2017/4/8

■開催場所都道府県：岐阜県

■会場名：ぎふ清流文化プラザ

■参加者/入場者数：480 人

■事業概要：

(1)地歌舞伎公演

岐阜県が誇る伝統文化である地歌舞伎の公演を開催することで、地域文化の活性化及び発信を行う。

(2)地歌舞伎振興企画

地歌舞伎に関する展示などにより、地歌舞伎に関する知識習得を通して伝統文化の振興を図る。

(3)観光 PR ホールホワイエにて出演団体の地元市町観光 PR を行い、地域の活力に資する。

■本アクションの成果：

①岐阜県が誇る地歌舞伎公演を開催し、多くの来場者に地域文化の魅力を発信した。

②地歌舞伎襖絵、まねきの展示や、おひねり解説資料などを設置し、地歌舞伎に関する興味の醸成、知識習得を通して伝統文化の振興を図った。

③ホールホワイエにて地元市の観光 PR や特産品販売を行い、地域の活力向上に資した。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 百万石まちなかめぐり さくら 2017

■組織・団体名 : 石川県

■実施期間(開始) : 2017/4/8

■実施期間(終了) : 2017/4/9

■開催場所都道府県 : 石川県

■会場名 : しいのき迎賓館・しいのき緑地、いしかわ四高記念公園、本多の森公園 など

■参加者/入場者数 : 34000 人

■事業概要 :

本事業は、しいのき迎賓館を中心とした都心部の魅力向上や賑わいづくりを目的に、春と秋にイベントを開催しており、来年度は、増加する観光客や外国人来場者に対して、石川が誇る歴史・伝統・文化を発信し、さらに体感していただくため、ワークショップによる多彩な伝統工芸・文化体験を取り入れていく。

■本アクションの成果 :

イベント当日は、輪島塗沈金体験等のワークショップや、山中温泉芸妓(げいぎ)連による、「山中節」の演奏等を行い、観光客や外国人来場者に対して、石川が誇る歴史・伝統・文化を発信した。会場であるしいのき迎賓には、外国語対応のできるコンシェルジュを配置し、屋外には「まちなかめぐり さくら」ボランティア通訳ガイドのブースを設け、外国人対応に取り組んだ。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 「2020 年の東京へ」～オリンピックとパラリンピックを語る～

■組織・団体名 : 株式会社 読売新聞東京本社

■実施期間(開始) : 2017/4/15

■実施期間(終了) : 2017/5/20

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 読売新聞東京本社 3 階新聞教室 ほか

■参加者/入場者数 : 80 人

■事業概要 :

1 回目:「オリンピックのいま」2017 年 4 月 15 日(土)14 時から

リオ大会で強烈な印象を残した選手たちの人間ドラマや大会を覆ったドーピング問題、組織運営問題など、オリンピックのいまをベテラン記者が伝える。

2 回目:「パラリンピックの真実」2017 年 5 月 20 日(土)14 時から

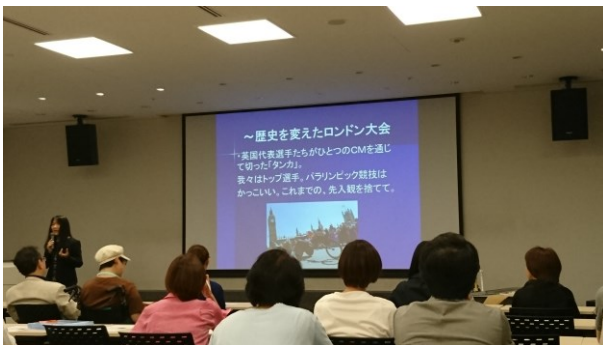
ロンドン、リオのパラリンピックを題材に、パラリンピック大会が訴える問いかけを実例に即して考える。東京大会は私たちの考え方や見方をどう変えるだろうか。

(参加料)1,500 円程度

■本アクションの成果 :

夏冬合わせて 12 大会の取材を体験している弊社 結城和香子編集委員を講師に、「オリンピックのいま」「パラリンピックの真実」をテーマに 2 回開催しました。リオ五輪での人間ドラマ、パラリンピックの現状、レガシーで成功したと言われているロンドン五輪を例に「スポーツと五輪の生かし方」などを紹介し、参加者が東京 2020 へ向けて「私たちにもできること」を認識させた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : ぎふ清流文化プラザ「tomoni プロジェクト(2017 年 4 月)」

■組織・団体名 : 岐阜県

■実施期間(開始) : 2017/4/16

■実施期間(終了) : 2017/6/7

■開催場所都道府県 : 岐阜県

■会場名 : ぎふ清流文化プラザ

■参加者/入場者数 : 1362 人

■事業概要 :

岐阜県では、障がいのあるなしに関わらず、ともに新たな創造活動を行う「tomoni プロジェクト」を展開している。本事業は、2020 年に向け障がい者の文化芸術活動を通じた社会参画の推進を図るため、障がい者による舞台公演、舞台芸術鑑賞会、芸術企画展を開催し、共生社会の実現を目指すものである。

■本アクションの成果 :

障がいのある個人や団体が出演する舞台公演、障がい者のための舞台芸術鑑賞会、障がい者芸術企画展の開催により、音楽や演劇、絵画、造形など、様々な文化芸術の分野において、障がいのあるなしに関わらず、ともに新たな創造活動を行うことの意義を周知するとともに、東京 2020 大会の目指す共生社会の実現へ向け、機運醸成を図った。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 春季特別展「北前船と日本海海運」

■組織・団体名 : 石川県

■実施期間(開始) : 2017/4/22

■実施期間(終了) : 2017/5/28

■開催場所都道府県 : 石川県

■会場名 : いしかわ赤レンガミュージアム 石川県立歴史博物館

■参加者/入場者数 : 7176 人

■事業概要 :

江戸時代、海の物流の大動脈の主役であった「北前船」や「地回り船」の活動のほか、当時の物流システムを構築し、地域経済に貢献した「廻船問屋」の活躍を紹介。

■本アクションの成果 :

展覧会開催期間中には、7千人を超える方々にご来場いただき、船の模型や船大工の工具等の展示の他、関連行事として開催したワークショップやセミナー、講演会等を通し、幅広い年代の方に江戸時代の物流を支えた北前船の歴史を伝えることができた。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : よみがえった文化財 -未来につなぐ文化財保存と修復のわざ-

■組織・団体名 : 石川県

■実施期間(開始) : 2017/4/22

■実施期間(終了) : 2017/5/28

■開催場所都道府県 : 石川県

■会場名 : 石川県立美術館

■参加者/入場者数 : 2416 人

■事業概要 :

石川県文化財保存修復工房の設立20周年を記念した企画展で、これまで工房で修復した作品や、加賀藩の保存修復に関する作品・資料を展示するほか、修復作業のワークショップも実施。

■本アクションの成果 :

企画展開催期間中は2千人を超える方にご来場いただき、石川県の豊かな文化風土を見直すとともに、文化財を次世代に伝えていく重要性和、奥深い文化財修復の実際を知っていただくことができた。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : 京都文化カプロジェクト推進フォーラム

■組織・団体名 : 京都府

■実施期間(開始) : 2017/4/26

■実施期間(終了) : 2017/4/26

■開催場所都道府県 : 京都府

■会場名 : ロームシアター京都サウスホール

■参加者/入場者数 : 700 人

■事業概要 :

(1)狂言

日本の古典芸能であり、京都を拠点に活動する狂言大蔵流・茂山家の「狂言」を体感することにより、日本の文化について再認識する機会とする。

(2)リレー対談

京都文化カプロジェクト実行委員会・総合監修者である京都大学山極総長と、著名人との対談により京都文化について考える機会とする。

(3)記念トーク

京都出身の近藤正臣氏を迎え、京都文化の魅力や意見を伺い、国内外への発信等についてのヒントとする。

■本アクションの成果 :

京都文化カプロジェクト実行委員会・総合監修者である京都大学山極総長と著名人との対談や狂言鑑賞、障害者文化芸術の作品展示を行うことによって、京都が持つ文化芸術の豊富な資源やその力を再確認した。また、2020 年に向けた文化の課題や活用に対する意識の向上につながった。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭

■組織・団体名 : 石川県

■実施期間(開始) : 2017/4/28

■実施期間(終了) : 2017/5/5

■開催場所都道府県 : 石川県

■会場名 : 石川県立音楽堂

■参加者/入場者数 : 111840 人

■事業概要 :

(1)世界的な作曲家などをテーマにした本格的なクラシックコンサート

オーケストラ・アンサンブル金沢に加え、ドイツや台湾の一流オーケストラなどによるベートーヴェンの全曲演奏(ベートーヴェン・チクルス) など

(2)伝統芸能「邦楽」の新たな魅力の発見

石川が誇る伝統芸能である素囃子のほか、雅楽や横笛・箏合奏団とクラシックのコラボレーション など

(3)県民が楽しみながら気軽に親しめるクラシックコンサート

北陸3県から参加者を募集する合唱団と観客が一体となって第九「歓びの歌」を合唱するコンサート など

(4)石川が育んだ若手音楽家たちの共演

いしかわミュージックアカデミー出身者などの国内外で活躍する若手音楽家によるコンサート など

(5)地元演奏家や子どもたちとともに、みんなで楽しむ参加型プログラム

地元吹奏楽団やオーディションで選抜した地元演奏家による県民参加型プログラム など

■本アクションの成果 :

オーケストラ・アンサンブル金沢のほか、藩政期から受け継いできた伝統芸能である邦楽や若手音楽家による公演、県民参加型のコンサートなど、本県の独自性を前面に打ち出した多彩で魅力的なプログラムを提供し、交流人口の拡大を図るとともに、石川の音楽文化を国内外に発信することで、日本文化の再認識と継承・発展、次世代の育成と新たな文化芸術の創造を図ることができた。

■写真 :

■分野 : 文化

■アクション名 : 文化の森 こどもの日フェスティバル

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/5/5

■実施期間(終了) : 2017/5/5

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 徳島県文化の森総合公園

■参加者/入場者数 : 16981 人

■事業概要 :

徳島県文化の森総合公園は、6つの施設(図書館、博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館)と公園エリアからなる、全国でも珍しい文化公園である。その特性を生かし、楽しみながら文化に一層親しんでもらうことができるよう、6館それぞれが趣向を凝らしたイベントを一度に開催する。

■本アクションの成果 :

文化の森総合公園内の各文化施設が、趣向を凝らした多彩なイベントを開催することにより、子育て世代をはじめ幅広い世代の多様な人々が、文化施設に来館する契機となった。また、当事業をきっかけに、楽しみながら自然・歴史・芸術など様々な文化に触れることで、入場者が文化をより身近に感じることができ、文化に対する意識の向上が一層図られた。

■写真 :



	文化の森	図書館	博物館	鳥居龍蔵記念博物館	近代美術館	文書館	21世紀館
9:30							
10:00							
10:30							
11:00							
11:30							
12:00							
12:30							
13:00							
13:30							
14:00							
14:30							
15:00							
15:30							
16:00							
タイムテーブル	9:30～16:00 (受付 15:30 まで) この日のおはなし会 14:00～15:00 9:30～16:00 (受付 15:30 まで) この日のおはなし会						

■分野：文化

■アクション名：毎日新聞オリンピック・パラリンピック報道写真展『躍動する身体 歓喜の瞬間 ― その感動が東京へ』

■組織・団体名：(株)毎日新聞社

■実施期間(開始)：2017/5/10

■実施期間(終了)：2017/5/20

■開催場所都道府県：北海道

■会場名：「写真の町」東川町文化ギャラリー

■参加者/入場者数：358人

■事業概要：

(1)2016年までのオリンピック・パラリンピック報道写真の展示することで、東京2020大会への機運を醸成していく。

(2)新聞での報道紙面等をパネル等で展示し、過去のオリンピック・パラリンピックを振り返ってもらう。

■本アクションの成果：

「写真甲子園」を1994年から開催している北海道「写真の町」東川町で、リオデジャネイロでの躍動と歓喜、感動を写真を通じて地元住民らに伝えることができた。JOC、JPCの後援を得たこともあり、東京2020大会の競技会場ではない地域であるにもかかわらず、隣接する東神楽町の町長や、オリンピック選手を多数輩出している北海道北部・名寄地区の中核である名寄市の市長も写真展の視察に訪れるなど、2018年平昌冬季大会を前にして、とりわけ冬の競技に関心の高い道民の広い層への機運醸成につなげることができた。

■写真：



■分野 : 文化

■アクション名 : 池田 JAZZ 横丁 2017

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/5/20

■実施期間(終了) : 2017/5/20

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 阿波池田駅周辺 4 カ所

■参加者/入場者数 : 600 人

■事業概要 :

その昔たばこ産業で栄えた池田だが、現在はそれらの産業も衰退し、当時の街並み保存等が課題となっている。そこで地元商工会と協力し、あわ三大音楽のひとつである JAZZ を用いて街中活性化を図る。

■本アクションの成果 :

池田の町に残る古い建物での JAZZLive は、雰囲気も良く、どこの会場も盛況でした。

地元の皆様だけでなく、近隣の地域や、徳島市内からのお客様もあり、JAZZ だけでなく地酒やスイーツ、街並みの散策なども楽しんでいただけました。

外国からのお客様にも案内するスタッフの話とともに、イベントを楽しんでいただけたようです。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 第83回渋谷区芸能文化連盟公演

■組織・団体名 : 渋谷区

■実施期間(開始) : 2017/5/21

■実施期間(終了) : 2017/5/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : リフレッシュ氷川

■参加者/入場者数 : 160 人

■事業概要 :

渋谷区芸能文化連盟による日本舞踊等の公演。年に一度の開催で、平成29年度で83回目を迎える。公演の実施により、会員の日頃の成果を発表するとともに、東京 2020 大会の開催を契機に伝統芸能の更なる普及振興を図り、次世代へ継承させることを目指す。

■本アクションの成果 :

公演の実施により、会員の日頃の成果を発表するとともに、東京 2020 大会の開催を契機に伝統芸能の更なる普及振興を図り、次世代へ継承させる取組となった。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : ぎふ清流文化プラザ「清流の国ぎふ ともに演芸会」

■組織・団体名 : 岐阜県

■実施期間(開始) : 2017/6/10

■実施期間(終了) : 2017/6/10

■開催場所都道府県 : 岐阜県

■会場名 : ぎふ清流文化プラザ

■参加者/入場者数 : 422 人

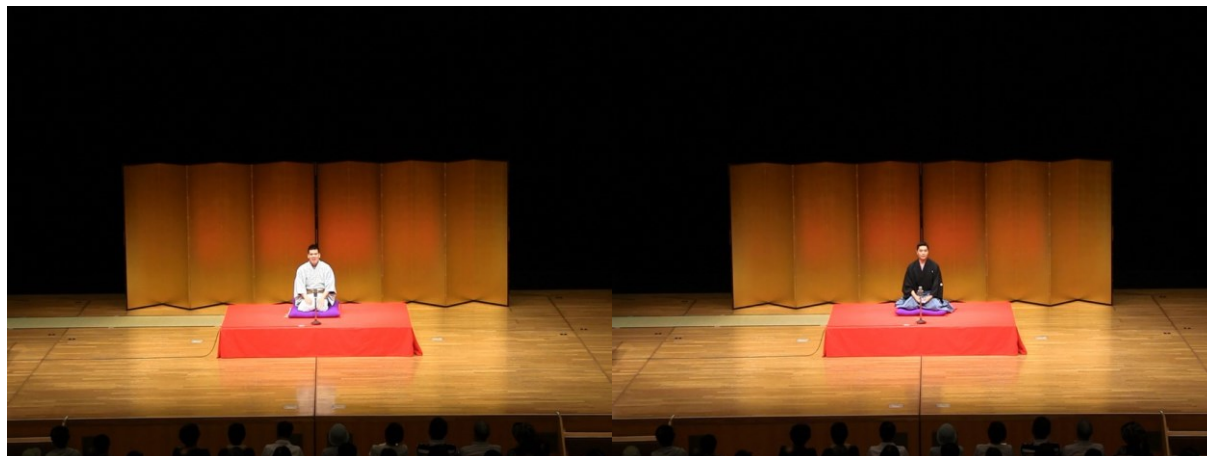
■事業概要 :

岐阜県では、障がいのあるなしに関わらず、ともに新たな創造活動を行う「tomoni プロジェクト」を展開している。本事業では、2020 年に向け、障がいがありながらも意欲的に活動する落語家が出演する演芸会を開催し、障がい者の文化芸術活動を通じた社会参画の推進を図る。

■本アクションの成果 :

- ①障がいがありながらも活動を続ける落語家の出演により、障がい者文化芸術の魅力を発信。
- ②障がいのあるなしに関わらず、ともに文化芸術活動を行う「tomoni プロジェクト」の一環として開催することで、障がい者文化芸術による社会参画への機運醸成を図った。

■写真 :



■分野 : 文化

■アクション名 : 琵琶湖周航の歌 100 周年記念式典

■組織・団体名 : 滋賀県

■実施期間(開始) : 2017/6/24

■実施期間(終了) : 2017/6/24

■開催場所都道府県 : 滋賀県

■会場名 : 高島市民会館、琵琶湖汽船ビアンカ

■参加者/入場者数 : 900 人

■事業概要 :

日時:6 月 24 日(土)13:00~17:15

会場:第 1 部(高島市民会館)

第 2 部(琵琶湖汽船ビアンカ船内)

内容:

【第 1 部】13:00~14:45

プログラム(案):

13:00 開会 主催者あいさつ、来賓あいさつ

13:15 来賓紹介

13:20 琵琶湖周航の歌原曲「ひつじ草」合唱

13:30 講演「琵琶湖の自然と文化を詠む」(講師:篠原徹琵琶湖博物館館長)

14:00 講演「歌い継がれる琵琶湖周航の歌(仮)」(講師:飯田忠義氏)

14:30 参加者全員による琵琶湖周航の歌合唱(びわ湖ホール声楽アンサンブル&湖西合唱連盟&参加者全員)

14:45 閉会

【第 2 部】15:15~17:15

プログラム(案):

15:15 出航

15:20 開会 船内ミニコンサート(～Lefa～)

15:50 鼎談「琵琶湖を楽しむスポーツのススメ(仮)」 出演者(調整中)

スポーツを始めたきっかけ、各競技の魅力、琵琶湖への想いなどを語っていただく。

16:40 休憩(自由に船内を見学いただく)

17:00 参加者全員による琵琶湖周航の歌合唱

17:15 下船

～航行中随時開催プログラム～

琵琶湖博物館・近代美術館学芸員によるワークショップ <随時参加可能>

■本アクションの成果 :

「琵琶湖周航の歌 100 周年記念式典」では、湖上から見た県内各地の情景が歌いこまれた滋賀県を象徴する「琵琶湖周航の歌」が誕生100周年をむかえるにあたり、県民をはじめ多くの方々に「琵琶湖周航の歌やその情景の魅力を感じていただくことで、滋賀文化の魅力を県内外に広く発信した。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020

■組織・団体名 : 三井不動産株式会社

■実施期間(開始) : 2016/4/13

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 日本橋

■参加者/入場者数 : 902 人

■事業概要 :

【名称】三井不動産スポーツアカデミー for Tokyo 2020

【会場】当社が街づくりを進めるエリアの小中学校、加えて当社が運営する全国の商業施設

【開催期間】2016 年 4 月 13 日～2020 年 12 月 31 日

【実施体制】

主催:三井不動産株式会社

協力:公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

後援:公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会(JPC)

東京都、開催される地区の行政

特別協賛:三井不動産レジデンシャル

【内容】

オリンピック、パラリンピアンによるスポーツ教室

■本アクションの成果 :

- ①スポーツの力を活用した街づくりを推進することができた
- ②スポーツが暮らしに広く浸透し、体を動かす楽しさやコミュニティ作りのきっかけを提供できた
- ③東京2020ゴールド街づくりパートナーとして、2020年に向けた気運を醸成することができた

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 基調講演「スポーツの無限の力～オリンピックがつなぐ人、夢、希望～」

■組織・団体名 : 埼玉県朝霞市役所

■実施期間(開始) : 2016/11/11

■実施期間(終了) : 2016/11/11

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : ゆめぱれす(朝霞市民会館)

■参加者/入場者数 : 615 人

■事業概要 :

サッカー日本女子代表前監督で、朝霞市と教育連携に関する協定を結んでいる十文字大学副学長の佐々木則夫氏を講師に招き、講演会を開催する。

■本アクションの成果 :

オリンピックの裏舞台やスポーツを通じた人との係り方などをお話しいただいたことで、会場全体が2020年への期待で満ち溢れていた。来場者アンケートには、「感動の舞台が東京にくることが楽しみになった」、「講演会を聞いて夢が膨らんだ」等の感想が多数寄せられ、会場関係自治体として他機関及び市民とも連携を深める機会となった。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 文京スポーツボランティア特別講座(文京スポーツボランティア養成講座)

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2016/12/5

■実施期間(終了) : 2016/12/19

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京区内

■参加者/入場者数 : 130 人

■事業概要 :

スポーツボランティア養成講座全 7 回のうち、オリンピック・パラリンピックの気運醸成に係る 3 講座を特別講座として実施。

(内容)

(1)5 日:文京区におけるオリンピック・パラリンピックへの取り組み(仮)

スポーツボランティアとして区の気運醸成事業等への関わり方や、ボランティアとして求められるスキルについて学習する。

(2)14 日:障害者との協働を円滑に行うために(仮)

知的・精神障害者のスポーツボランティアとの協働を成功させるために、必要な知識等を習得する。

(3)19 日:特別講演会(パラリンピアン木村敬一氏による講演会)

リオ大会の話や今後に向けての目標など、パラリンピアン視点での講演を受講する。

■本アクションの成果 :

オリンピック・パラリンピックに向けての現在の取り組みを学習することにより、各種スポーツイベントへの理解を深める事が出来た。

また、障害の有無に関わらず共に活動する第一歩として、障害者ボランティアとの協働によるイベント運営を推進していき、共生社会の実現を担う人材の育成に取り組んだ。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 東京 2020 公認プログラム ちばハートフル・ヒューマンフェスタ 2016

■組織・団体名 : 千葉県

■実施期間(開始) : 2016/12/8

■実施期間(終了) : 2016/12/8

■開催場所都道府県 : 千葉県

■会場名 : 千葉市民会館

■参加者/入場者数 : 952 人

■事業概要 :

①特別講演「可能性への挑戦」～夢をあきらめない～(講師:舞の海秀平)

伝統文化の中で外国人との付き合い方を学び、相手に礼を尽くす仕来たりの下で生きてきた経験を生かした講演により、「他者の人権を尊重する」考え方の契機とする。

②千葉県警察音楽隊によるコンサート

なじみのある曲目を演奏し、参加者にとってより親しみの持てる内容とする。

③千葉県子どもの人権ポスター原画展

同コンテストにおける優秀作品を掲示し、人権尊重思想の次世代への継承に資する。

④千葉ロッテマリーンズ選手一日人権擁護委員任命式

マリーンズグッズが当たる抽選会等を併せて実施し、より効果的な啓発を図る。

■本アクションの成果 :

舞の海秀平氏による講演により、「他者の人権を尊重する」考え方の契機とすることができた。また、千葉県警察音楽隊によるコンサートでは、なじみのある曲目を演奏し、参加者にとってより親しみの持てる内容であったほか、千葉県子どもの人権ポスター原画展では、同コンテストにおける優秀作品を掲示し、人権尊重思想の次世代への継承に資することができた。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : トップアスリートと読書

■組織・団体名 : 和光市

■実施期間(開始) : 2017/1/5

■実施期間(終了) : 2017/1/25

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 和光市図書館下新倉分館(和光市下新倉 5-21-1)

■参加者/入場者数 : 1984 人

■事業概要 :

リオデジャネイロオリンピック出場選手のうち、和光市民及び和光市に関係が深い自衛隊体育学校所属の選手に対し、サイン及び本の紹介を依頼し、それらの展示を行う。

■本アクションの成果 :

市民の皆さん、中でも図書館下新倉分館と建物を複合利用している下新倉小学校の児童達が、地元和光市に縁のあるリオデジャネイロオリンピック出場選手がどんな本を読んで、人生に影響を受け、努力し結果を出しているのかを知ることにより、児童達の輝ける将来に向けて寄与しました。

また、本事業では埼玉県の協力によりリオデジャネイロオリンピックの現地発行パンフレットや、入場券等を展示することが出来たが、来場者の皆さんにも大変好評であったため、次回東京オリンピック・パラリンピックに向けて、おおいに周知することができました。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/1/19

■実施期間(終了) : 2017/1/19

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 国立市立国立第八小学校

■参加者/入場者数 : 40 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

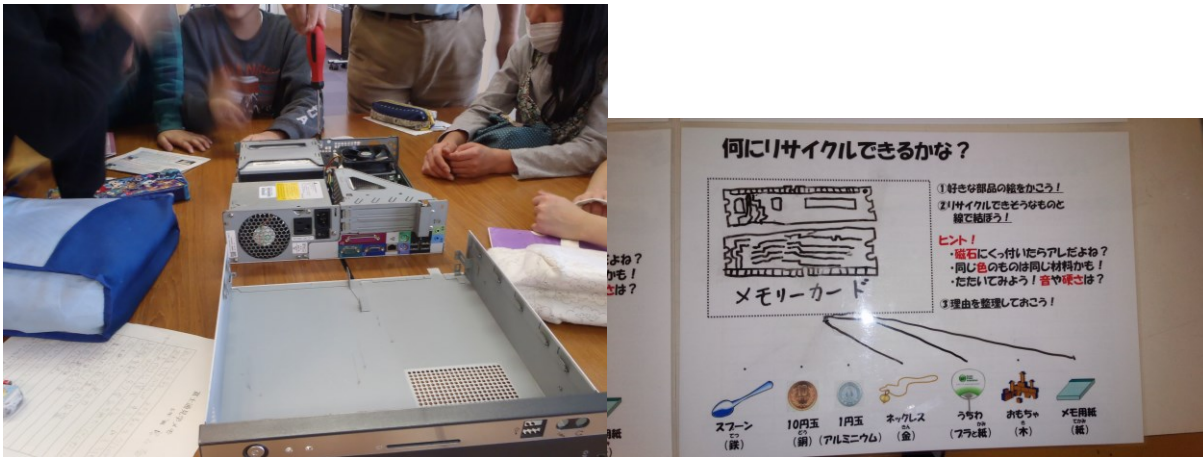
実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : オリンピックとパラリンピックを題材にした教育を考える Teacher's セミナー & 教育フォーラム

■組織・団体名 : パナソニック株式会社

■実施期間(開始) : 2017/1/20

■実施期間(終了) : 2017/1/20

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : パナソニックセンター東京 他

■参加者/入場者数 : 105 人

■事業概要 :

東京 2020 大会開催決定を機に、オリンピックとパラリンピックを題材としたパナソニック独自の教育プログラムを開発し、学校への教材支援活動も開始。また、オリンピック・パラリンピック教育の推進に向け、先生方の授業づくりをさらに支援するため、教材研究や実践ノウハウの横展開を行う Teacher's セミナーや教育フォーラムを展開。そのことを通じ、生きる力を備えた未来への飛躍を実現する人材育成支援に取り組む

■本アクションの成果 :

セミナー全体を通じて、約 98%の参加者が「非常に満足している」「満足している」と回答

新教材を使った授業体験については、参加者の約 98%が「満足している」と回答。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/1/24

■実施期間(終了) : 2017/1/24

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 谷本中学校

■参加者/入場者数 : 17 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記①「将来のシゴトとエコ」を実施、申請致します。

本授業では、環境に配慮した現在の仕事を紹介するだけでなく、将来にわたる問題解決を取り入れた出前授業です。

「将来仕事に就いた後も自分たちにどんな環境活動ができるか？」という長いスパンで環境問題の改善を考えることに重きをおいた授業構成としている。

■本アクションの成果 :

上記授業を通して、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについても考えて貰った。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/1/27

■実施期間(終了) : 2017/1/27

■開催場所都道府県 : 愛知県

■会場名 : 名古屋市立引山小学校

■参加者/入場者数 : 43 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

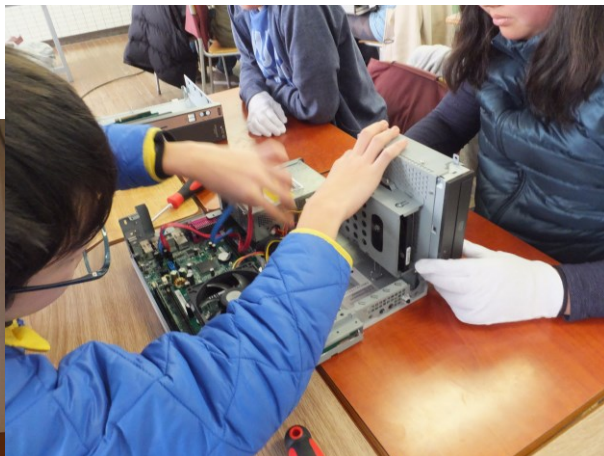
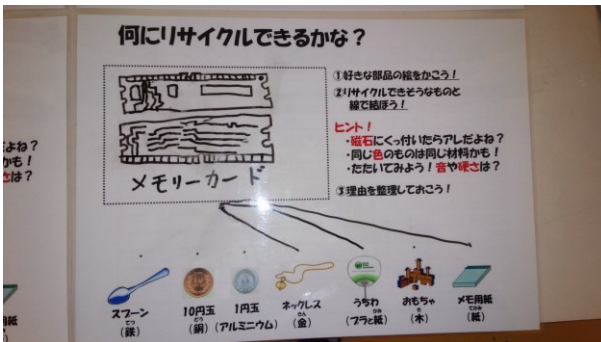
今回、上記②「地球1個分で暮らすために～エコロジカルフットプリントから考える～」を実施、申請致します。

本授業は、地球が直面している深刻化する環境問題をわかりやすく伝え、自分達が今すぐにも出来る身近な取り組みを紹介し、多くの質問や課題を用意し、グループディスカッション形式で一緒に考え、小さな思いやりや行動も、大きい環境活動につながっていく事を学びます。

■本アクションの成果 :

上記授業を通して、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについても考えて貰った。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックと人権・東京都シンポジウム(仮)

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/2/1

■実施期間(終了) : 2017/2/1

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京都庁第一本庁舎五階大会議場

■参加者/入場者数 : 500 人

■事業概要 :

別紙「実施要領」のとおり

■本アクションの成果 :

過去の大会関係者やパラリンピアン等と共に、開催都市に求められる人権レガシーを学び考えるシンポジウムを開催。多様性に関する理解を深める機会を提供するとともに、東京が人権尊重都市であることを世界に向けて PR できた。なお、大会開催の前年度(平成 31 年度)に、再度、シンポジウムを開催予定であるが、次年度は開催予定がなく、2020 年以降についても未定。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 第8回中学生「東京駅伝」大会

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/2/5

■実施期間(終了) : 2017/2/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園

■参加者/入場者数 : 17000 人

■事業概要 :

開催日程

平成 29 年2月5日(日) 女子の部スタート 午前 10 時 男子の部スタート 午後1時

※荒天による警報発令等により実施できないと判断した場合は、中止とし、延期しない。

実施種目

(1) 男子の部(選手数 17 人・補員4人)制限時間3時間以内《距離:42.195 km》第 1 区 2.195 km 第2区～第9区2km 第 10 区～第 17 区 3km

(2) 女子の部(選手数 16 人・補員5人)制限時間2時間以内《距離:30 km》第 1 区～第 10 区 1.5 km 第 11 区～第 16 区 2.5 km

■本アクションの成果 :

①小・中学生、高校生が開閉会式において、オリンピック讃歌を合唱し、オリンピック・パラリンピック大会への機運を醸成した。②高校生ボランティアによる大会運営のサポート、中学生による和太鼓演奏、大学生によるチアリーディング応援など、小学生、中学生、高校生、大学生が連携して、代表選手を応援する機会を創出することができた。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 平成28年度学校文化行事第66回東京都公立学校美術展覧会

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2017/2/9

■実施期間(終了) : 2017/2/14

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京都美術館

■参加者/入場者数 : 90627 人

■事業概要 :

東京都教育委員会が開催する展覧会で、昭和 26 年の第 1 回以来、半世紀をゆうに越える実績を重ねており、本年度で 66 回目を迎える。上野公園内にある東京都美術館で開催され、都内公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、都立高等学校、特別支援学校の教育活動の成果として、児童・生徒の図画工作、家庭、美術、工芸、技術・家庭、書写等の作品が出品される。昨年度の出品作品数は、1 万 3 千点を越え、国内最大規模の作品点数を誇る展覧会である。

■本アクションの成果 :

作品を作成する過程では、チャレンジや努力を尊ぶ態度を身に付け、自信と勇気をもった人材の育成に資することができた。子供らしい豊かな想像力と感受性に溢れた作品を展示することで、文化や社会に関する理解を通じて、日本人としての自覚と誇りをもち、社会で活躍する人材の育成に寄与することができた。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(福岡市立那珂南小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/9

■実施期間(終了) : 2017/2/9

■開催場所都道府県 : 福岡県

■会場名 : 那珂南小学校

■参加者/入場者数 : 86 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにかから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(福岡市立那珂南小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/10

■実施期間(終了) : 2017/2/10

■開催場所都道府県 : 福岡県

■会場名 : 那珂南小学校

■参加者/入場者数 : 86 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(長野市立緑ヶ丘小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/13

■実施期間(終了) : 2017/2/13

■開催場所都道府県 : 長野県

■会場名 : 緑ヶ丘小学校

■参加者/入場者数 : 62 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 障がい者スポーツ体験型校外学習

■組織・団体名 : 東京ガス株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/14

■実施期間(終了) : 2017/2/14

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 新豊洲 Brillia ランニングスタジアム

■参加者/入場者数 : 180 人

■事業概要 :

体験イベント

障がい者スポーツ競技実演 & 体験

競技用義足／アイマスク(目隠し)ラン

交流イベント

東京 2020 大会を目指すパラアスリート(パトライアスロン)との交流(プロフィールの紹介や子供達からの質疑)を通して、パラスポーツを身近に知ってもらい、関心を高めるきっかけとする。

■本アクションの成果 :

参加してもらった小学生に対して、障がい者スポーツの体験や実演、パラアスリートとの交流を実施、障がい者スポーツへの普及・興味喚起ができた。また小学校の総合授業の一環として来場してもらい、障がい者へのサポートや実際の用具を肌で感じてもらうことで、共生社会に対する気づきや理解促進につなげることができた。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(長野市立緑ヶ丘小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/14

■実施期間(終了) : 2017/2/14

■開催場所都道府県 : 長野県

■会場名 : 緑ヶ丘小学校

■参加者/入場者数 : 64 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(川崎国際環境技術展)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/17

■実施期間(終了) : 2017/2/17

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : とどろきアリーナ

■参加者/入場者数 : 29 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(名古屋市立米野小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/2/21

■実施期間(終了) : 2017/2/21

■開催場所都道府県 : 愛知県

■会場名 : 米野小学校

■参加者/入場者数 : 34 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : スポーツ講演会 Talking for the Future 2016

■組織・団体名 : 川越市

■実施期間(開始) : 2017/2/26

■実施期間(終了) : 2017/2/26

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 川越市やまぶき会館

■参加者/入場者数 : 360 人

■事業概要 :

北京オリンピックのメダリストであり、現在はJOCオリンピックふれあいアンバサダーとして、参加者とのふれあいを通してオリンピック・ムーブメントを推進している宮下純一氏を講師に招き、講演会を開催する。

■本アクションの成果 :

東京 2020 大会及びゴルフ競技の開催に向けた機運醸成を図ることができ、市民一人ひとりの大会への参画を促すことができた。

■写真 :



■分野 : 教育

■アクション名 : パラリンピック銀メダリスト 上原大祐氏講演会

■組織・団体名 : 日本電気株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/1

■実施期間(終了) : 2017/3/6

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 港南小学校

■参加者/入場者数 : 300 人

■事業概要 :

バンクーバーパラリンピック アイススレッジホッケー銀メダリストであり、NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 障がい攻略エキスパートでもある上原大祐氏。

この講演を通し、パラリンピックやバリアフリーの知識向上、またそれらを起点としたビジネス拡大や、街づくり構想へのマインドの醸成を図ります。

■本アクションの成果 :

3/1 東京都港区立港南小学校に訪問。4・5 年生を対象に講演会を実施。

3/6 東京都中野区立北原小学校に訪問。全校生徒を対象に講演会、5・6 年生を対象に車椅子

スポーツ体験会を実施。いずれも障がいを持った人々への接し方や夢に向かって挑戦することの大切さについて、パラリンピアンとしての選手時代の経験をふまえながら話をした。

■写真 :

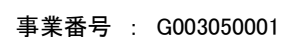
障がいのある人は関係なく夢や挑戦をすることの大切さについて伝える活動に取り組んでいます。



上原 大樹 うさは だいきげ / NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 障がい福祉エキスパート
1981年生。長野県出身。日本代表が障がい（二分片足）を持つ。2006年トリノ大会においてアイススレッジホッケー日本代表に選出。
2019年バンクーバー大会では、準決勝のカナダ戦で決着を二分片足で、雪メダル獲得に貢献。NPO法人「D-SHIP32（ディッシュipsミミ）
<http://dships32.com/>の代表を務め、障がいをもつ子どもとその親のサポートや、障がい者向け商品のアドバイザーなどの活動を行っている。
2016年10月より現職。



© NEC Corporation 1994-2016. All rights reserved.



■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(川崎市立西御幸小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/3

■実施期間(終了) : 2017/3/3

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 西御幸小学校

■参加者/入場者数 : 61 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにかから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(川崎市立大戸小学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/3

■実施期間(終了) : 2017/3/3

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 富士通川崎工場

■参加者/入場者数 : 134 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(神奈川県立神奈川総合学校)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/17

■実施期間(終了) : 2017/3/17

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 神奈川総合学校

■参加者/入場者数 : 49 人

■事業概要 :

ICT 技術による社会貢献の一環として、学校からのリクエストに合わせ以下の各種出前授業を実施しています。

- ①将来のシゴトとエコ ～キャリア教育・環境教育～
- ②地球1個分で暮らすために ～エコロジカルフットプリントから考える～
- ③パソコン(サーバ)分解を通して学ぶ私達の3R
- ④地球環境カードゲーム my Earth で学ぶ地球環境問題

今回、上記③「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。

実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにかから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。

PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(みっきい・エコ・クラブ)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/28

■実施期間(終了) : 2017/3/28

■開催場所都道府県 : 兵庫県

■会場名 : 市民活動センター

■参加者/入場者数 : 22 人

■事業概要 :

「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスが
なにかから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。PC(さーば)だけでなく、なにげなく
使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は 自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地
球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて
考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野 : 教育

■アクション名 : 環境出前授業(リサイクル千歳台)

■組織・団体名 : 富士通株式会社

■実施期間(開始) : 2017/3/30

■実施期間(終了) : 2017/3/30

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : リサイクル千歳台

■参加者/入場者数 : 16 人

■事業概要 :

「パソコン(サーバ)を分解して通して学ぶ私達の3R」を実施します。実際にパソコン(サーバ)を分解しながら、構成している細かなユニットやデバイスがなにかから出来ているか、素材は何かを考えてみる事により、何にリサイクル出来るか、など資源の重要性を学びます。PC(さーば)だけでなく、なにげなく使っているペットボトルや割り箸も、エコバッグ、マイ箸に変える事で、資源を大事に使う事は自分達でも出来る活動だと知ることであり、また未来の地球を守る事につながる、という事を学ぶ授業です。

■本アクションの成果 :

本活動を通し、本環境出前授業が参画プログラムに認定している事をPRし、2020年に自分達が出来るエコ活動、や、ボランティア活動などについて考えて貰う機会を得た。

■写真 :

■分野：教育

■アクション名：インクルーシブデザインワークショップ体験会

■組織・団体名：法政大学

■実施期間(開始)：2017/5/29

■実施期間(終了)：2017/5/29

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：法政大学市ヶ谷キャンパス

■参加者/入場者数：25人

■事業概要：

東京 2020 大会に向け、組織委員会は障がいの有無に関わらず、すべての人々にとってインクルーシブな大会となるような様々な取組みを推進している。本学においてもその取組みを理解し相互の人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に貢献できるようインクルーシブデザインワークショップ体験会を開催をする。

■本アクションの成果：

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会組織委員会は、障がいの有無に関わらず、すべての人々にとってアクセシブルでインクルーシブな大会となるような様々な取組みを推進している。法政大学でもインクルーシブデザインワークショップ体験会を実施することによって、その取組みを理解し、相互の人格と個性を尊重し合う共生社会の実現の重要性を理解することが出来た。

■写真：

■分野 : 教育

■アクション名 : 避難所体験～Save Yourself～

■組織・団体名 : 法政大学

■実施期間(開始) : 2017/6/25

■実施期間(終了) : 2017/6/25

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 法政大学市ヶ谷キャンパス

■参加者/入場者数 : 34 人

■事業概要 :

法政大学ボランティアセンター学生スタッフ「チーム・オレンジ」による企画。

東京を中心とした首都直下地震は30年以内に高確率で起こるとされており、非常食試食や避難所運営体験を行う企画を実施することにより法政大学生の防災の意識を高めることを目的とする。

■本アクションの成果 :

全ての企画において、座学形式ではなく体験型のプログラムであったため、積極的に学ぶことができ、避難所運営の難しさや、避難所運営のノウハウを身に着けることが出来ました。

■写真 :

■分野 : 経済・テクノロジー

■アクション名 : 創造的ビジネス・コーディネート事業

■組織・団体名 : 横浜市

■実施期間(開始) : 2016/4/1

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 神奈川県

■会場名 : 横浜市内

■参加者/入場者数 : 人

■事業概要 :

(1)マッチング促進

創造的産業に関心のあるクリエイター・企業への訪問や、YCC ヨコハマ創造都市センターへの相談窓口の設置、クリエイター・企業の相互理解・交流を促すイベントを実施

(2)商品開発支援

クリエイターの創造性と企業の技術力をかけ合せた商品開発プロジェクトを進めるため、コーディネートチーム及びデザインや販路等に関する専門家で、新規プロジェクトの立ち上げや、継続プロジェクトのブラッシュアップを実施

(3)販路開拓機会提供

開発した商品を販路に繋げていくため、展示会への出展やテスト販売等により機会提供を実施

■本アクションの成果 :

横浜市内中小企業とクリエイターのアイデアによる商品開発の支援や、海外展示会への出展を通じた国内外のバイヤー等(年齢・性別・国籍問わず)へのPRにより、販路開拓機会の提供につなげることができた。

■写真 :



■分野：経済・テクノロジー

■アクション名：GEATEC JAPAN2016 連携

■組織・団体名：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■実施期間(開始)：2016/10/4

■実施期間(終了)：2016/10/7

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：幕張メッセ

■参加者/入場者数：2000 人

■事業概要：

東京 2020 大会の準備状況等に関するスピーチや東京 2020 組織委員会紹介ムービーを会場で流す等で盛り上げを図り、連携・協力を行う。

■本アクションの成果：

ゲストスピーチでは東京2020大会の概要だけでなく、リオでの状況をテクノロジーの視点で報告することで、大会に向けたテクノロジーへの機運醸成に寄与した。

また、最先端テクノロジーの展示会会場にてオリパブースを設けることで、多くの入場者に東京2020大会との関連性や、経済界協議会との連携の取り組みを理解していただけた。

■写真：

■分野：経済・テクノロジー

■アクション名：ユニバーサル未来社会体験プロジェクト

■組織・団体名：文部科学省(本省)

■実施期間(開始)：2016/10/19

■実施期間(終了)：2016/10/21

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：東京ビックサイト

■参加者/入場者数：29260 人

■事業概要：

(1)ワークショップ

ユニバーサル未来社会体験プロジェクトの取組内容について説明を行い、ユニバーサル未来社会の実現に向けて、政府として目指すべき方向性について、理解を促す機会を提供する。

また、政府の日本再興戦略を踏まえて、RoboCup2017 名古屋国際大会を東京大会のプレ大会と見なし、積極的な周知活動等を行う。

(2)展覧会

ユニバーサル未来社会体験プロジェクトが目指す最先端のロボット技術について、展示等を行い、政府として目指すべき方向性について、理解を促す機会を提供する。

■本アクションの成果：

1997 年に名古屋で初めて開催された我が国発のロボカップ世界大会が、20 年振りに名古屋で開催されることとなり、ロボカップ2017名古屋世界大会(名古屋市)とユニバーサル未来社会推進協議会(文部科学省及び千葉工業大学未来ロボット技術研究センター)は、千葉工業大学の学生ボランティアにも協力をいただきつつ、次世代の人工知能とロボット工学の研究開発の推進やユニバーサル未来社会の実現に向け、連携して 2017 名古屋世界大会の周知活動等を実施しました。

■写真：

■分野：経済・テクノロジー

■アクション名：ユニバーサル未来社会体験プロジェクト

■組織・団体名：文部科学省(本省)

■実施期間(開始)：2016/11/4

■実施期間(終了)：2016/11/6

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：日本科学未来館

■参加者/入場者数：9303 人

■事業概要：

ユニバーサル未来社会体験プロジェクトが目指す最先端のロボット技術について、展示等を行い、政府として目指すべき方向性について、理解を促す機会を提供する。

■本アクションの成果：

1997 年に名古屋で初めて開催された我が国発のロボカップ世界大会が、20 年振りに名古屋で開催されることとなり、ロボカップ2017名古屋世界大会(名古屋市)とユニバーサル未来社会推進協議会(文部科学省及び千葉工業大学未来ロボット技術研究センター)は、千葉工業大学及び武蔵野大学の学生ボランティアにも協力をいただきつつ、次世代の人工知能とロボット工学の研究開発の推進やユニバーサル未来社会の実現に向け、連携して 2017 名古屋世界大会の周知活動等を実施しました。

■写真：

■分野：経済・テクノロジー

■アクション名：〈みずほ〉One シンクタンク・日経 2020 フォーラム「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの成功と日本経済の飛躍」

■組織・団体名：株式会社みずほフィナンシャルグループ

■実施期間(開始)：2016/11/18

■実施期間(終了)：2016/11/18

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：日経カンファレンスルーム

■参加者/入場者数：300 人

■事業概要：

東京 2020 大会と日本の経済成長をテーマとしたシンポジウムにて、大会開催を契機として期待されるレガシーやスポーツから見た日本経済の底力について、有識者による講演およびパネルディスカッションを実施。その他、オリンピックによる経済効果、地方創生などのテーマも絡め、多様な観点から今後の日本経済が進む道筋について議論を行い、広く世の中に発信する。

■本アクションの成果：

「東京 2020 オリンピック・パラリンピックの成功と日本経済の飛躍」をメインテーマに、〈みずほ〉の”One シンクタンク”の他、組織委員会も交え、基調講演やパネルディスカッションを実施しました。安心・安全に寄与するイノベーション、国際競争力のある都市づくり、多様性を認める社会の形成等、「飛躍する日本の姿」がどうあるべきか、それを 2020 年以降も有効活用できるものにする為に必要なことは何か、日本経済の底力をどう発揮するか、活発に議論し、その模様を満席の会場に加え、日経ストリーミング配信により多くの聴衆に発信しました。

■写真：

■分野：経済・テクノロジー

■アクション名：第 57 回電池討論会 市民公開講座「クリーンエネルギー社会の進展」

■組織・団体名：東武トップツアーズ株式会社

■実施期間(開始)：2016/11/30

■実施期間(終了)：2016/11/30

■開催場所都道府県：千葉県

■会場名：幕張メッセ 国際会議場 2F 国際会議室

■参加者/入場者数：100 人

■事業概要：

開催日時:2016 年 11 月 30 日(水) 13:15～15:20 予定(受付開始 12:30)

「近づいてきた水素エネルギー社会ー千葉県への期待ー」

「『エネファーム』開発の取組み」

「低炭素社会実現に向けた二次電池技術の期待」

共催:第 57 回電池討論会／東武トップツアーズ株式会社

■本アクションの成果：

開催地である幕張地区及び首都圏の大学工学部を中心に開催案内チラシを 5000 部配布、電池討論会参加者及び市民約 100 名の参加を得られ、世界中の電池の産学研究者に日本の水素技術、水素社会の構築に向けた関心の高さを世界中にアピールすることができた。また、都市全体でクリーンエネルギー社会に向け進展するため理解促進・意識づけを行うことができた。

■写真：



■分野 : 経済・テクノロジー

■アクション名 : サイバーコロッセオ×SECCON(仮称)

■組織・団体名 : 総務省

■実施期間(開始) : 2017/3/5

■実施期間(終了) : 2017/3/5

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : ベルサール秋葉原

■参加者/入場者数 : 95 人

■事業概要 :

サイバーセキュリティ人材の育成・強化対策として、本事業では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係者のみならず、学生を含め、2020 年において大会のサイバーセキュリティ対策に寄与する可能性のある者を対象としたコンテスト形式の競技会を実施し、優れた人材の発掘に有効な取組を行うものとする。

競技会は、攻防戦形式の「Capture the Flag(CTF)」を想定している。

■本アクションの成果 :

若手人材(30 歳以下)を対象に、攻防戦形式の競技会を開催し、2020 年東京大会に向けた若手セキュリティ人材の育成と優秀層の見極めを行うことができた。

また、参加者、見学者へ東京五輪大会でのサイバーセキュリティ対策の重要性を意識づけることができた。

■写真 :



■分野 : 経済・テクノロジー

■アクション名 : 第2回 九州チャレンジ・ワークショップ

■組織・団体名 : 一般社団法人 九州経済連合会

■実施期間(開始) : 2017/6/20

■実施期間(終了) : 2017/6/20

■開催場所都道府県 : 沖縄県

■会場名 : 那覇第2地方合同庁舎2号館9階

■参加者/入場者数 : 60 人

■事業概要 :

2020 年を大きなビジネスチャンスと捉え、今後の事業展開を検討する事業者や自治体の取組を促進するため、東京 2020 組織委員会と東京都中小企業振興公社を招き、大会関連の調達等に関する情報提供、ビジネスチャンスナビについてのワークショップを開催。

■本アクションの成果 :

本プログラムを通じ、沖縄地方の事業者や自治体に対し、直接、東京オリパラ組織委員会や東京都中小企業振興公社から、大会関連の調達等に関する情報やビジネスチャンスナビの内容を説明できたことで、2020 年を大きなビジネスチャンスとして捉え、取り組んでいくための機運醸成が図れた。

■写真 :



■分野 : 復興

■アクション名 : いわて国体への東京 2020 大会の PR ブース展開

■組織・団体名 : 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■実施期間(開始) : 2016/10/1

■実施期間(終了) : 2016/10/1

■開催場所都道府県 : 岩手県

■会場名 : 希望郷いわて国体 わんこ広場

■参加者/入場者数 : 1000 人

■事業概要 :

東京都の被災地復興関連映像やエンブレムのコンセプトムービーの放映、エンブレムに関するパネル展示、PR グッズ、各種資料の提供

■本アクションの成果 :

大会ビジョン、エンブレムコンセプトのパネル展示や映像放映をし、東京 2020 大会について多くの皆様に発信した。開会式の一般観覧者、全国からの選手が多数来場し、大会とのつながりを持ってもらい、大会への参画を呼びかける機会とすることができたものとする。

■写真 :

■分野：復興

■アクション名：読売新聞・報道写真展 〜リオ 2016 での九州出身オリンピックの輝きー九州復興への道しるべ〜

■組織・団体名：株式会社 読売新聞東京本社

■実施期間(開始)：2016/11/17

■実施期間(終了)：2016/11/18

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：“日本生命丸の内ビル(福岡県) 三井住友銀行本館(大分県) 読売新聞ビル1階(佐賀県) OOTEMORI 地下2階、東京駅丸の内地下南口 動輪の広場(長崎県) 東京海上日動ビル本館1階前広場(熊本県) 大手町ファーストスクエアウエストタワー1階(宮崎県・鹿児島県)”

■参加者/入場者数：20000人

■事業概要：

九州出身オリンピックの写真展。読売新聞写真部撮影の写真を出身県別に7会場で掲示し、オリンピック・ムーブメントと九州復興支援の機運を高めていく。

■本アクションの成果：

11月17日・18日の日程で実施した九州出身オリンピックの写真展は、大手町地区に在する公式スポンサー企業の協力を得て開催することができた。大手町地区で分散して実施することにより、多くの人々にオリンピック・ムーブメントと九州復興支援の機運を高めていくことに成功した。

■写真：



■分野：復興

■アクション名：東京新虎まつり東北六魂祭パレード出発式

■組織・団体名：東京都

■実施期間(開始)：2016/11/20

■実施期間(終了)：2016/11/20

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：環状2号線新虎通り特設会場

■参加者/入場者数：5500人

■事業概要：

東北6県、6市の祭りと各地のローカルキャラクターが一堂に会し、新虎通り(愛宕下通り～日比谷通りまでの約300m)を練り歩く「東北六魂祭パレード」を実施。東北復興を掲げ、東京から東北への導線を創出する、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた本年最大級の復興発信イベント。

このパレードの出発式を公認プログラムとし、2020年に向けた機運の醸成と、復興オリンピックを強く印象付けるものとする。

出発式概要

・開催日時 2016年11月20日(日) 10:15～10:35(20分間)

・登壇予定者 オリンピック担当大臣、東京都知事、東北自治体首長他

■本アクションの成果：

・「鎮魂と復興」への狼煙(のろし)を上げるために東北6市の祭りが一堂に会し、新虎通り(愛宕下通り～日比谷通りまでの約300m)を練り歩く「東北六魂祭パレード」の出発式を公認プログラムとして実施。都知事をはじめとする実施関係者のメッセージを会場およびインターネット経由で広く発信することで、2020年に向けた気運の醸成と、復興オリンピックを強く印象付けることができた。

■写真：

■分野：復興

■アクション名：A Bright Tomorrow Through Sport「あしたへ、スポーツとともに」(継続的被災地支援プログラム)

■組織・団体名：株式会社アシックス

■実施期間(開始)：2016/12/1

■実施期間(終了)：2017/3/31

■開催場所都道府県：宮城県

■会場名：長沼フットピア公園

■参加者/入場者数：14180人

■事業概要：

①神戸招待プログラム

・被災した子どもをアシックススポーツミュージアムやアシックススポーツ工学研究所などに招待し、スポーツの楽しさや復興後の神戸に触れることで活力を取り戻してもらう活動

②hand to hand プログラム

・2011年4月時点で18歳以下の両親を亡くした震災孤児を対象として、満19歳を迎えるまでの間、主にウェアやシューズなど当社スポーツ用品を毎年継続的に提供していく活動

・両親を失った事で、スポーツが続けられなくなったりしないように支援するもの

③スポーツ選手訪問プログラム

・著名なアスリート(現役や元選手)を派遣し、直接指導を受けることで技能を向上させたり、スポーツの楽しさを感じてもらったりする事で、スポーツに関わっていくきっかけを提供する活動

④健康運動支援プログラム

・被災地域を訪問し、健康支援のための運動指導やイベントを展開する活動

■本アクションの成果：

自然災害(大地震)の被災地域、東北および熊本にて、スポーツの機会を提供し、心身ともに健康になることを目的とした支援活動を行った。事業期間中に、東北では子どもを対象に縄跳び教室(宮城県女川町)、野球教室(福島県相馬市)を開催した。また、熊本では子どもを対象にオリンピックを招聘したスポーツイベント、バレーボール教室、さらに高齢者向けには介護予防運動を実施した。

■写真：



■分野：復興

■アクション名：「新しい防災」と「地域コミュニティの力を活かした復興まちづくり」

■組織・団体名：法政大学

■実施期間(開始)：2017/6/20

■実施期間(終了)：2017/6/20

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：法政大学市ヶ谷キャンパス

■参加者/入場者数：24人

■事業概要：

震災から6年経過し、避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、夏のボランティア活動に向け、地域コミュニティ形成の手法を学ぶとともに、次世代版避難訓練などの新しい防災についても学ぶ。

■本アクションの成果：

震災から6年経過し、避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、地域コミュニティ形成の促進を行っている遠野 山・里・暮らしネットワークの田村氏を講師としてお招きし、「心の復興」についてお話していただきました。改めて防災を考えるきっかけになったようです。

今後もボランティアセンターではこのような被災地の今を知り考える講座を今後も行っていきます。

■写真：

■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックと立川～東京 1964 から東京 2020 に向けて～

■組織・団体名 : 立川市

■実施期間(開始) : 2016/10/11

■実施期間(終了) : 2016/10/31

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 立川市窓口サービスセンター・多目的プラザ(立川タクロス1階)

■参加者/入場者数 : 4000 人

■事業概要 :

(1)オリンピック・パラリンピック関連のパネル展示

東京 2020 大会関係のポスターなど

朝長なつ美選手(近代五種リリオリンピック出場)関連のポスターなど

立川市にゆかりのある選手のリオ大会の結果

(2)東京 1964 大会当時の物品展示

役員ブレザー、聖火トーチ、プログラム、チケット、ポスター、記念メダル、記念乗車券など

聖火リレーや壮行会等の写真パネル

(3)映像展示

障害者スポーツ

オリンピック・パラリンピック教育など

■本アクションの成果 :

立川市窓口サービスセンターに来場した市民他、多くの方にご覧いただき、2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けて気運の醸成をすることができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : モンゴル国協定締結 20 周年記念イベント

■組織・団体名 : 東京都板橋区役所

■実施期間(開始) : 2016/10/31

■実施期間(終了) : 2017/1/20

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 板橋区役所本庁舎他

■参加者/入場者数 : 11609 人

■事業概要 :

大人から子どもまで楽しめる展示、物販、イベントを実施する。具体的には、モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサート、モンゴル国紹介イベント、モンゴル孤児院合唱団コンサート、モンゴル料理フェア、障がい者福祉施設によるモンゴルグッズ販売、協定締結 20 周年特別企画展示等を実施する。海外の異なる文化に対する興味・関心を深め、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成に繋げる。

■本アクションの成果 :

モンゴル国との「文化・教育交流協定」締結 20 周年を記念して記念イベントを開催することにより、海外の異なる文化に対する理解や多文化共生の促進を図るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた機運醸成に繋げることができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : やまなし観光フォーラム2016

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2016/11/9

■実施期間(終了) : 2016/11/9

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 山梨学院大学メモリアルホール

■参加者/入場者数 : 316 人

■事業概要 :

パラリンピアン、スポーツや観光の専門家をお招きし、東京オリンピック・パラリンピックに向けた一般県民のおもてなし意識の涵養、観光事業者の受入体制の在り方など、2020年を見据えた観光地域づくりを探っていく。

(1)基調講演「東京オリンピック・パラリンピックに向けて～心のおもてなしとは～」

(2)パネルディスカッション「東京オリンピック・パラリンピックを見据えた観光地域づくり」

■本アクションの成果 :

基調講演では、パラリンピアンである鈴木徹氏に、ご自身の経験や障害者への接し方について世界と日本の違いなどを話していただき、パネルディスカッションでは、スポーツや観光の専門家に助言・提言をいただいた。学生や障害者福祉団体、観光関連事業者など、多種多様な方々におもてなしの在り方及び2020年へ向けた観光地域づくりを考える機会を提供することができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした国際化について考えるシンポジウム

■組織・団体名 : 世田谷区

■実施期間(開始) : 2016/11/15

■実施期間(終了) : 2016/11/15

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 世田谷区民会館ホール

■参加者/入場者数 : 300 人

■事業概要 :

第1部 パネルディスカッション「オリンピックがみたオリンピック・パラリンピック」

<コーディネーター>クリス・ペプラー <パネリスト>具志堅幸司、鈴木桂治、他

第2部 対談「Why 国際化! ?」〜東京2020大会をきっかけとして〜

<対談者>厚切りジェイソン、クリス・ペプラー

その他、リオ大会等のパネル展示、ポッチャ体験コーナー等

■本アクションの成果 :

主な成果は以下2つである。第1に、東京2020大会に向けた区民の機運醸成を図ることができたことである。第1部では、メダリストに自らの体験談を語っていただき、更に、会場ロビーでは、ポッチャ体験や競技用車椅子の展示などを実施したことで、来場者からはオリパラを身近に感じることができた等の声をいただいた。第2に、地域の国際化に対する区民に意識啓発を図ることができたことである。第2部では、外国にルーツを持つ著名人に、国際化というテーマで対談していただいたことで、来場者からは、普段から海外交流があたりまえのように浸透している土台作りが必要等の声をいただいた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 富士の国やまなし文化・スポーツツーリズムサイト

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2016/11/18

■実施期間(終了) : 2017/3/31

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 山梨県庁HP

■参加者/入場者数 : 21882 人

■事業概要 :

(1)歴史・文化ツーリズムWEBサイトの構築

山梨県の寺社仏閣、名勝、史跡等の観光情報と連携した歴史・文化ツーリズムを国内外へ広く周知

(2)スポーツツーリズムWEBサイトの構築

山梨県の自然を生かして体験できるサイクリングやマラソン、トレッキング、キャンプ等、スポーツ・レジャーと観光を連携させたスポーツツーリズムを国内外へ広く周知

■本アクションの成果 :

新たな観光資源として本県の神社仏閣、文化財、自然景観、歴史文化体験等を活用した、カルチャーツーリズムにより本県への国内外の旅行者の誘客を促進させ、地域経済の活性化を図るため、観光情報と連携した歴史・文化ツーリズムサイトを構築し、国内外へ広く情報の提供を行った。

■写真 :

■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウム 2020 年に向けて日本全国みんなで盛り上がろう

■組織・団体名 : 東京都

■実施期間(開始) : 2016/11/28

■実施期間(終了) : 2016/11/28

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : TKPガーデンシティ品川

■参加者/入場者数 : 686 人

■事業概要 :

(1)主催者・共催者あいさつ

(2)東京 2020 参画プログラムの事例紹介(東京 2020、埼玉県、福島県)

(3)文化・芸術パフォーマンス(早稲田大学 SHOCKERS、大前光市氏)

(4)パネルディスカッション(コーディネーター:原田宗彦(早稲田大学教授)、パネリスト:星奈津美(オリンピック)、廣瀬誠(パラリンピアン)、青柳正規(東京大学名誉教授)、今村久美(認定 NPO カタリ代表理事)、阿部義治(青森県今別町長)、多田健一郎(内閣官房))

■本アクションの成果 :

リオ大会が終了し、2020年大会開催準備が本格化する中、東京 2020 参画プログラムの事例紹介、芸術パフォーマンスの実演や各分野の有識者によるパネルディスカッションを通じて、日本全国の自治体が気運醸成などの取組を推進するためのきっかけ作りや参考となるアイデアの共有を図ることができた。

■写真 :

■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : ラグビーのまち府中・ワールドカフェ〜ラグビーの力を、府中の力に

■組織・団体名 : 東京都府中市

■実施期間(開始) : 2016/12/22

■実施期間(終了) : 2016/12/22

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 府中グリーンプラザ

■参加者/入場者数 : 33 人

■事業概要 :

府中市では、ラグビーのまち府中を推進するため、「ラグビーのまち府中推進委員会」を設置し、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な事業を実施していくこととしている。市民のラグビーに対する意見や想いを事業に反映させるため、市民が気軽に参加できる「まちづくりカフェ」を実施する。

■本アクションの成果 :

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックの 7 人制ラグビーの開催を契機に、「ラグビーのまち府中」の確立に向けて市民が意見交換を行うことで、地域コミュニティの活性化につなげた。さらに、「ラグビーのまち府中」を市民と一体となって発信することで、本市の知名度向上につなげるだけでなく、本市からラグビー気運を醸成した。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : Road to 2019-2020 キックオフイベント ～ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて～

■組織・団体名 : 東京都府中市

■実施期間(開始) : 2017/1/18

■実施期間(終了) : 2017/1/18

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : ルミエール府中

■参加者/入場者数 : 150 人

■事業概要 :

ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図るとともに、大会の開催を契機とした本市の更なる発展を目指すためには、市民の盛り上がりが必要不可欠である。そこで、大会に向けて市民が何をすべきかを考える機会として、本にゆかりがあり、数多くの国際大会の現場を知り尽くした、スポーツジャーナリストの生島淳氏をお招きし、基調講演「ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに市民がどのように関わるのか」を行う。

また、リオデジャネイロオリンピック7人制ラグビー男子日本代表監督の瀬川智広氏、同パラリンピック卓球男子日本代表の吉田信一氏をお招きし、生島氏とともにパネルディスカッションを行う。

■本アクションの成果 :

ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運を醸成するとともに、大会に向けて市民が何をすべきかを考える機会を創出した。さらに本市の発展に向けて市民とともに取り組むことで、地域コミュニティの活性化につなげた。

■写真 :



■アクション名 : まちづくりカフェ「ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて 文化 & スポーツ 私の思う一
等賞！」

■実施期間(終了) : 2017/1/27

■参加者/入場者数 : 32 人

府中市では、オリンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶好の契機として捉え、全市を挙げて施策を講じるため、市民と職員等が意見交換できる「まちづくりカフェ」を開催する。

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機とし、市民と市職員が本市の発展に向けて意見交換を行うことで、地域コミュニティの活性化につなげるとともに、大会の気運を醸成した。



市民協会のまちづくりカフェ
「タテマール・カレッジ」2019、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて
～文化とスポーツ私の思う一寄言～

日時：平成29年1月27日（金曜日）18時から21時まで
定員：30人（先着）／費用：500円（資料代）無料
会場：PLAZA KITCHEN ラッシュアキバ 日曜軒1-1、タワー1階

進行案

2016.10.28



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 講演会「2020大会に向けた政府の取組」について

■組織・団体名 : 東京商工会議所

■実施期間(開始) : 2017/1/31

■実施期間(終了) : 2017/1/31

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京商工会議所内 会議室

■参加者/入場者数 : 255 人

■事業概要 :

内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局による政府の取組についての講演会

■本アクションの成果 :

定員100名に対して、反響が大きく同日で追加開催を設定し、合計で255名の方に参加いただいた。2020年東京大会への関心の高さが伺われた。講演では、内閣府の担当者より、現在の政府の進捗と取組事項について説明があったが、特に障がい者スポーツの強化とユニバーサルデザインへの対応に関しては重点事項として更に詳しく説明をいただいた。

「beyond2020プログラム」については、概要及び申請方法、スケジュール等について説明があった。参加者からは、「東京大会への参画意識が更に高まった」「世界発信に向けて取り組みたい」「beyond2020の申請について」等、意見質問を多くいただいた。本説明会が、東京大会への街づくり・機運醸成・世界発信に結びついた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : やまなしインバウンドおもてなし研修会

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2017/2/3

■実施期間(終了) : 2016/2/3

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : ホテル 四季の宿「富士山」

■参加者/入場者数 : 86 人

■事業概要 :

ホテル・旅館、観光事業者また通訳ガイドの他、外国人旅行者と接するすべての事業者のおもてなしの心構え、実践的な対応スキルなどを身につけていただくよう、研修会を開催する。

(1)パネルディスカッション

テーマ:「外国語観光客に満足していただくために -外国人観光客との接し方-」

パネリスト:地元宿泊施設代表、地元観光事業者代表、地元 NPO 代表

(2)ガイドスキルの演習

テーマ:ゲストの心に寄り添う

指 導:接遇指導の専門事業者

■本アクションの成果 :

パネルディスカッションでは、地域のホテル支配人・富士登山事業者・地域NPO代表らのパネリストとオーディエンスとが外国人対応に係るノウハウやトラブルシューティング事例を共有した。おもてなし演習では、外国人への接客を想定したおもてなしのリアクションについてロールプレイを通して学んだ。オリパラに向けて一定の効果をあげることができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : とくしま民泊推進シンポジウム

■組織・団体名 : 徳島県

■実施期間(開始) : 2017/2/3

■実施期間(終了) : 2017/2/3

■開催場所都道府県 : 徳島県

■会場名 : 徳島グランヴィリオホテル

■参加者/入場者数 : 150 人

■事業概要 :

県として、外国人誘客の拡大に伴う宿泊施設の不足に対応するとともに、地域における交流人口や空き家対策としても期待される「民泊」について、積極的な推進を図っているなか、民泊を取り巻く現状や可能性について、観光まちづくりの専門家による講演や、県内においてすでに民泊による地域活性化や防災対策への取組みを進めている先進事例の報告を行う。

また、徳島ならではの「民泊」のあり方について意見を交わす、観光事業者やお遍路の「先達」など県内外の有識者によるパネルディスカッションを実施する。

■本アクションの成果 :

オリンピック・パラリンピック2020大会以降も見据え、外国人旅行者をはじめとする観光客の増大と受け入れ改善と、地域の魅力発信に取り組んでいくため、民泊に関する規制や先進事例をはじめとした民泊への理解を深めるとともに、徳島ならではの民泊推進の機運醸成を図ることができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 東京 2020 公認プログラム「オリンピック・パラリンピアンによるトークイベント オリンピック・パラリンピックの魅力再発見！」～世田谷区 東京 2020 キックオフ～

■組織・団体名 : 世田谷区

■実施期間(開始) : 2017/2/8

■実施期間(終了) : 2017/2/8

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 成城ホール

■参加者/入場者数 : 284 人

■事業概要 :

(1)基調講演「オリンピックの魅力や楽しみ方」講師 オリンピアン(調整中)

(2)馬術競技PR用DVD上映

(3)トークセッション「未来に夢を！東京 2020 大会に向けて」パネリスト 世田谷ゆかりのリオ大会出場オリンピック、パラリンピアン(調整中)

■本アクションの成果 :

オリンピック・パラリンピックの意義やスポーツの楽しさを広く区民に伝え、
区全体での気運醸成を図るキックオフイベントとすることができた。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : おもてなしボランティア フォローアップ研修

■組織・団体名 : 立川市

■実施期間(開始) : 2017/2/8

■実施期間(終了) : 2017/2/8

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 東京都内

■参加者/入場者数 : 24 人

■事業概要 :

市内のボランティア団体で、立川市を中心とした観光地のまち歩きガイドツアー等を実施している「たちかわまちの案内人」等により希望者を募り、通訳案内士が行っている外国人旅行者向けガイドツアーを体験し、外国人に接するポイントのレクチャーを受ける。

また訪日外国人旅行者に対するおもてなしとそのノウハウ、また必要となる英会話について講習会を実施する。

■本アクションの成果 :

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、今後増加が見込まれる訪日外国人への対応を実際に経験することで、訪日外国人が注目するポイントや「おもてなし」のノウハウについて理解を深めることが出来た。また、「おもてなし」とはどうあるべきかを参加者自ら考えるきっかけとなった。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた埼玉県ボランティアセミナー

■組織・団体名 : 埼玉県庁

■実施期間(開始) : 2017/2/17

■実施期間(終了) : 2017/2/17

■開催場所都道府県 : 埼玉県

■会場名 : 埼玉県県民健康センター(大ホール)

■参加者/入場者数 : 150 人

■事業概要 :

オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する情報や魅力を紹介し、東京 2020 大会のボランティアの気運醸成及び裾野拡大を図るためのセミナーを開催する。

- (1)講演(田口亜希氏[パラリンピアン])
- (2)東京 2020 大会に向けたボランティア戦略について
- (3) ロンドン大会、リオ大会でのボランティアの映像紹介
- (4)外国人案内ボランティア研修取組紹介
- (5)本県のボランティア検討状況説明

■本アクションの成果 :

本アクションの実施により、オリンピック・パラリンピックのボランティアに関する情報や魅力を紹介し、東京 2020 大会のボランティアの気運醸成及び裾野拡大に寄与した。特に今回は都市ボランティアの現場運営を担う市町村や、ボランティア人材の供給元となる大学・企業の担当者等を対象として実施したため、今後の広がりにも期待している。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 文京区国際交流フェスタ

■組織・団体名 : 東京都文京区役所

■実施期間(開始) : 2017/2/25

■実施期間(終了) : 2017/2/25

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 文京シビックセンター1 階(アートサロン、ギャラリーシビック)、地下 1 階(アカデミー文京)、地下 2 階(区民ひろば)

■参加者/入場者数 : 1300 人

■事業概要 :

区内で活動している日本伝統文化団体や伝統工芸、博物館等による体験コーナーのほか、各国情報紹介や外国人区民との交流サロンや、日本・外国の文化紹介ステージ等を実施。

■本アクションの成果 :

外国人と日本人の文化を通じた友好交流及び相互理解促進をめざし、文化を紹介する展示や体験、外国人区民との交流サロンを行いました。日本人にとっても日本文化の再発見のきっかけともなるとともに、ステージ司会に大学生ボランティアを登用するなど、若者やボランティアの活用に努めました。昨年より日本人、外国人共に来場者が増え、アンケート結果も良好でした。

■写真 :



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : やまなし観光フォーラム2016

■組織・団体名 : 山梨県

■実施期間(開始) : 2017/3/14

■実施期間(終了) : 2017/3/14

■開催場所都道府県 : 山梨県

■会場名 : 山梨県立富士ふれあいセンター

■参加者/入場者数 : 50 人

■事業概要 :

東京 2020 大会前後には、世界遺産富士山を有する本県には国内外から多くの観光客が来県することが予想されることから、心のバリアフリーやおもてなし意識の涵養、受入体制づくり体制整備を進めるため、一般県民及び観光事業者などに向けたフォーラム(講演会)を開催し、誘客、受入に対する啓発を行う。

■本アクションの成果 :

「一人ひとりに合ったおもてなしを目指して」と題して、JR東日本社員として甲府駅で働きながら、2020 年東京パラリンピック競泳日本代表を目指す成嶋徹氏に講演をいただいた。ハード面だけでなくソフト面での整備が必要なことや利用者目線に立ったおもてなしについて話していただき、観光事業者や福祉関係者などの参加者が 2020 年に向けた観光地域づくりを考える機会を提供した。

■写真 :

■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会

■組織・団体名 : 中央区

■実施期間(開始) : 2017/3/16

■実施期間(終了) : 2017/3/16

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 中央区役所 8 階大会議室

■参加者/入場者数 : 60 人

■事業概要 :

「関係者間における情報共有及び連絡調整に関すること」「大会開催の機会を捉えた地域の自主的な取組の促進に関すること」「大会の気運醸成に関すること」「その他大会開催の機会を捉えた区民の活動に関すること」を目的とした協議会を開催する。なお、本協議会は公開されており、誰でも傍聴することができる。

■本アクションの成果 :

今回の区民協議会では、区内関係団体間等でリオ2016大会の現地の取組や東京2020参画プログラム等の情報共有や、大会開催に向けて地域で連携して取り組んでいく旨の意見交換等が行われた。また、区の多言語表記の考え方や例示等を記した「中央区多言語表記指針」が本協議会で策定され、今後は本指針が地域の多言語対応推進に活用されていく予定である。

■写真 :

■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : “2020よさこいで応援プロジェクト ～よさこい for Tokyo 2020 キックオフイベント～”

■組織・団体名 : 高知県

■実施期間(開始) : 2017/3/23

■実施期間(終了) : 2017/3/23

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : KITTEアトリウムイベントスペース

■参加者/入場者数 : 150 人

■事業概要 :

東京 2020 大会を契機に世界中から日本を訪れる外国人のおもてなし及び、日本全国の東京2020大会を盛り上げる気運を醸成することを目的に、全国のよさこい関係団体が連携していくためのキックオフイベントを開催するものである。

■本アクションの成果 :

全国のよさこい主催団体が連携した実行委員会会員(69 団体)に加え、オリンピック・パラリンプの参加や外国人、高齢者等も参加したよさこい演舞等、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を「よさこい」で盛り上げていく機運醸成につながるイベントとなった。

■写真 :



■分野：オールジャパン・世界への発信

■アクション名：ミラノサローネ 2017 「Electronics Meets Craft」

■組織・団体名：パナソニック株式会社

■実施期間(開始)：2017/4/4

■実施期間(終了)：2017/4/9

■開催場所都道府県：東京都

■会場名：イタリア・ミラノ(ブレラ地区)

■参加者/入場者数：11887 人

■事業概要：

日本伝統文化を継承する若手伝統工芸職人「GOON」と Panasonic 若手デザイナーとの共創による「クラフト家電」を国際的展示会である「ミラノサローネ」に出展。当展示会を皮切りに、国際交流を図りながら東京 2020 大会に向けて「Japan Quality」を継続発信し、日本の文化発信に一役を買う。

(マークの使用は日本国内のみに限定)

■本アクションの成果：

「Electrics Meets Crafts:」をテーマに、当社デザイン部門と日本の伝統工芸後継者によるクリエイティブユニット「GO ON」が連携し、“人の五感や記憶に響くインスタレーションとプロタイプ”を出展。伝統工芸と当社の技術・デザインが一体となった新しいクラフト家電を提案することで、東京 2020 大会に向けた日本文化の感性・美意識を積極的に発信出来た。

■写真：



■分野 : オールジャパン・世界への発信

■アクション名 : オリンピック・パラリンピックに向けた“おもてなし講座”「あいさつと道案内の英語入門」

■組織・団体名 : 羽村市

■実施期間(開始) : 2017/5/20

■実施期間(終了) : 2017/5/21

■開催場所都道府県 : 東京都

■会場名 : 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室2

■参加者/入場者数 : 22 人

■事業概要 :

「あなたも参加を！ことばから始める“おもてなし”」をキャッチコピーとした、東京 2020 大会への意識の高揚を図ることを目的とした“おもてなし講座”
2020 年までの3回シリーズ(年1回)の第1回目として、あいさつと道案内の英語を外国人講師が指導(2回目は中国語、3回目は韓国語を予定)

■本アクションの成果 :

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、おもてなしの第一歩は、ことばでの交流ということを理解していただくことができた。多くの外国人が
日本を訪れ交流を深める時、世界共通語の一つである英語で受け答えが出来るように、レシテーション(朗読)という方法で英語を無理なく学んでいた
ことができた。

■写真 :